

まちづくり市民意識調査

調査結果報告書

令和 7 年 3 月

明 石 市

目 次

I	調査の概要	P. 1
II	回答者の属性（問6）	P. 2
III	調査の結果	P. 4
	1）明石のまちについて（問1）	P. 4
	2）今後の明石のまちづくりについて（問2）	P. 20
	3）市民の皆さまの意識や行動について（問3）	P. 25
	4）転入のきっかけや考慮した住宅環境について（問4）	P. 62
	5）全市民対象と直近5年以内の転入者対象の比較について	P. 68
	6）今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について（問5）	P. 70

I 調査の概要

1. 調査の目的

本業務は明石市のあかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）、あかしSDGs前期戦略計画及び各個別計画の推進状況の検証に活用するとともに、今後の施策展開に活かしていくため、明石のまちへの思いや市の取組に対する市民の満足度や市民の意識・行動等についての調査を行った。

調査の内容

- 問1 明石のまちについて
- 問2 今後の明石のまちづくりについて
- 問3 市民の皆さまの意識や行動について
- 問4 転入のきっかけや考慮した住宅環境について
- 問5 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について（自由記述）
- 問6 あなた自身について（回答者の属性）

2. 調査の方法等

- (1) 調査対象者 18歳以上の市民5,000人（住民基本台帳から単純無作為抽出）
全市民対象 3,000人
直近5年以内の転入者 2,000人
- (2) 調査方法 郵送・インターネット調査
- (3) 調査期間 令和6年12月12日（木）～令和7年1月17日（金）

3. 回収結果

	配布数	回答数	回収率
全市民対象	3,000人	1,862人 (うちオンライン回答数: 859人)	62.1% (オンライン回収率: 28.6%)
直近5年以内の転入者	2,000人	985人 (うちオンライン回答数: 661人)	49.3% (オンライン回収率: 33.1%)
合計	5,000人	2,847人 (うちオンライン回答数: 1,520人)	56.9% (オンライン回収率: 30.4%)

【参考】前回（令和元年6月～7月実施）

	配布数	回答数	回収率
全市民対象	3,000人	2,097人	69.9%
直近5年以内の転入者	2,000人	1,168人	58.4%
合計	5,000人	3,265人	65.3%

※アンケート調査結果集計時の留意事項

- ・設問毎の有効回答数は「n=〇」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
- ・本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問については、選択肢ごとに回答比率を算出しており、回答比率を合計しても100%にならない。

Ⅱ 回答者の属性（問6 あなた自身について）

回答者の性別は、「女性」が58.1%、「男性」が38.0%であった（図1-1参照）。

回答者の年齢は、「50歳代」が最も多く19.6%、次いで「60歳代」、「70歳代」が18.0%であった（図1-2参照）。なお、市の実際の人口の年齢構成比と比較すると、40歳代から70歳代までの回答割合が高かった（表1-1参照）。

回答者の世帯の子どもは小学生が最も多く13.2%、次いで未就学児が10.0%、高校・高専生が7.9%であった。（図1-3参照）。

結婚を「している」回答者は71.7%、「していない」は24.1%であった。
また、「していないが、いずれはしたい」は4.2%であった（図1-4参照）。

図1-1 回答者の性別

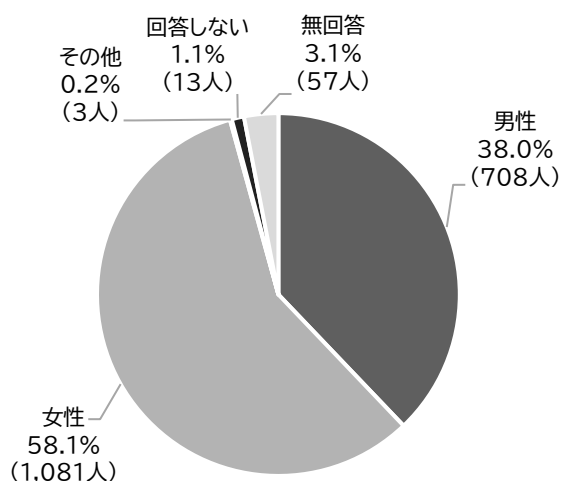


図1-2 回答者の年齢

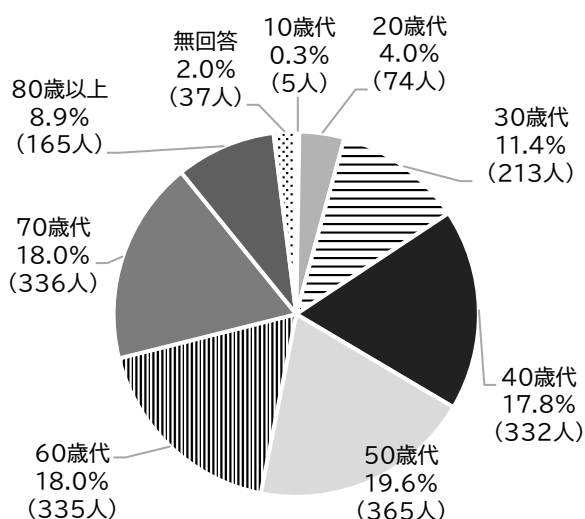
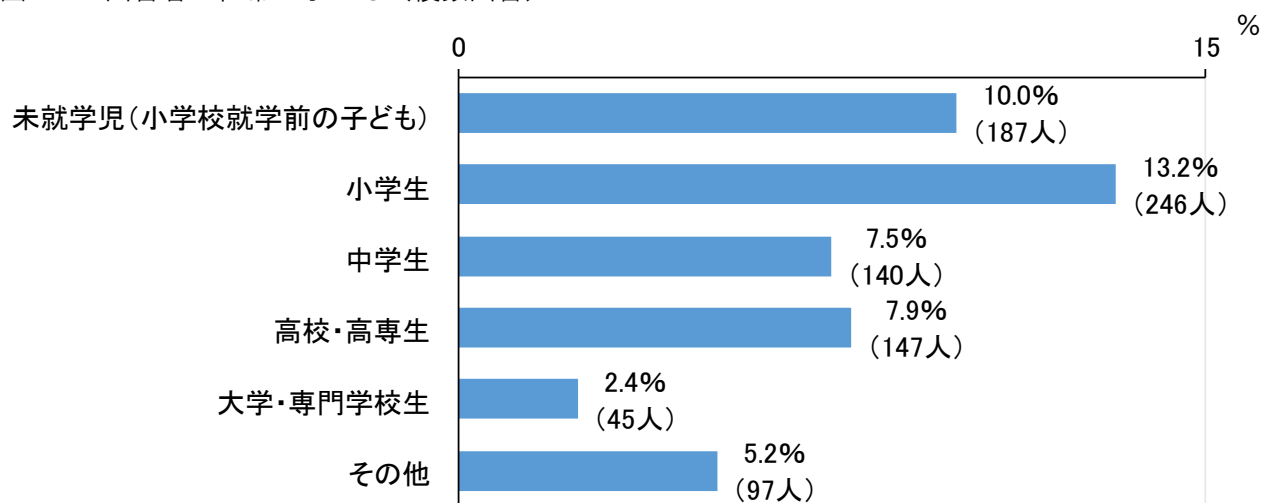


表1-1 回答者の年齢構成と市全体の年齢構成の比率

	回答者 (①)	明石市人口 (②)	差分 (①－②)
10歳代	0.3%	2.1%	-1.8%
20歳代	4.0%	11.4%	-7.4%
30歳代	11.4%	14.6%	-3.2%
40歳代	17.8%	15.9%	1.9%
50歳代	19.6%	17.6%	2.0%
60歳代	18.0%	13.0%	5.0%
70歳代	18.0%	14.2%	3.8%
80歳以上	8.9%	11.1%	-2.2%
無回答	2.0%	—	—
対象者総数	1,862人	255,777人	

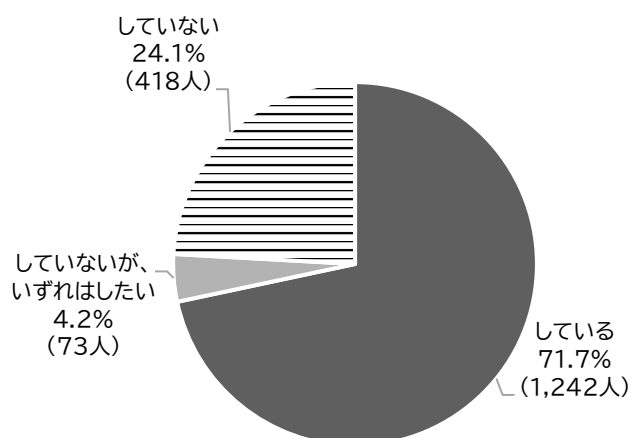
※明石市人口は、住民基本台帳人口（R6.12.1現在）。

図1-3 回答者の世帯の子ども（複数回答）



※対象となる子どもがいると答えた回答者の割合と人数

図1-4 結婚等（事実婚・パートナーシップ・ファミリー関係を含む）について



Ⅲ 調査の結果

1) 明石のまちについて（問1）

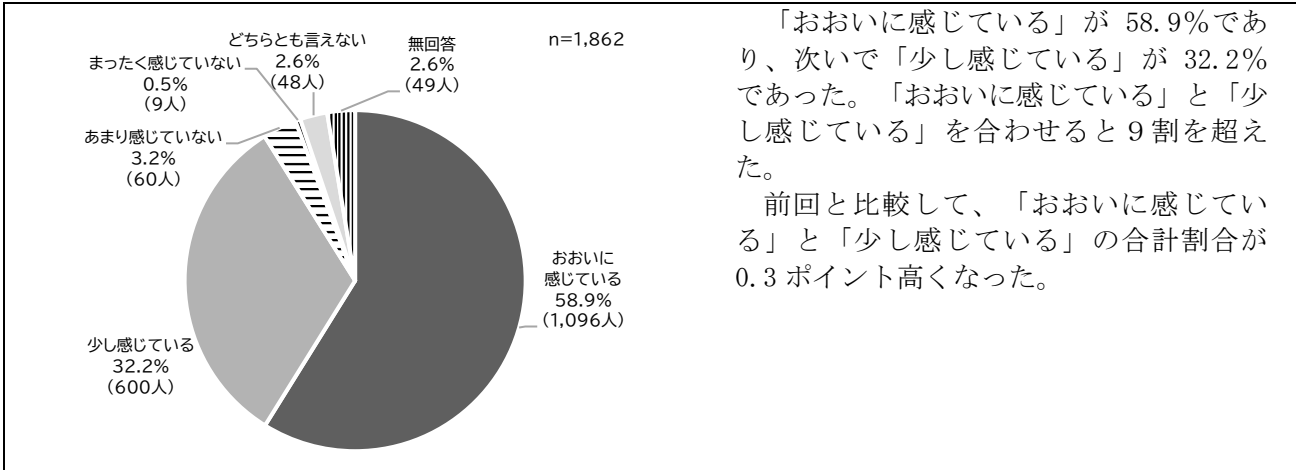
1. 調査目的

まちづくりの進捗状況及び市民意識を把握するため、明石のまちへの思いや地域の生活環境に関する意識について調査を行った。

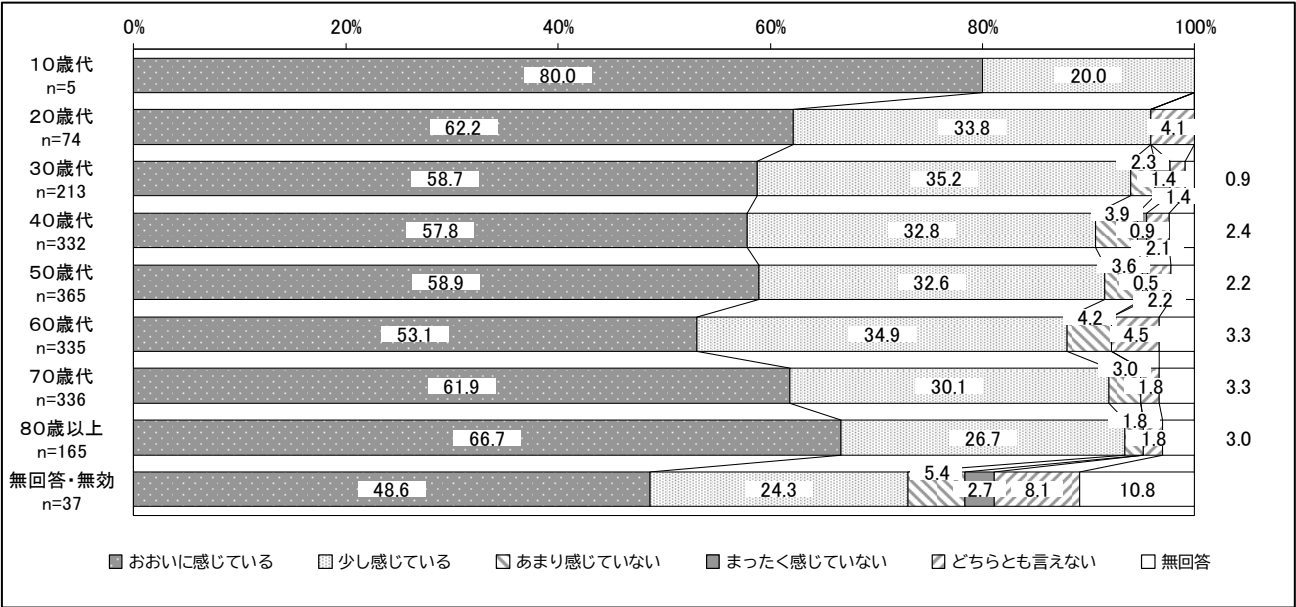
2. 各設問の集計結果

問1－1 明石のまちに愛着を感じていますか？

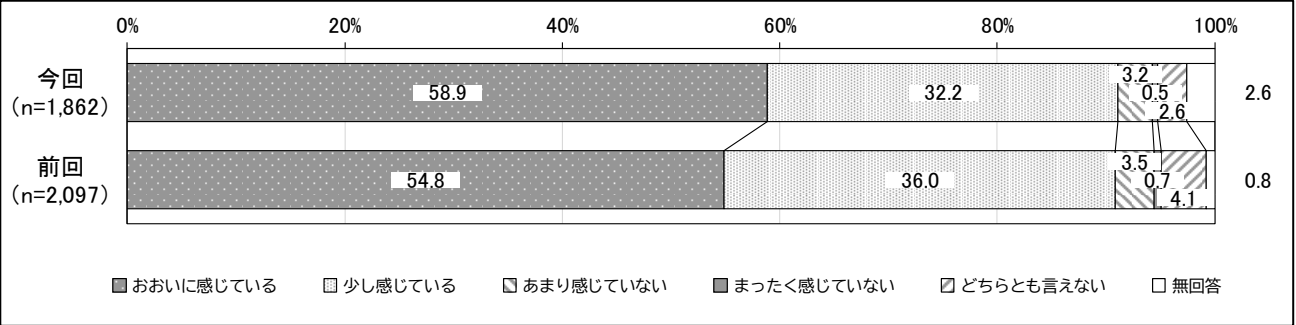
①全体集計



②年代別集計

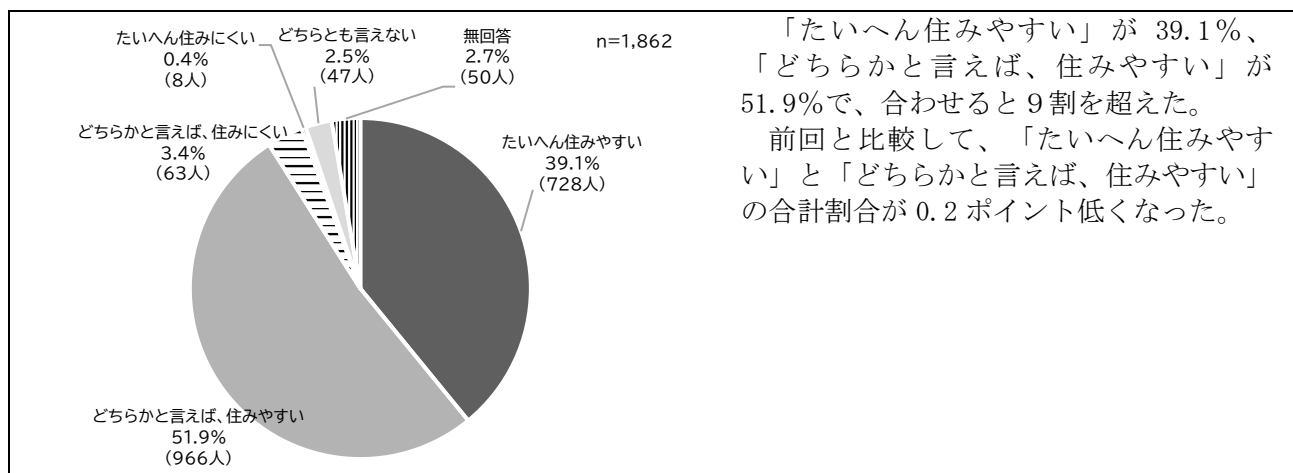


③前回比較集計

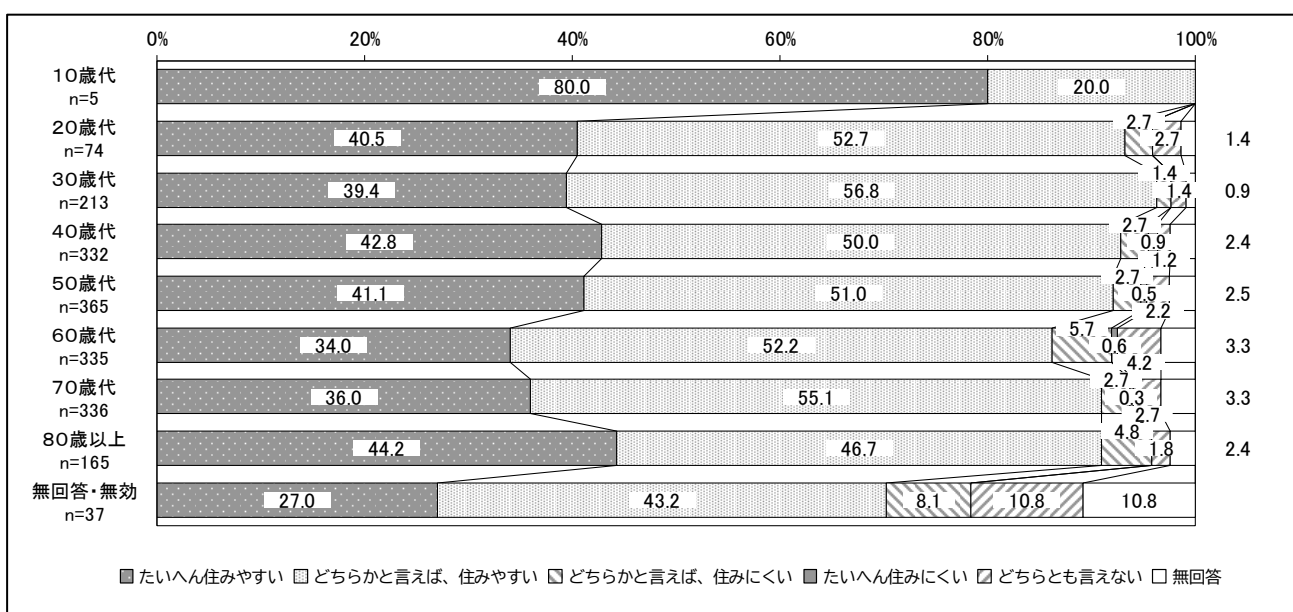


問 1－2 お住まいの地域は住みやすいですか？

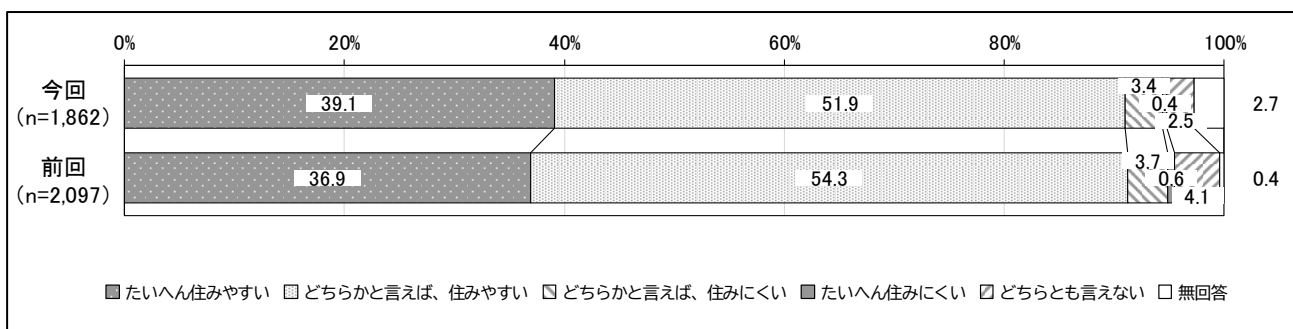
①全体集計



②年代別集計

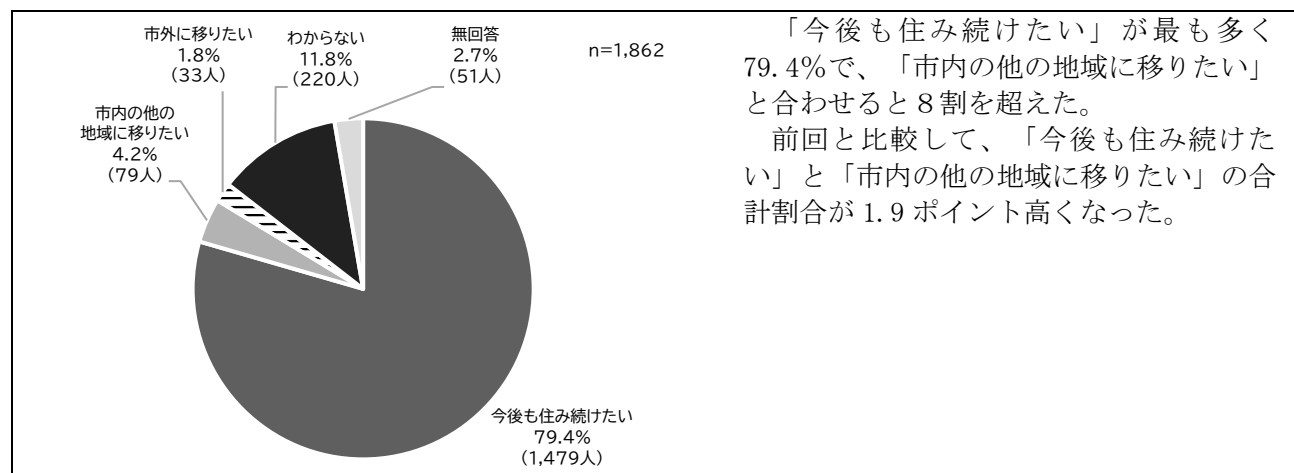


③前回比較集計

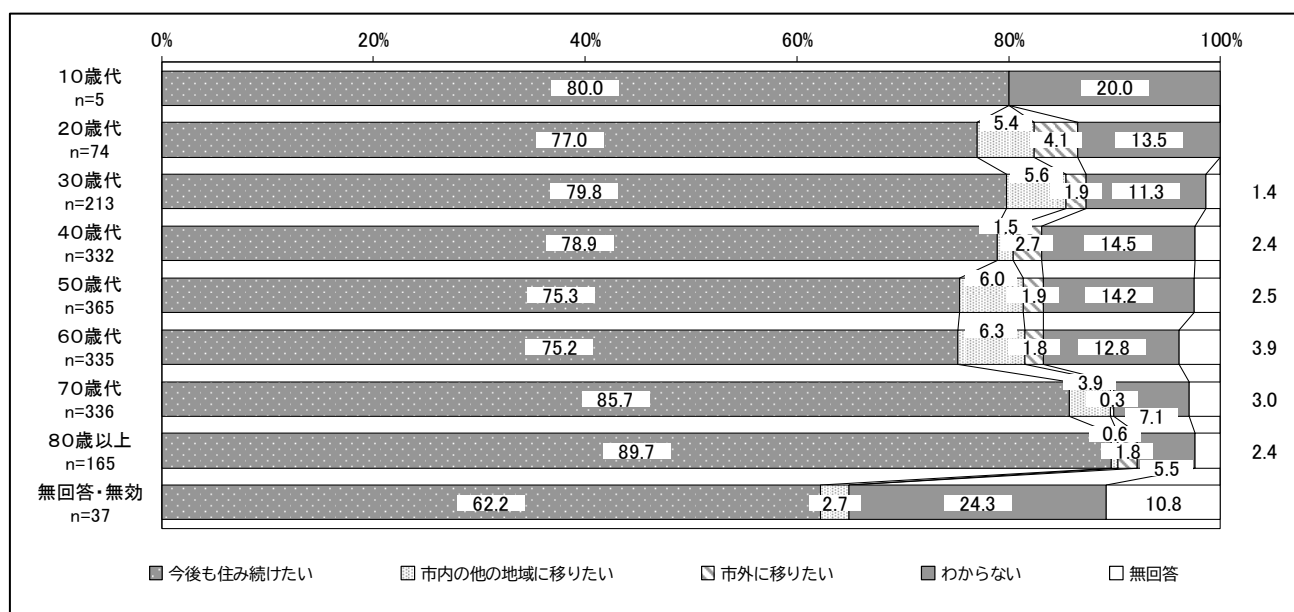


問 1－3 お住まいの地域に今後も住みたいと思いますか？

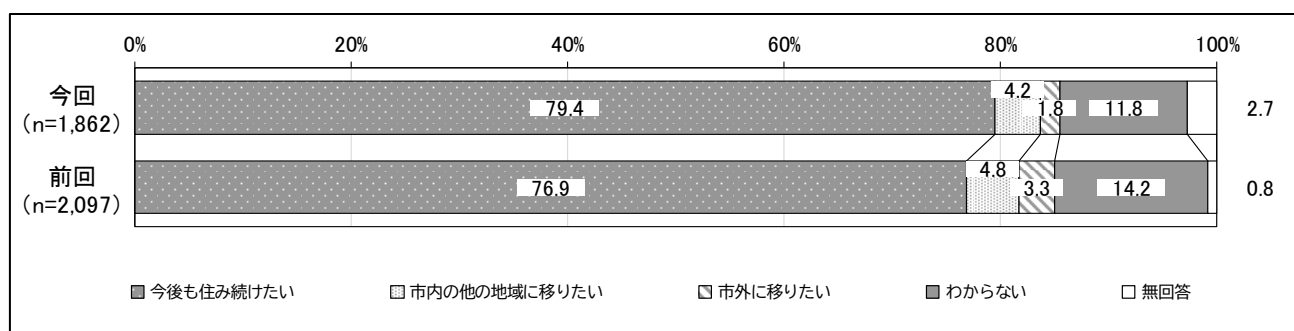
①全体集計



②年代別集計



③前回比較集計

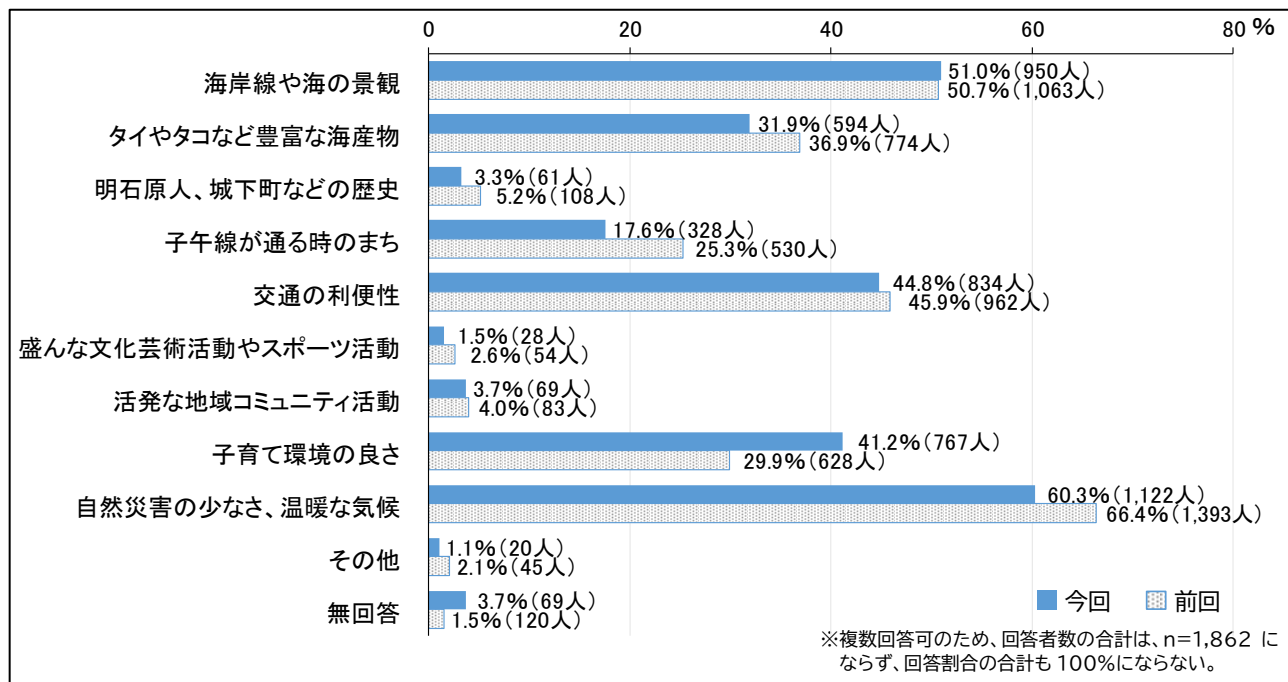


問 1—4 明石のまちの誇れるところはどこにあると思いますか？(3つまで選択)

①全体集計

「自然災害の少なさ、温暖な気候」が最も多く 60.3%、次いで「海岸線や海の景観」が 51.0%、「交通の利便性」が 44.8%、「子育て環境の良さ」が 41.2%であった。

前回と比較すると、「子育て環境の良さ」が高くなっている。



②年代別集計

年代別に見ると、50 歳未満ではすべての年代で「子育て環境の良さ」が最も多く、50 歳以上ではすべての年代で「自然災害の少なさ、温暖な気候」が最も多かった。すべての年代で「海岸線や海の景観」、「交通の利便性」、「タイやタコなど豊富な海産物」が 5 位までに入っていた。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10歳代 (n=5)	子育て環境の良さ (100.0%)	海岸線や海の景観 (60.0%)	交通の利便性/自然災害の少なさ、温暖な気候 (40.0%)		タイやタコなど豊富な海産物/子午線が通る時のまち/活発な地域コミュニティ活動 (20.0%)
20歳代 (n=74)	子育て環境の良さ (58.1%)	タイやタコなど豊富な海産物 (48.6%)	海岸線や海の景観 (47.3%)	交通の利便性 (44.6%)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (28.4%)
30歳代前半 (n=79)	子育て環境の良さ (70.9%)	海岸線や海の景観 (48.1%)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (43.0%)	交通の利便性 (39.2%)	タイやタコなど豊富な海産物 (30.4%)
30歳代後半 (n=134)	子育て環境の良さ (70.1%)	海岸線や海の景観 (43.3%)	交通の利便性 (42.5%)	タイやタコなど豊富な海産物 (38.8%)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (35.1%)
40歳代 (n=332)	子育て環境の良さ (62.3%)	海岸線や海の景観 (51.5%)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (49.7%)	交通の利便性 (37.7%)	タイやタコなど豊富な海産物 (34.3%)
50歳代 (n=365)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (60.8%)	海岸線や海の景観 (52.3%)	交通の利便性 (43.3%)	子育て環境の良さ (36.2%)	タイやタコなど豊富な海産物 (35.3%)
60歳代 (n=335)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (64.8%)	海岸線や海の景観 (51.9%)	交通の利便性 (48.7%)	子育て環境の良さ (34.0%)	タイやタコなど豊富な海産物 (30.1%)
70歳代 (n=336)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (77.7%)	海岸線や海の景観 (53.6%)	交通の利便性 (50.3%)	タイやタコなど豊富な海産物 (24.1%)	子育て環境の良さ (23.8%)
80歳以上 (n=165)	自然災害の少なさ、温暖な気候 (77.0%)	海岸線や海の景観 (52.1%)	交通の利便性 (47.3%)	タイやタコなど豊富な海産物 (29.1%)	子午線が通る時のまち (19.4%)

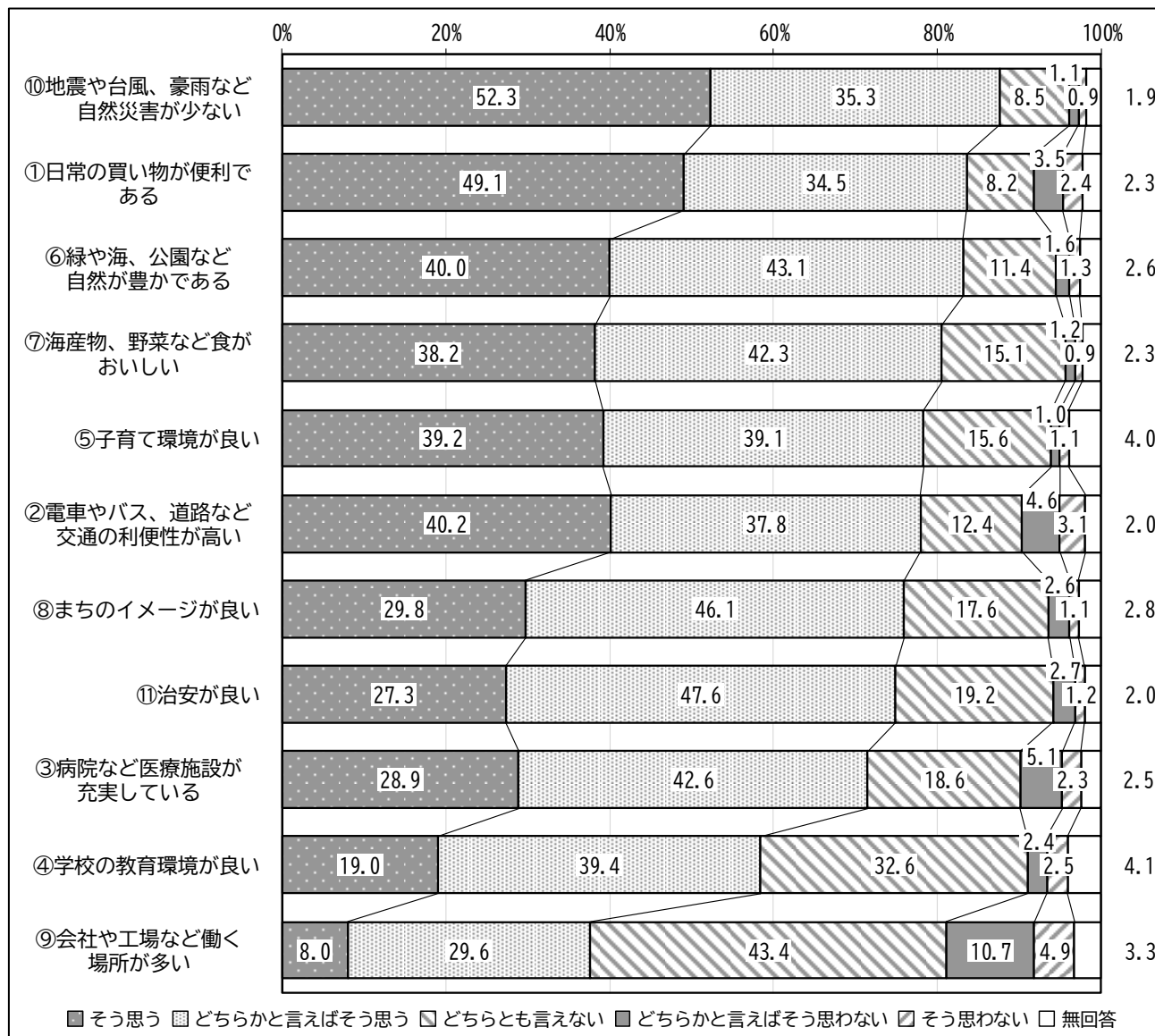
問 1—5 お住まいの地域の生活環境について、どう感じていますか？

(1)結果概要

地域の生活環境について、11の視点から、それぞれ「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」という選択肢を設けて、現状を聞いた。

その結果、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合が最も高かったのが、「地震や台風、豪雨など自然災害が少ない」（87.6%）であり、次に「日常の買い物が便利である」（83.6%）、「緑や海、公園など自然が豊かである」（83.1%）、「海産物、野菜など食がおいしい」（80.5%）、「子育て環境がいい」（78.3%）であった。

一方、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が最も高かったのが、「会社や工場など働く場所が多い」（15.6%）であり、次に「電車やバス、道路など交通の利便性が高い」（7.7%）、「病院など医療施設が充実している」（7.4%）であった。



※「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高い順に並べ替え。

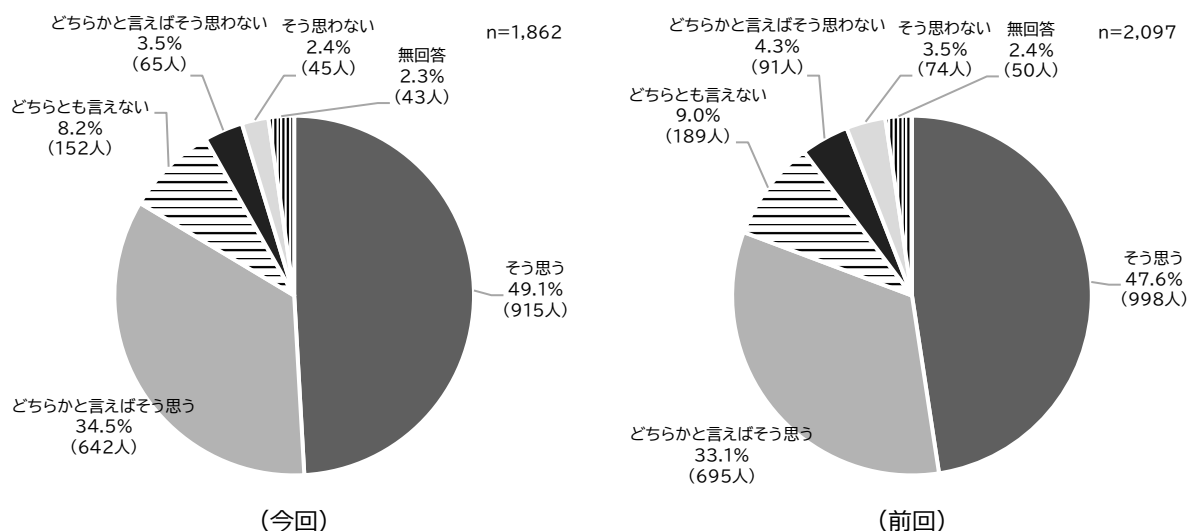
(2)各項目の集計結果

① 日常の買い物が便利である

①全体集計

「そう思う」が最も多く 49.1%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」で 34.5%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約8割を占めた。

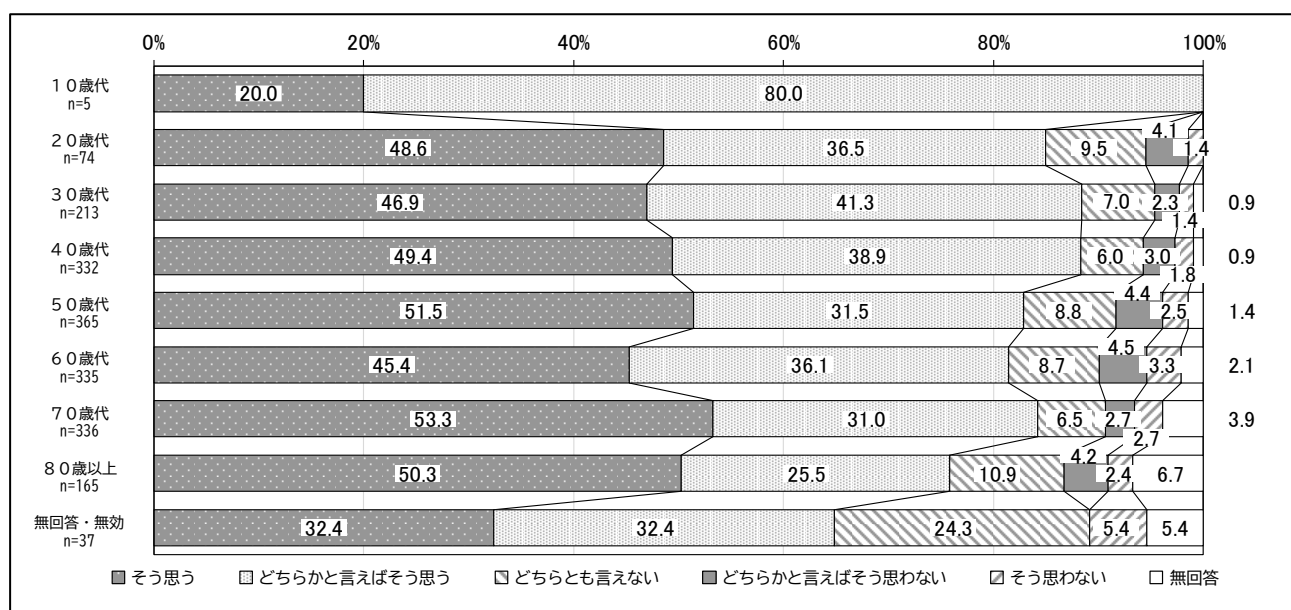
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が少し高くなった。



②年代別集計

80歳以上を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が8割を超えた。80歳以上では、75.8%であった。

また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代が1割に満たなかった。

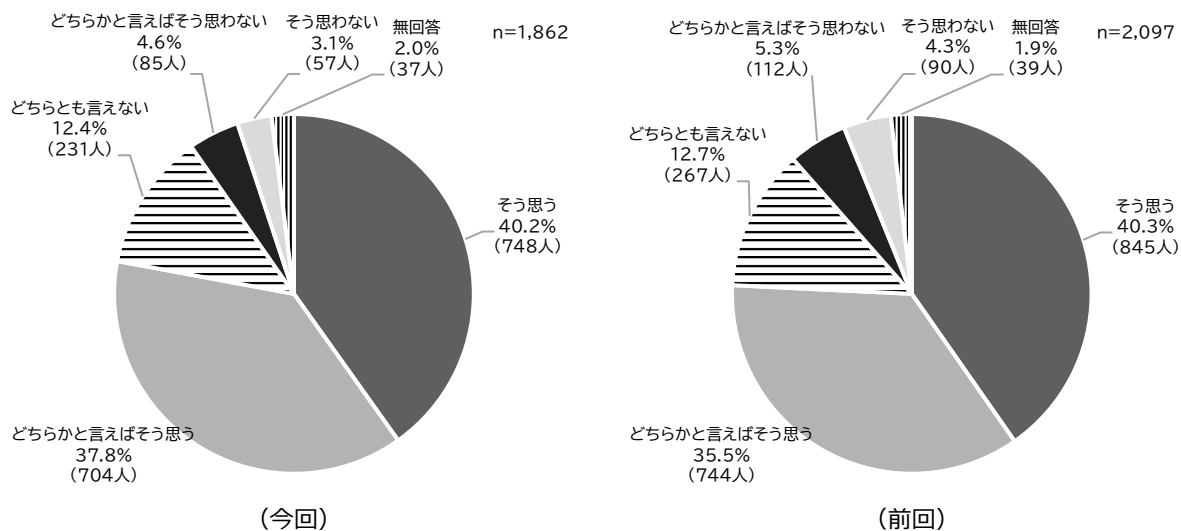


② 電車やバス、道路など交通の利便性が高い

①全体集計

「そう思う」が最も多く 40.2%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が 37.8%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約8割であった。

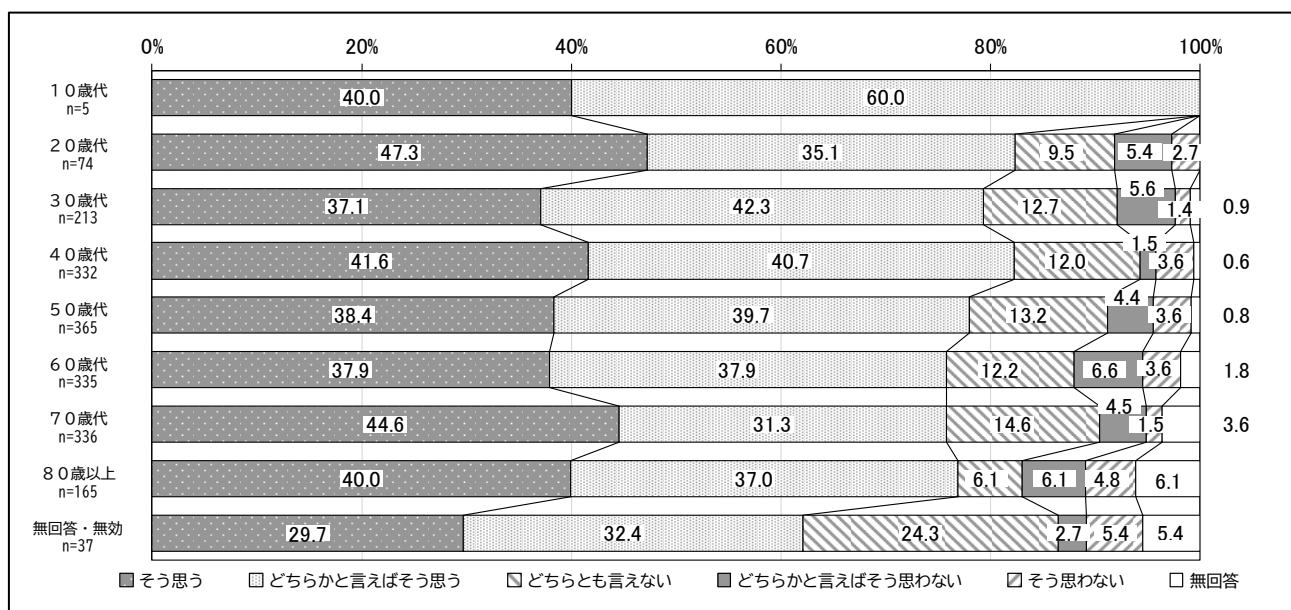
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が少し高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

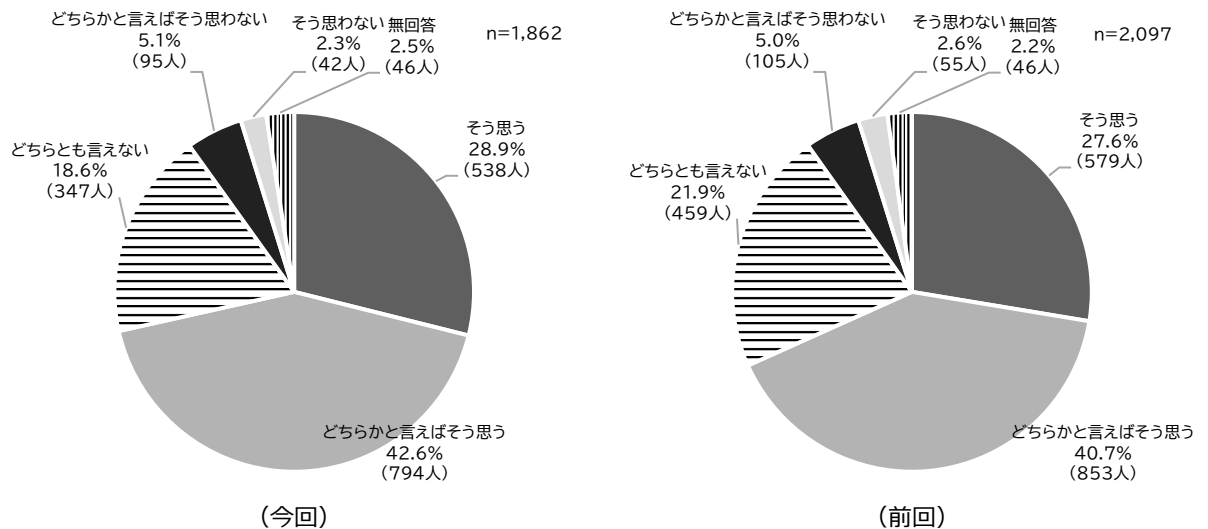
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、60歳代、80歳以上が1割を超えており、他の年代と比べて少し高かった。



③ 病院など医療施設が充実している

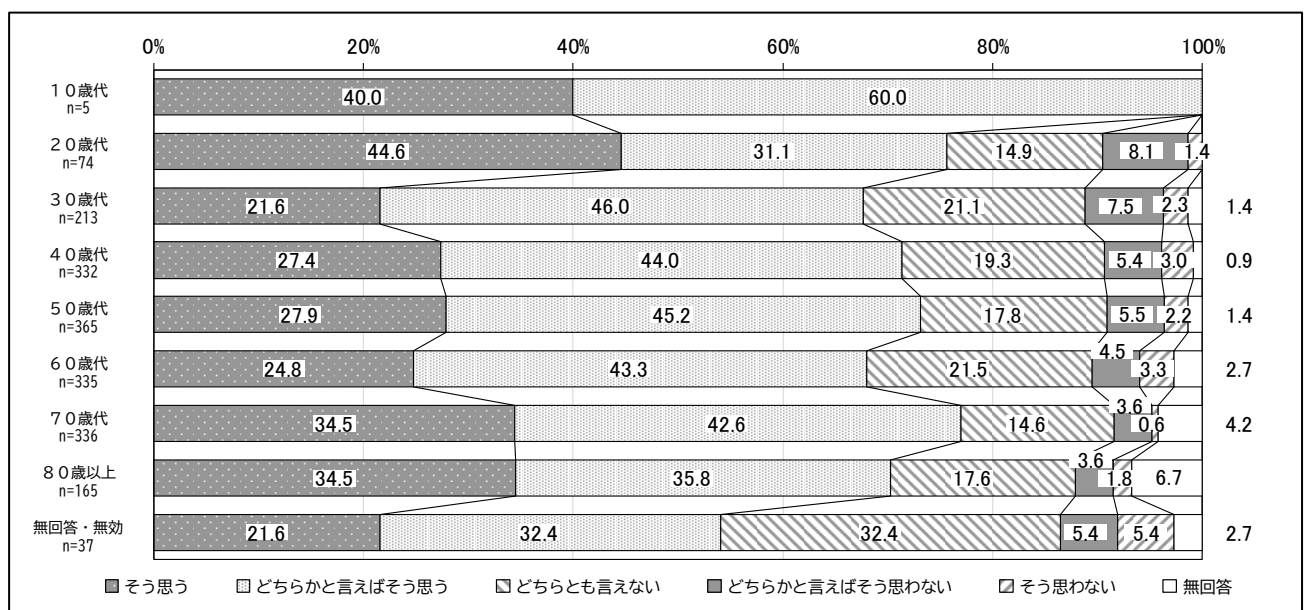
① 全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 42.6%であり、次いで「そう思う」が 28.9%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると7割を超えた。
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

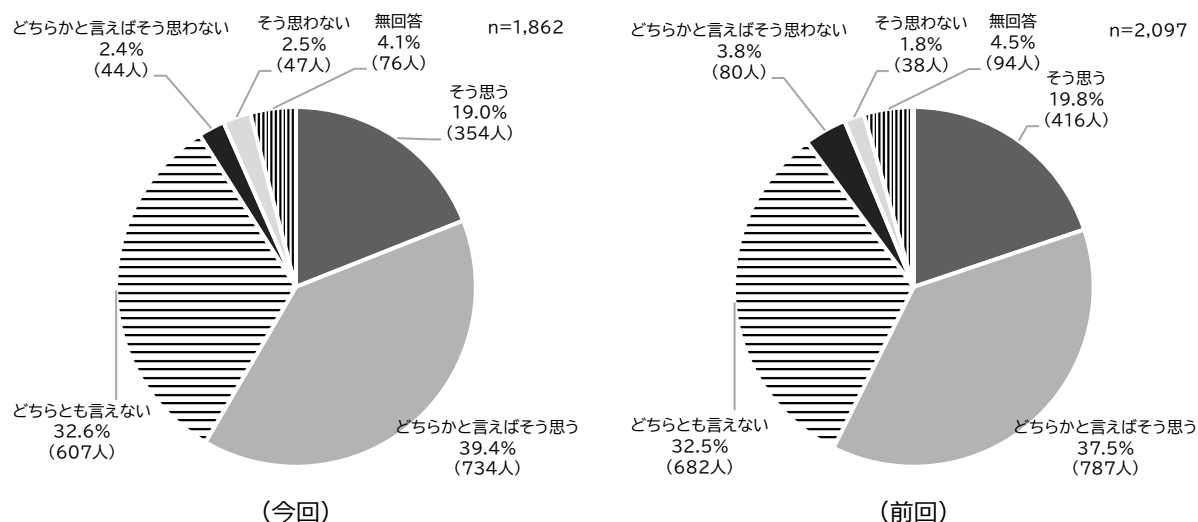
すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6割を超えた。
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代が1割に満たなかった。



④ 学校の教育環境が良い

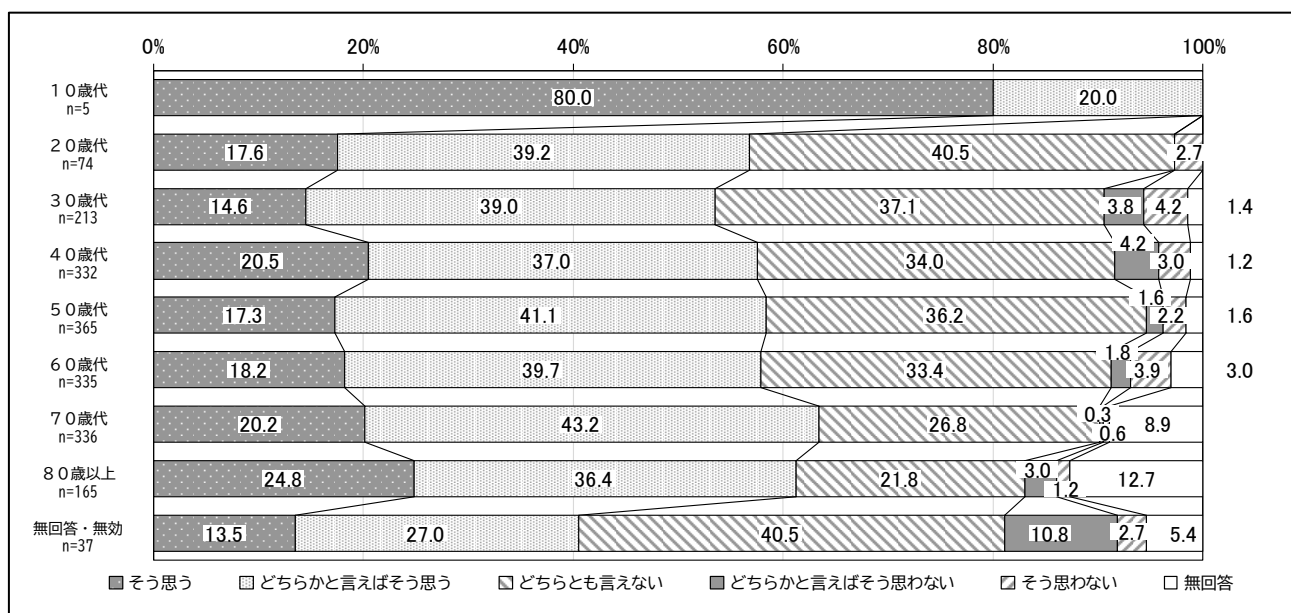
①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 39.4%であり、次いで「どちらとも言えない」が 32.6%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約6割であった。前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合がやや高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が5割を超えた。また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代が1割に満たなかった。

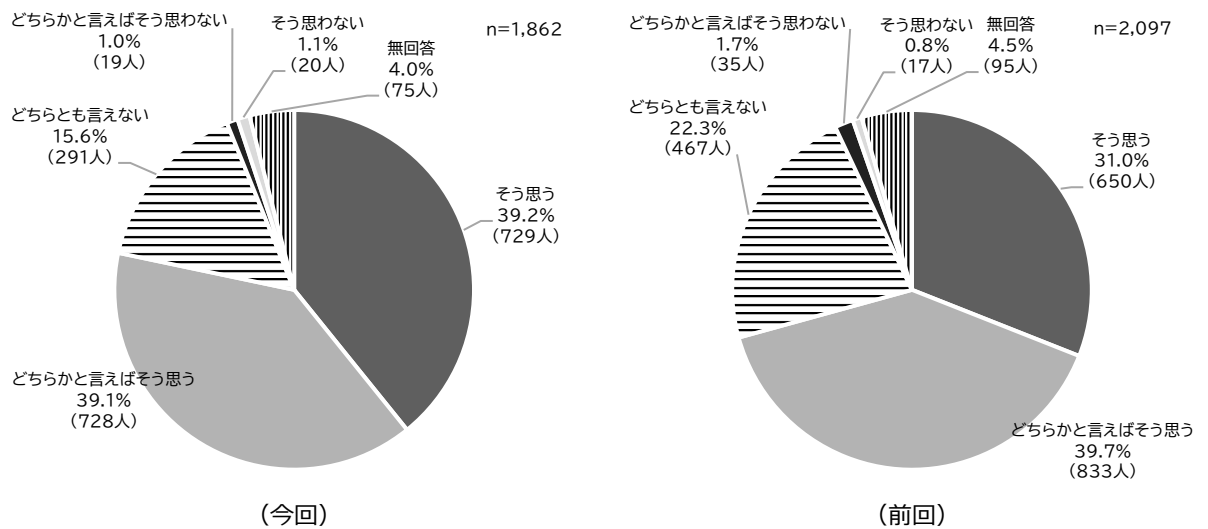


⑤ 子育て環境が良い

①全体集計

「そう思う」が最も多く 39.2%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が 39.1%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約8割であった。

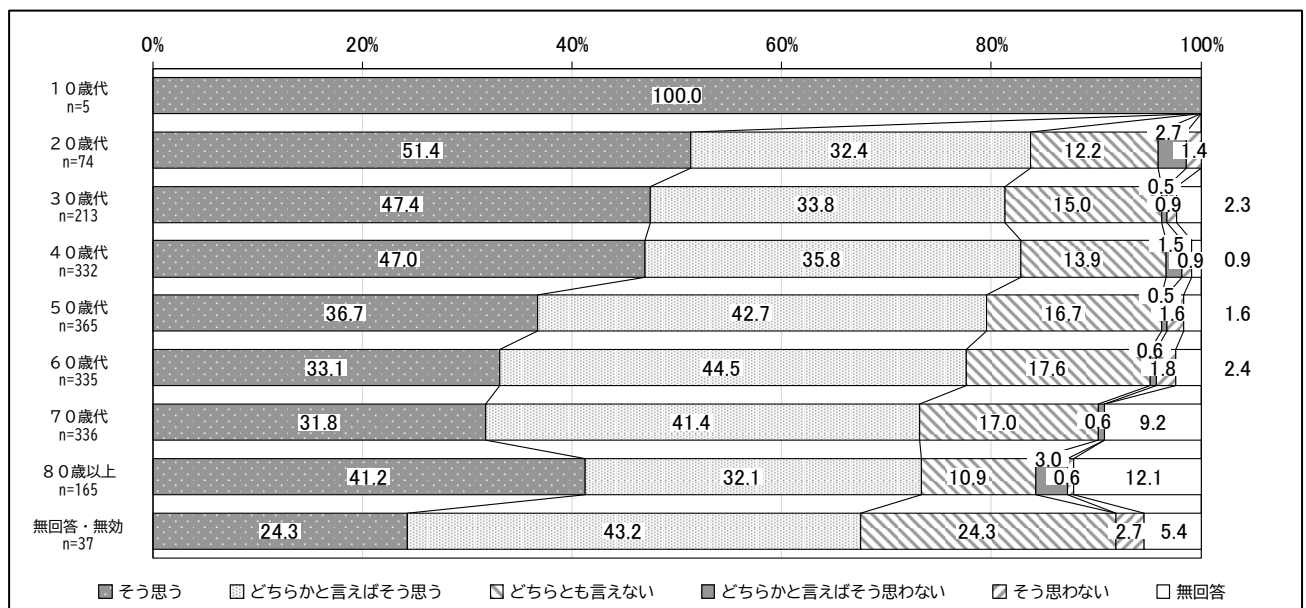
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が約8ポイント高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代が1割に満たなかった。

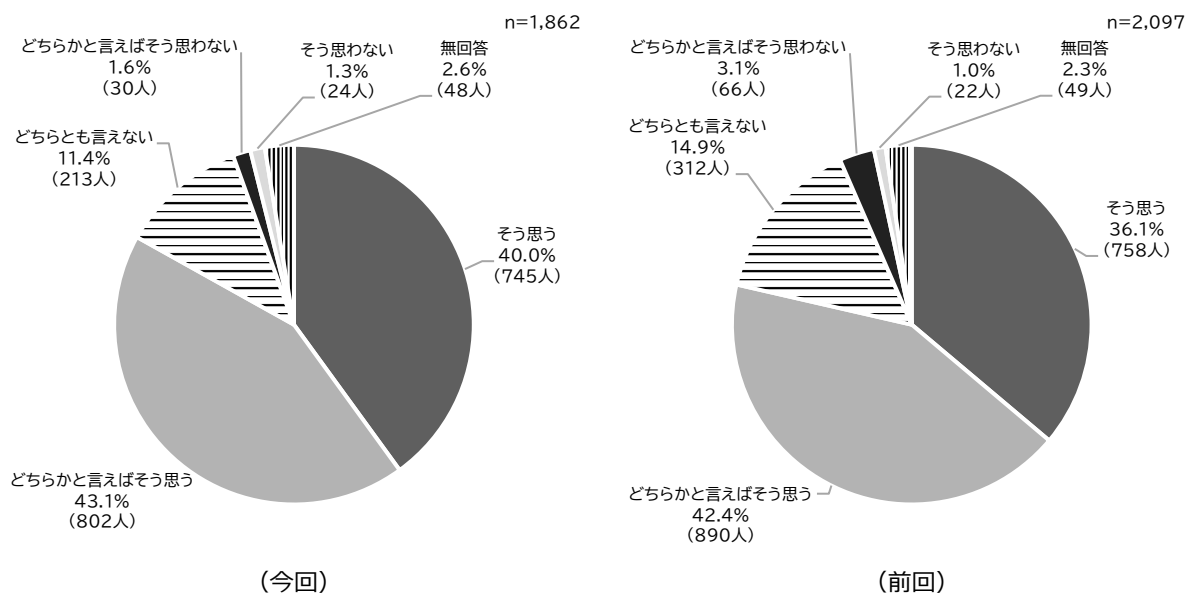


⑥ 緑や海、公園など自然が豊かである

①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 43.1%であり、次いで「そう思う」が 40.0%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると8割を超えた。

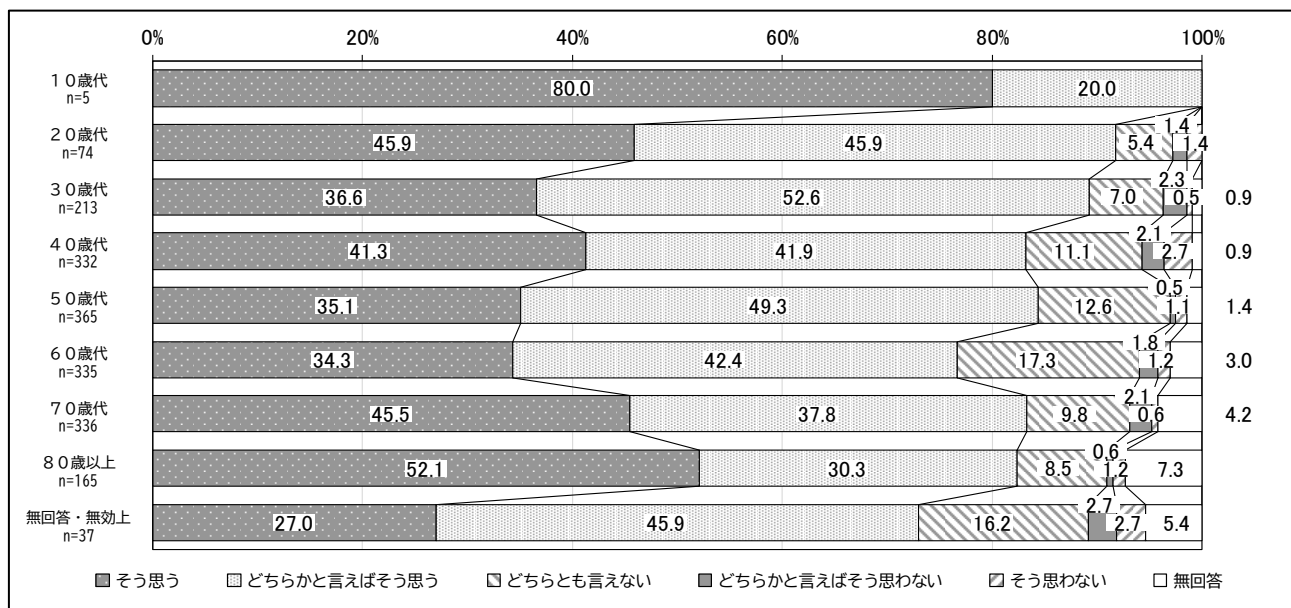
前回と比較して「そう思う」の割合が高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。

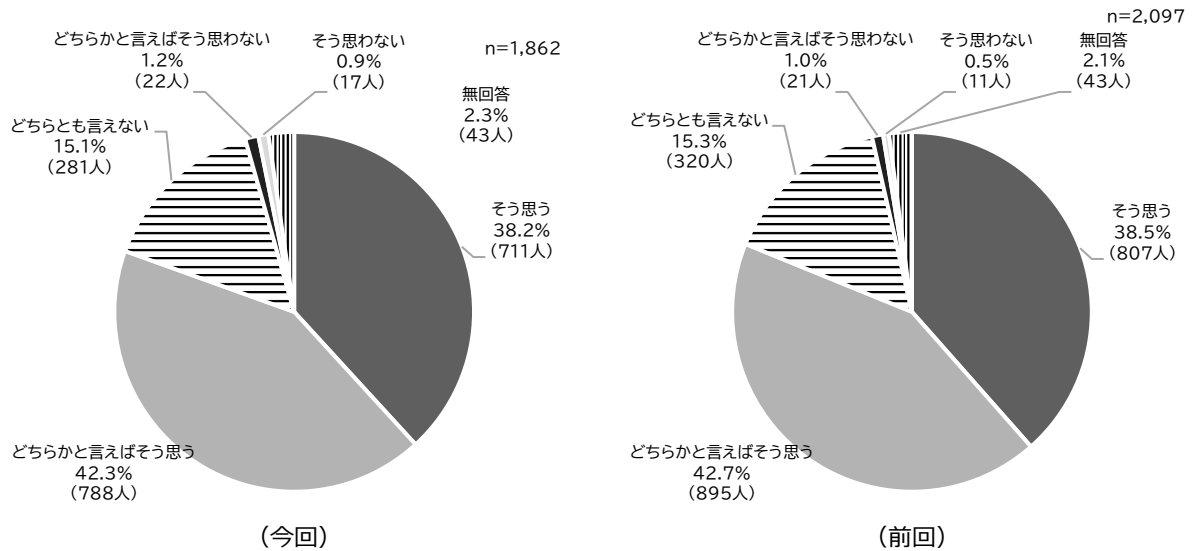


⑦ 海産物、野菜など食がおいしい

①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 42.3%であり、次いで「そう思う」が 38.2%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると8割を超えた。

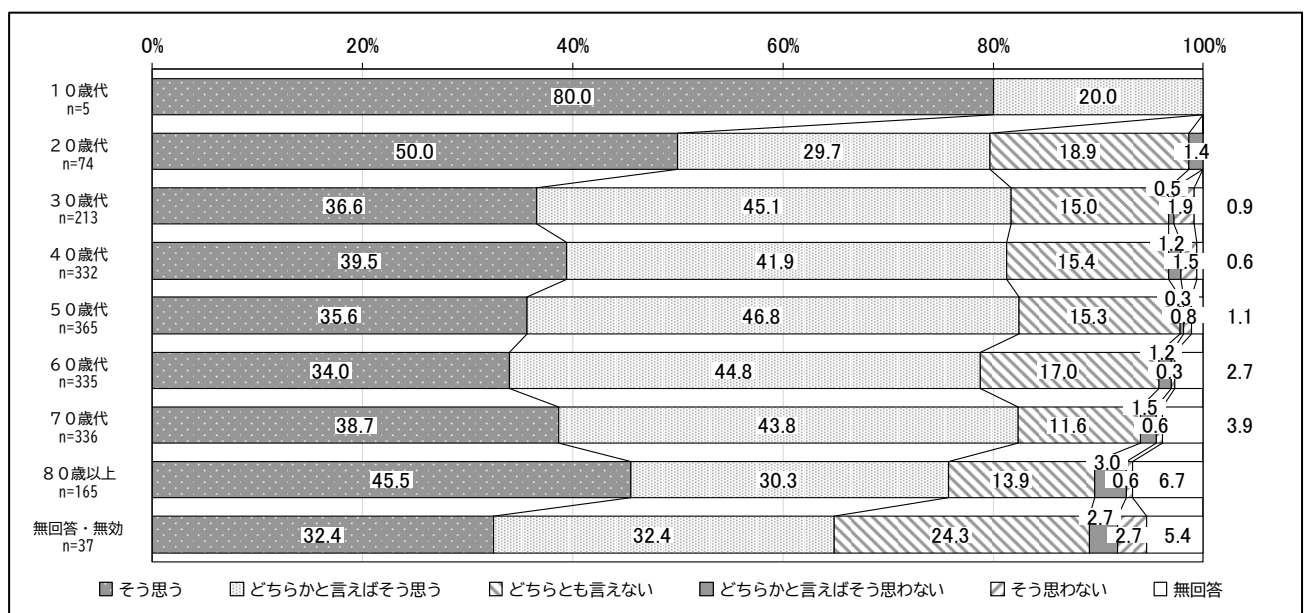
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の割合が少し低くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。

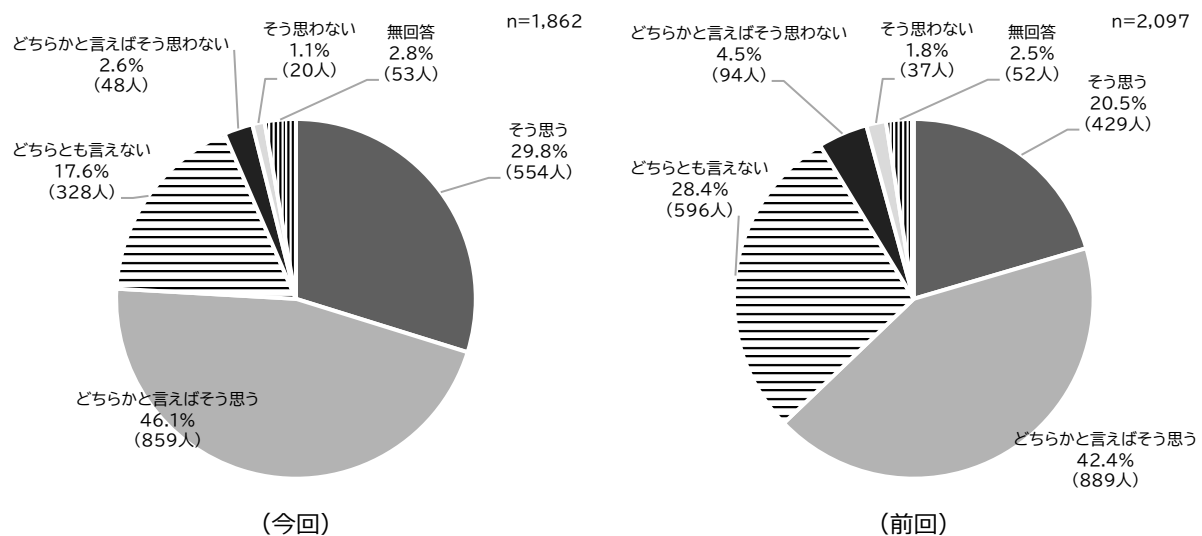


⑧ まちのイメージが良い

①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 46.1%であり、次いで「そう思う」が 29.8%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると 75.9%であった。

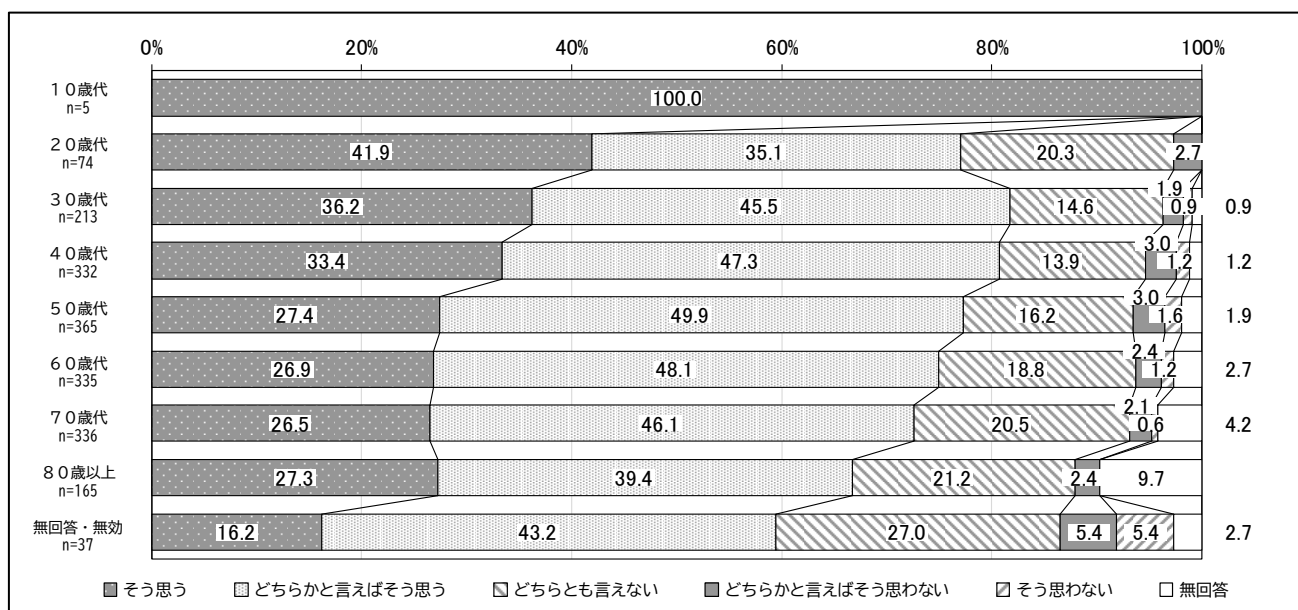
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が約 13 ポイント高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6割を超えた。

また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。

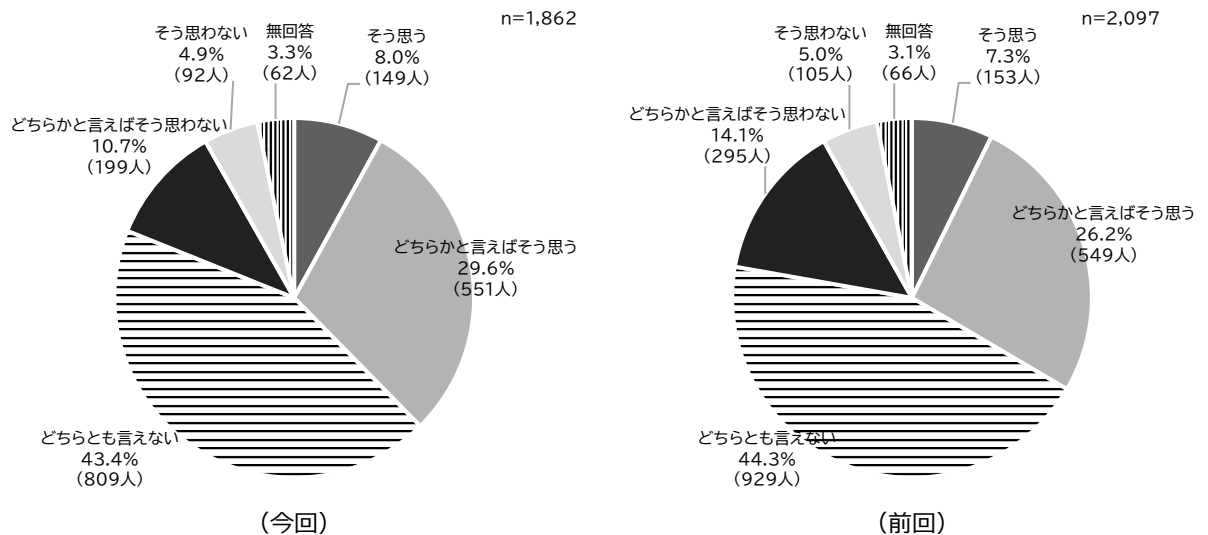


⑨ 会社や工場など働く場所が多い

①全体集計

「どちらとも言えない」が最も多く43.4%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約4割であり、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計を上回った。

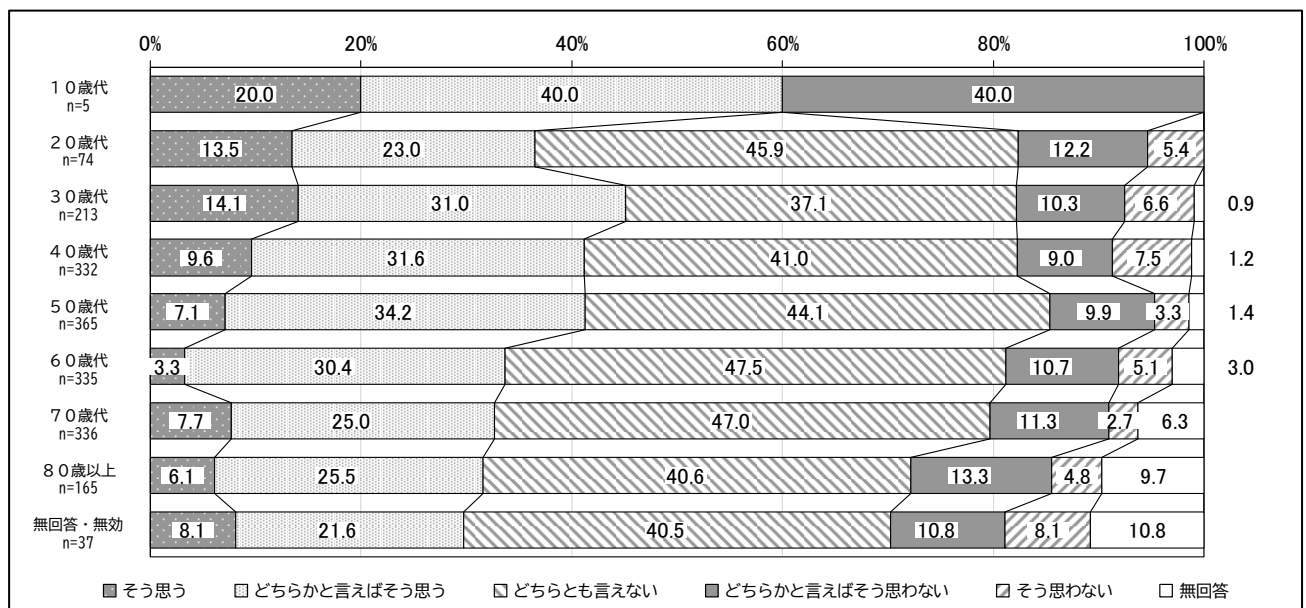
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の割合が高くなった。



②年代別集計

20歳代、60歳代、70歳代、80歳以上を除く年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が4割を超えた。20歳代、60歳代、70歳代、80歳以上では、約3割であった。

一方で、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、10歳代が40.0%で、他の年代に比べて高かった。

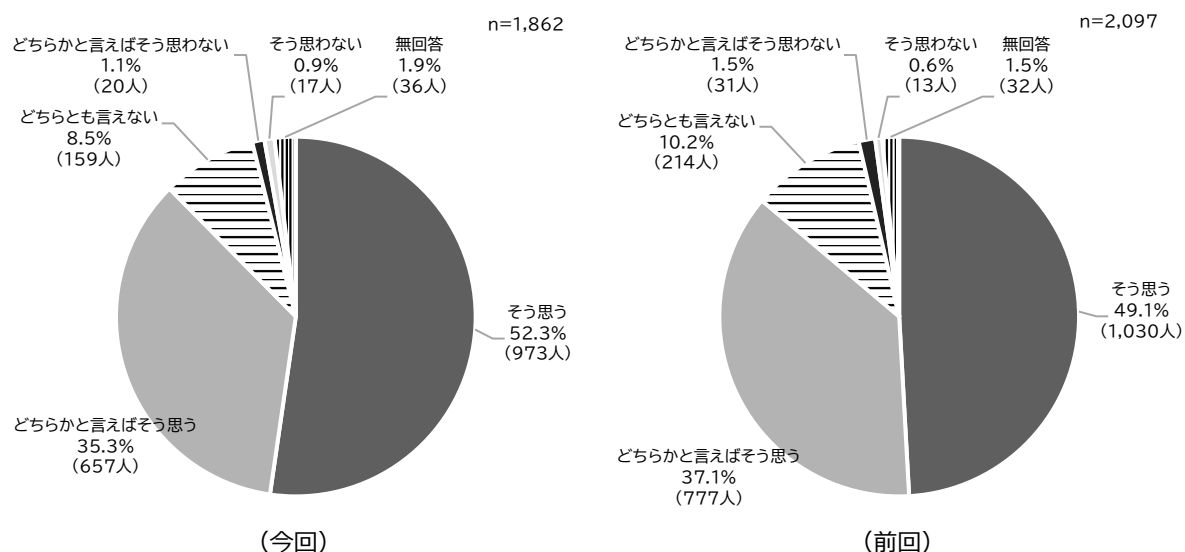


⑩ 地震や台風、豪雨など自然災害が少ない

①全体集計

「そう思う」が最も多く 52.3%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が 35.3%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約9割であった。

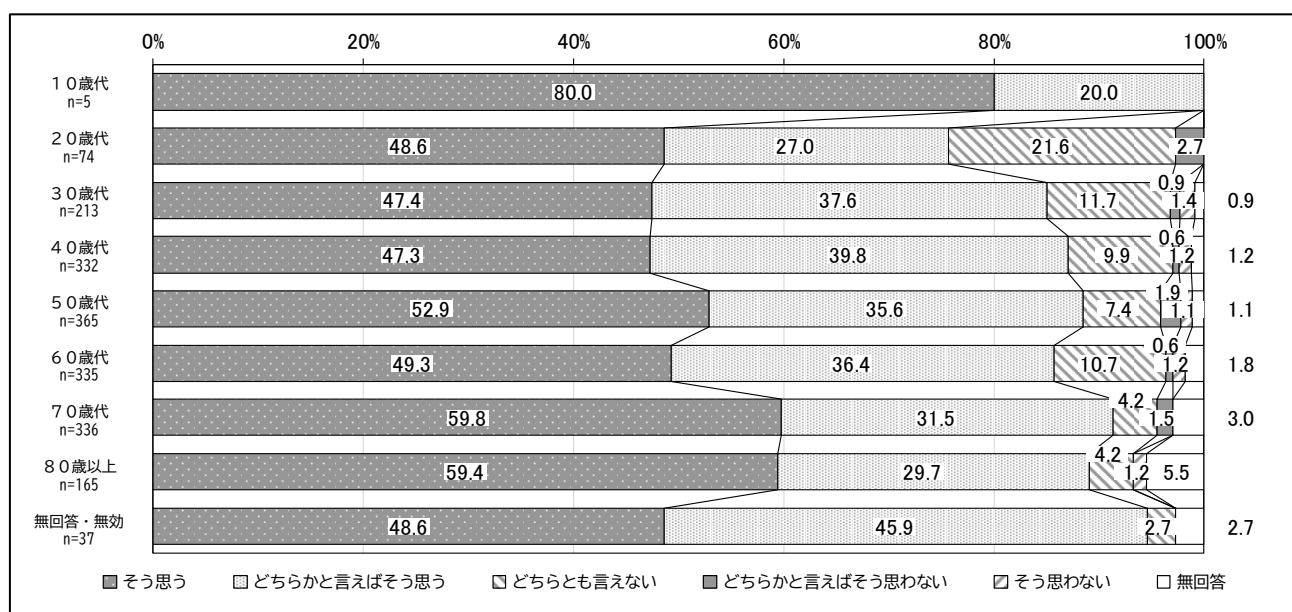
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。

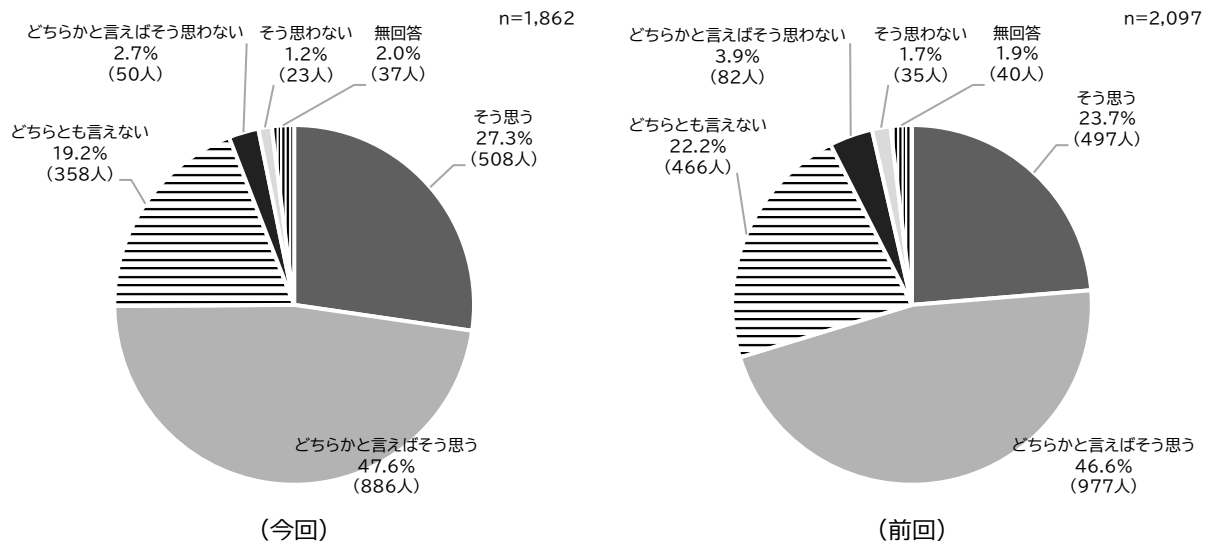


⑪ 治安が良い

①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く 47.6%であり、次いで「そう思う」が 27.3%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると7割を超えた。

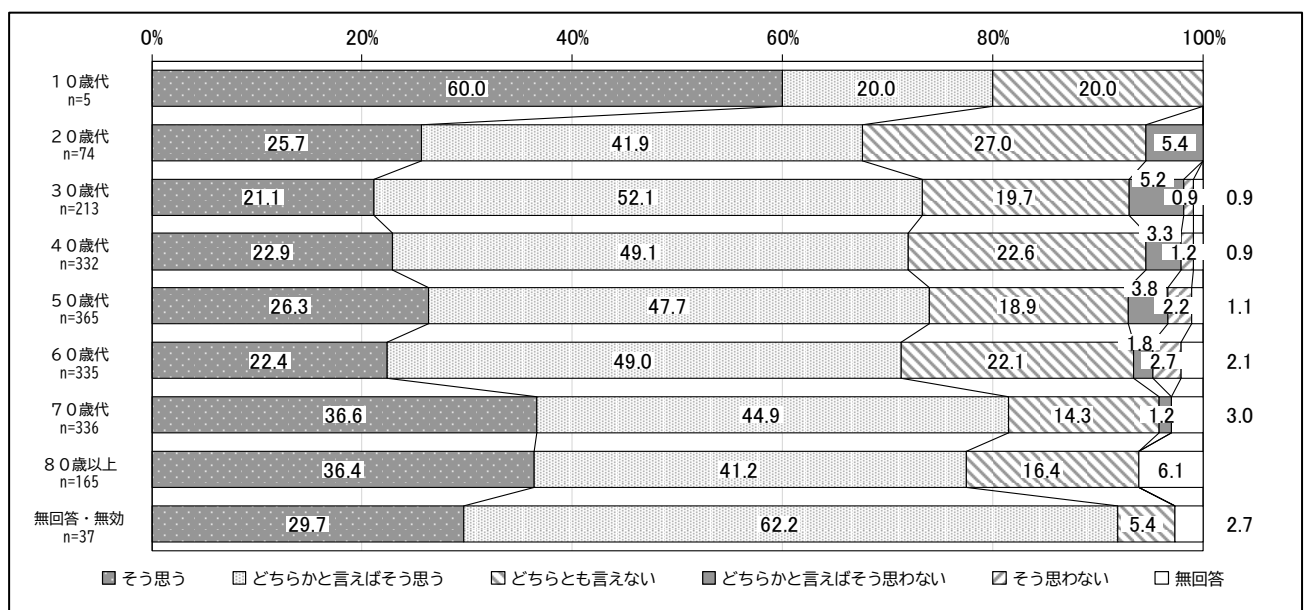
前回と比較して「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高くなった。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6割を超えた。

また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割に満たなかった。



Ⅲ 調査の結果

2) 今後の明石のまちづくりについて（問2）

1. 調査目的

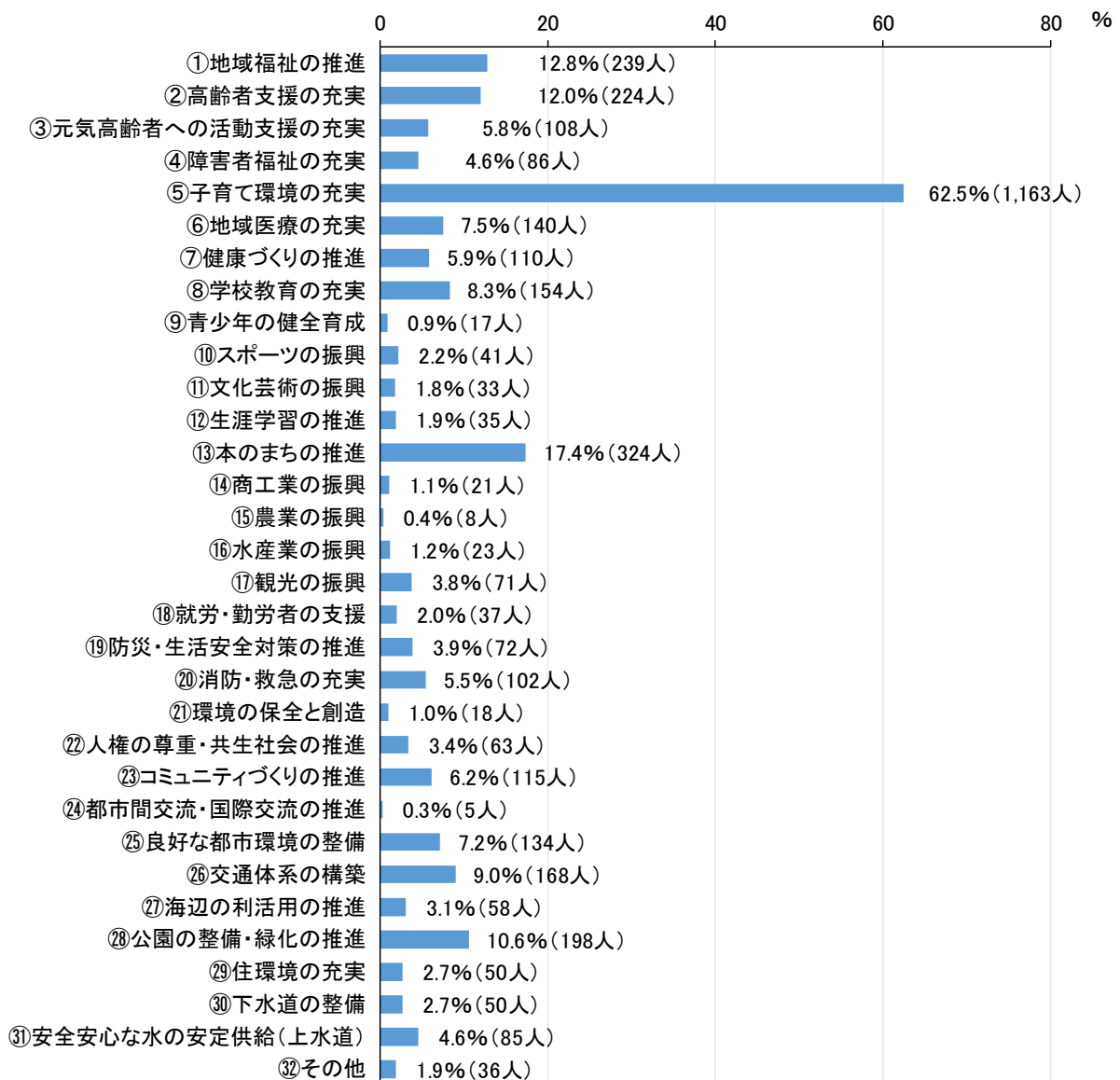
本市が進めてきたまちづくりの成果と課題について明らかにするとともに、今後の施策展開の参考にするため、「ここ数年、良くなった施策分野」、「今後、強く推進すべき施策分野」に関する調査を行った。

2. 集計結果

①全体集計

● ここ数年、良くなった分野（施策に対する満足度）（3つまで選択）

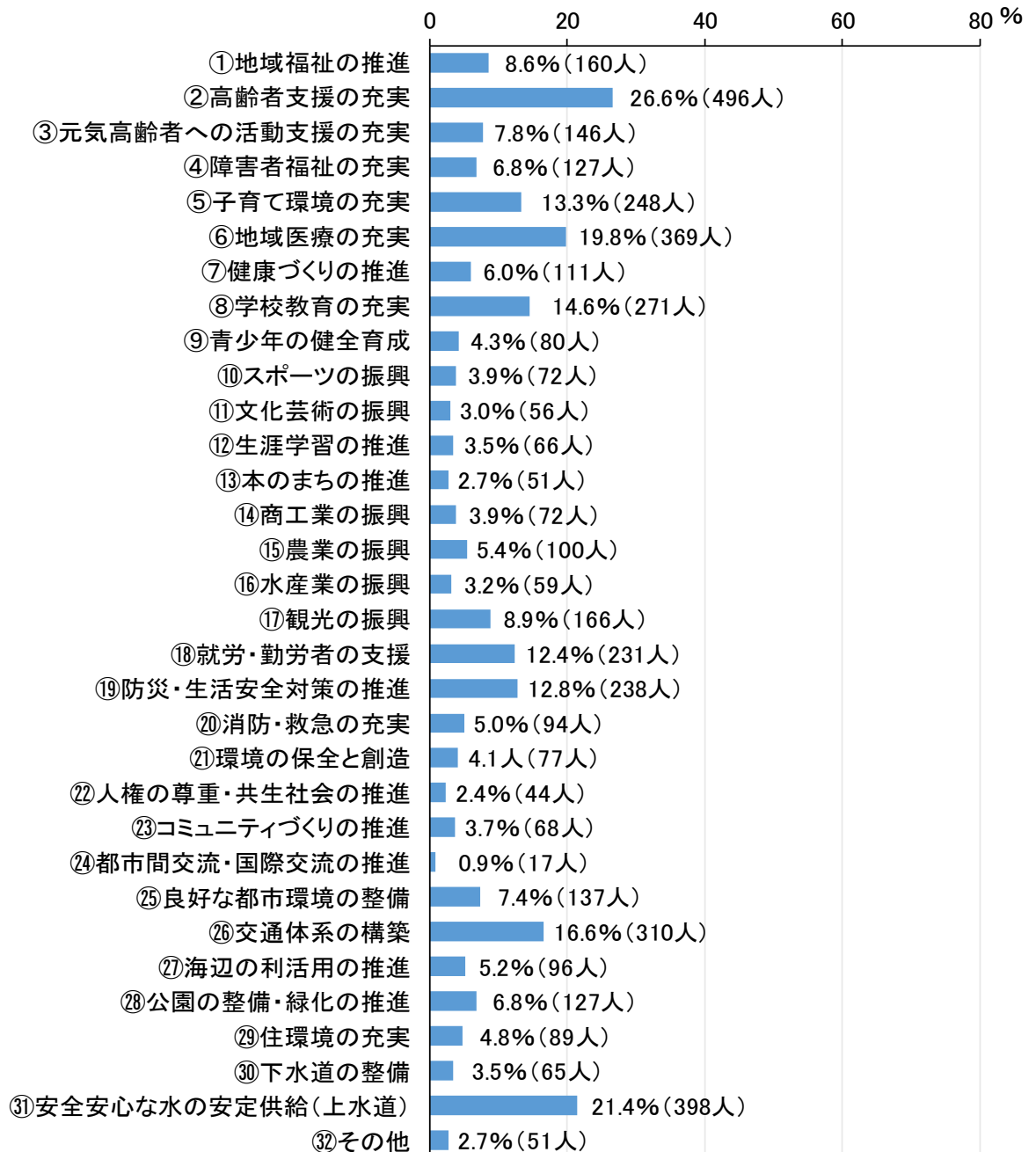
ここ数年、良くなった分野は、「子育て環境の充実」が最も多く 62.5%、次に「本のまちの推進」が 17.4%、「地域福祉の推進」が 12.8%であった。



※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=1,862 にならず、回答割合の合計も 100%にならない。

● 今後、強く推進すべき分野（施策の重要度）（3つまで選択）

今後、強く推進すべき分野は、「高齢者支援の充実」が最も多く 26.6%、次に「安全安心な水の安定供給（上水道）」が 21.4%、「地域医療の充実」が 19.8%であった。



※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=1,862 にならず、回答割合の合計も 100%にならない。

②年代別集計

●ここ数年、良くなった分野

すべての年代で「子育て環境の充実」が最も多く、10歳代から40歳代では7割以上が良くなったと回答した。また、すべての年代で「本のまちの推進」が上位5位以内に入った。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10歳代 (n=5)	子育て環境の充実 (100.0%)	地域福祉の推進/本のまちの推進 (40.0%)		青少年の健全育成/スポーツの振興/良好な都市環境の整備 (20.0%)	
20歳代 (n=74)	子育て環境の充実 (70.3%)	本のまちの推進 (14.9%)	学校教育の充実/良好な都市環境の整備 (12.2%)		交通体系の構築/公園の整備・緑化の推進 (10.8%)
30歳代 (n=213)	子育て環境の充実 (75.1%)	本のまちの推進 (19.2%)	地域福祉の推進 (17.8%)	公園の整備・緑化の推進 (12.7%)	良好な都市環境の整備 (9.4%)
40歳代 (n=332)	子育て環境の充実 (74.4%)	本のまちの推進 (22.0%)	公園の整備・緑化の推進 (15.4%)	地域福祉の推進 (14.5%)	学校教育の充実 (10.2%)
50歳代 (n=365)	子育て環境の充実 (69.3%)	本のまちの推進 (16.7%)	高齢者支援の充実 (12.9%)	地域福祉の推進 (11.0%)	公園の整備・緑化の推進 (10.4%)
60歳代 (n=335)	子育て環境の充実 (64.2%)	本のまちの推進 (15.2%)	高齢者支援の充実 (13.7%)	地域福祉の推進 (12.8%)	交通体系の構築 (10.7%)
70歳代 (n=336)	子育て環境の充実 (47.0%)	本のまちの推進 (17.0%)	高齢者支援の充実 (16.1%)	地域福祉の推進 (10.7%)	地域医療の充実 (10.4%)
80歳以上 (n=165)	子育て環境の充実 (35.2%)	高齢者支援の充実 (18.8%)	元気高齢者への活動支援の充実 (17.0%)	本のまちの推進 (14.5%)	地域福祉の推進 (12.7%)

●今後、強く推進すべき分野

10歳代では「コミュニティづくりの推進」が、20歳代から30歳代では「子育て環境の充実」が、40歳代では「学校教育の充実」が、50歳代から70歳代では「高齢者支援の充実」が、80歳以上では「安全安心な水の安定供給」の割合が最も多かった。

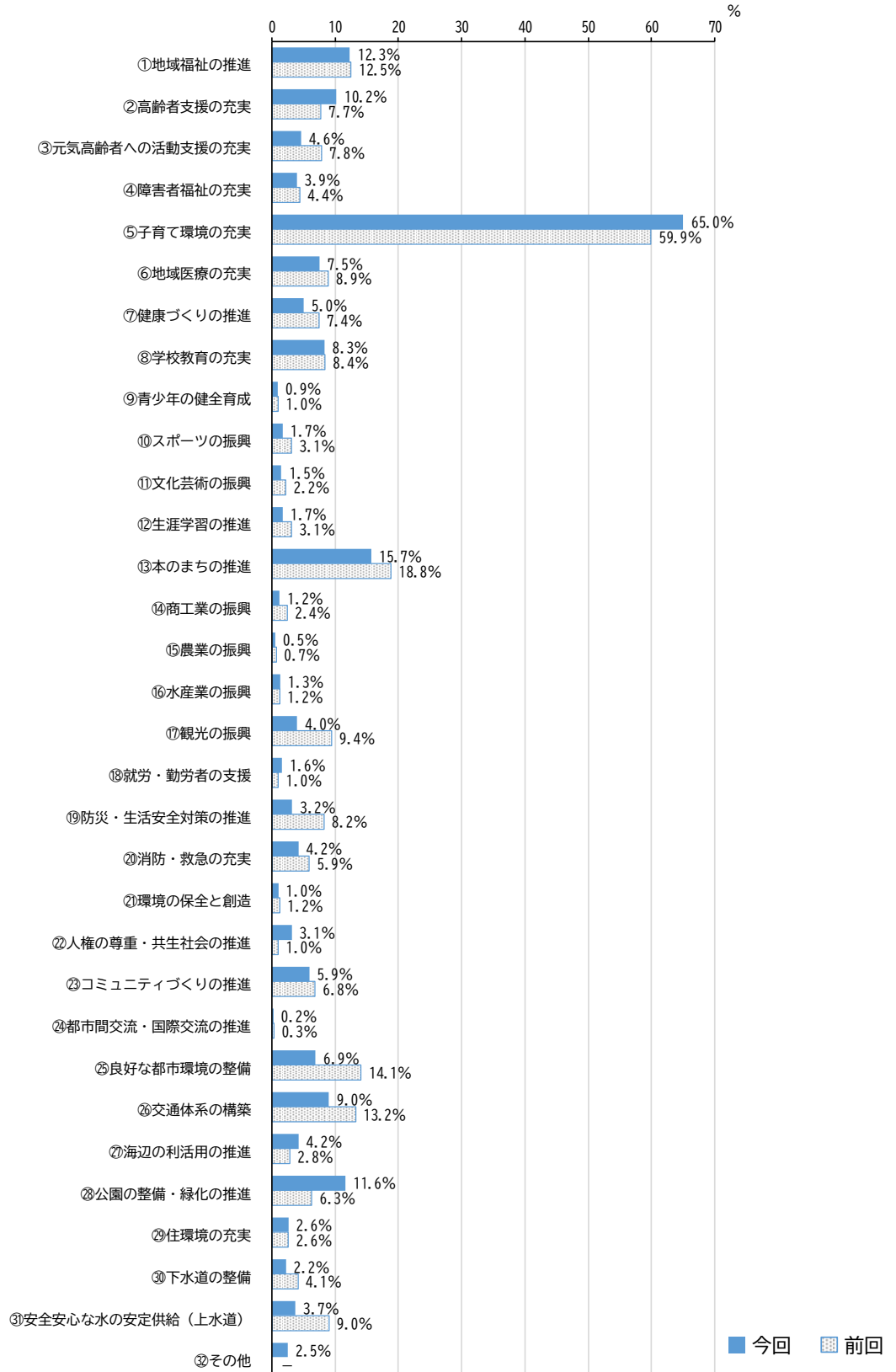
また、10歳代を除くすべての年代で「地域医療の充実」が上位5位以内に入った。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10歳代 (n=5)	コミュニティづくりの推進 (60.0%)	子育て環境の充実/学校教育の充実/観光の振興/就労・勤労者の支援 (40.0%)			
20歳代 (n=74)	子育て環境の充実/地域医療の充実/就労・勤労者の支援 (20.3%)			学校教育の充実 (17.6%)	高齢者支援の充実 (16.2%)
30歳代 (n=213)	子育て環境の充実 (38.0%)	学校教育の充実 (34.7%)	地域医療の充実 (19.2%)	安全安心な水の安定供給 (17.4%)	交通体系の構築 (16.0%)
40歳代 (n=332)	学校教育の充実 (25.6%)	高齢者支援の充実 (21.1%)	地域医療の充実 (19.9%)	子育て環境の充実 (19.3%)	安全安心な水の安定供給 (17.5%)
50歳代 (n=365)	高齢者支援の充実 (33.4%)	地域医療の充実 (22.7%)	安全安心な水の安定供給 (18.4%)	交通体系の構築 (17.5%)	防災・生活安全対策の推進 (15.1%)
60歳代 (n=335)	高齢者支援の充実 (37.9%)	安全安心な水の安定供給 (24.2%)	地域医療の充実 (21.8%)	交通体系の構築 (20.0%)	防災・生活安全対策の推進 (13.7%)
70歳代 (n=336)	高齢者支援の充実 (28.3%)	安全安心な水の安定供給 (26.2%)	交通体系の構築 (20.5%)	地域医療の充実 (17.0%)	防災・生活安全対策の推進 (14.3%)
80歳以上 (n=165)	安全安心な水の安定供給 (27.3%)	高齢者支援の充実 (22.4%)	地域医療の充実 (15.8%)	交通体系の構築 (12.7%)	地域福祉の推進/防災・生活安全対策の推進 (9.7%)

③前回比較集計

● ここ数年、良くなった分野

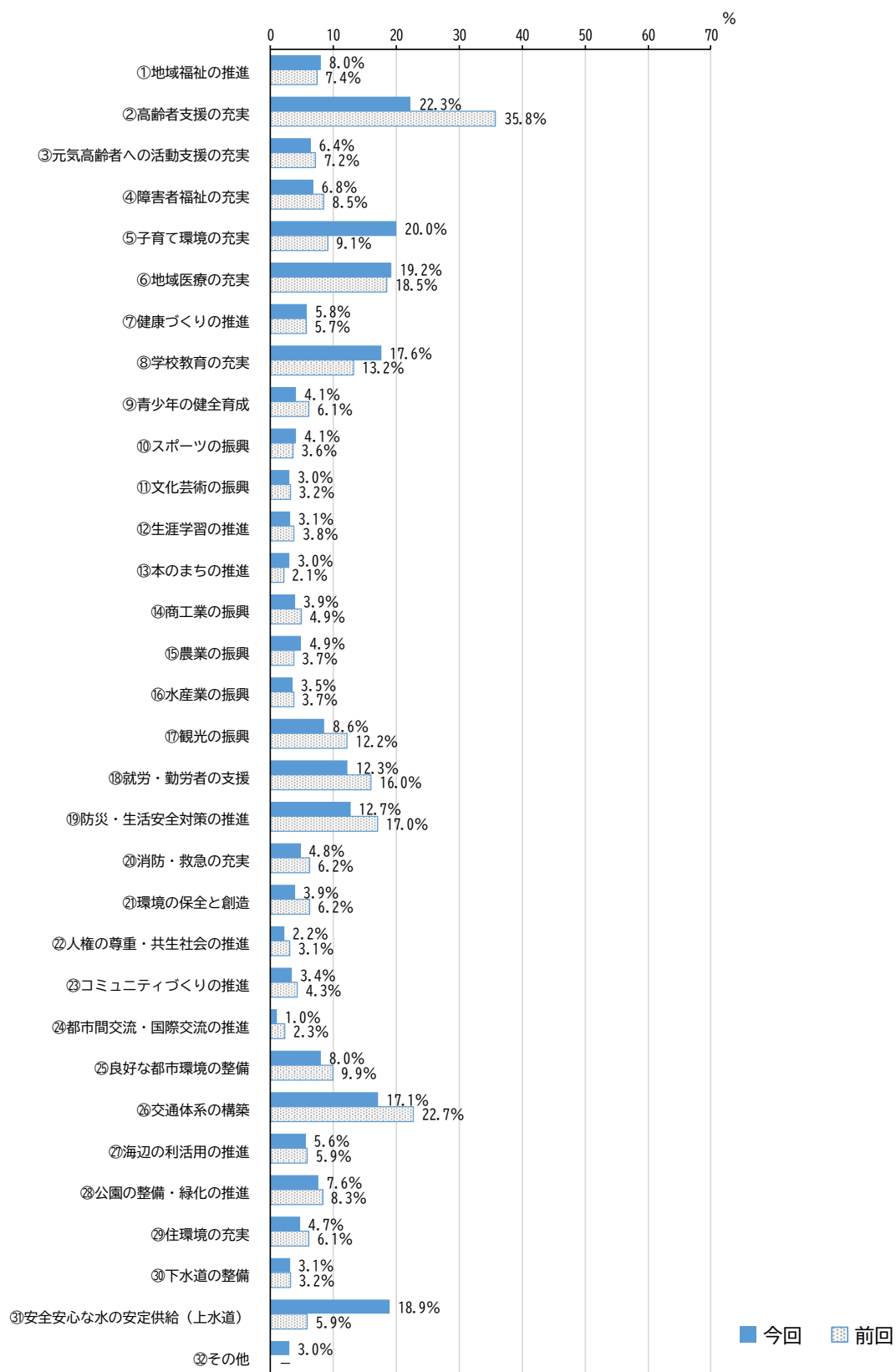
ここ数年、良くなった分野では「子育て環境の充実」の割合が高くなり、5.1 ポイント高くなった。



※前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

● 今後、強く推進すべき分野

今後、強く推進すべき分野では「安全安心な水の安定供給（上水道）」の割合が高くなり、13.0ポイント高くなった。



※前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

Ⅲ 調査の結果

3) 市民の皆様の意識や行動について（問3）

1. 調査目的

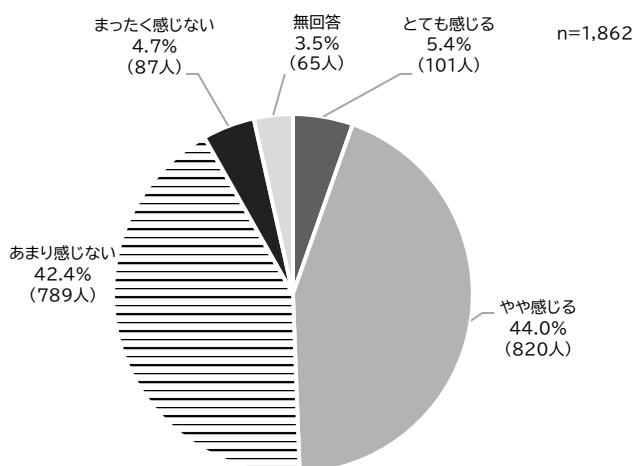
まちづくりの進捗状況の確認や今後の施策展開の参考とするため、市民の皆さまの意識や行動について調査を行った。

なお、各設問のうち、前回調査（令和元年、6～7月実施）と同じ又は同内容のものについて、調査結果の比較を行った。

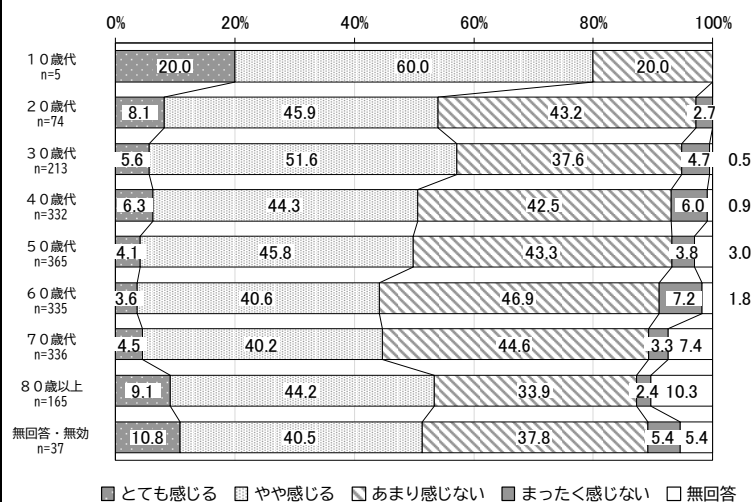
2. 各設問の集計結果

【健康・福祉分野】

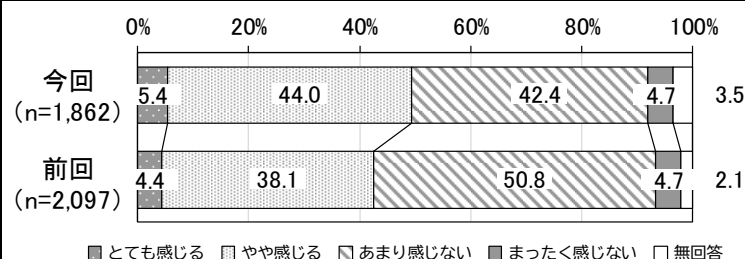
① 支援が必要な高齢者や障害者などを地域で支え合う地域福祉活動が推進されていると感じますか？



「やや感じる」と答えた割合が約4割で、「とても感じる」とあわせると約5割となった。

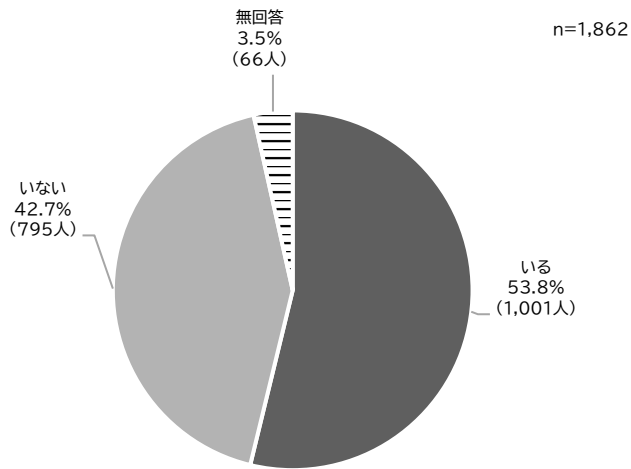


支援が必要な高齢者や障害者などを地域で支え合う地域福祉活動が推進されていると感じるかを年代別に見ると、60歳代、70歳代では「とても感じる」と「やや感じる」を合わせると約4割となった。

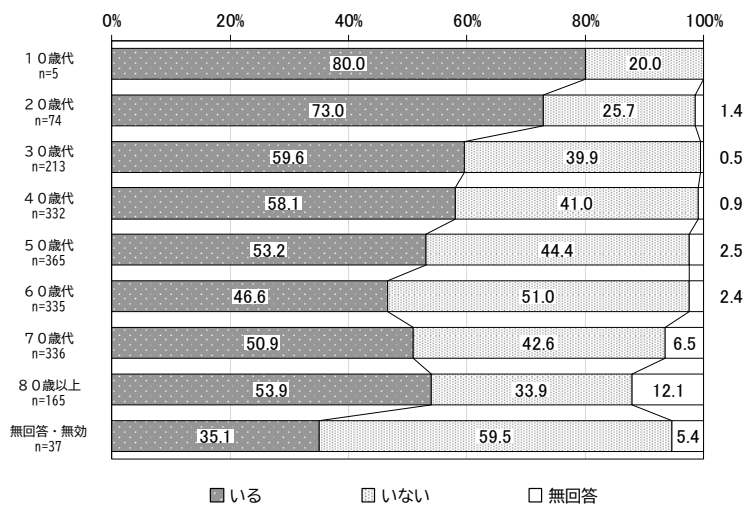


前回と比較して「とても感じる」、「やや感じる」の合計割合が6.9ポイント高くなり、「あまり感じない」、「まったく感じない」の合計が8.4ポイント低くなった。

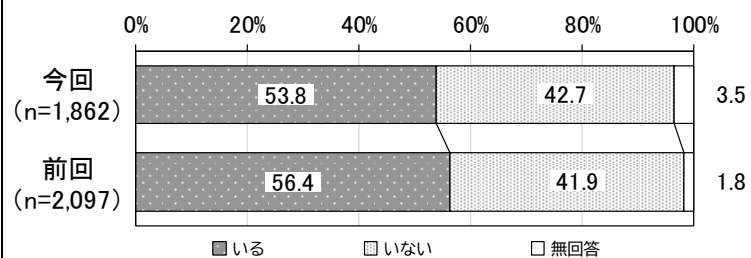
② 普段の生活で何か困ったことがあったとき、相談できる人が地域にいますか？



「いる」と答えた割合が約 5 割、「いない」と答えた割合が約 4 割となった。

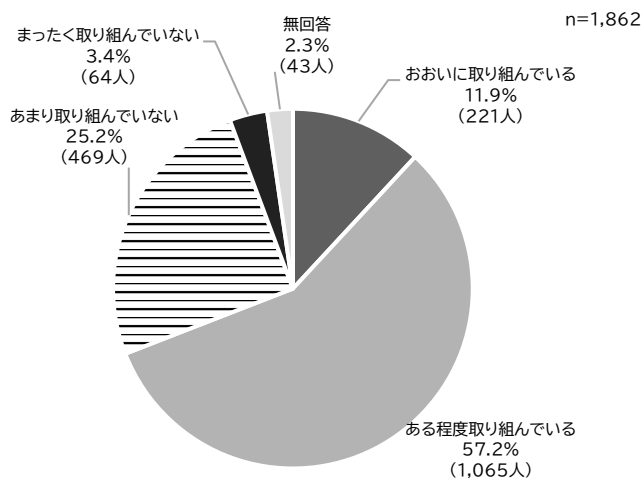


普段の生活で何か困ったことがあったとき、相談できる人が地域にいるかを年代別にみると、20歳代では約 7 割、30歳代以降では 5 ～ 6 割程度になった。

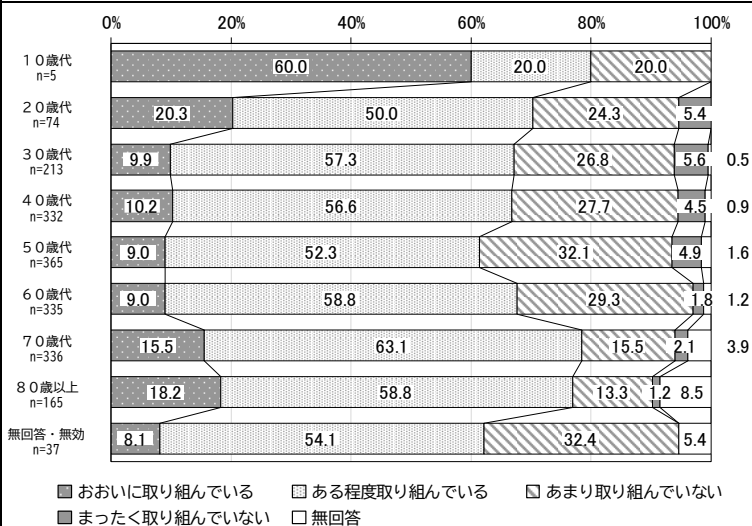


前回と比較して、「いる」と答えた割合は、2.6 ポイント低くなった。

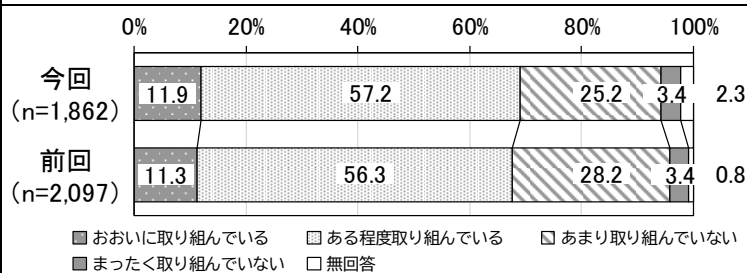
③ 日常生活の中で、健康のためによい生活習慣（食事や運動など）に取り組んでいますか？



「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計は約7割であった。

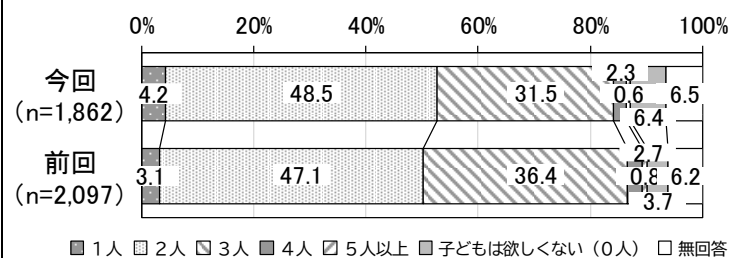
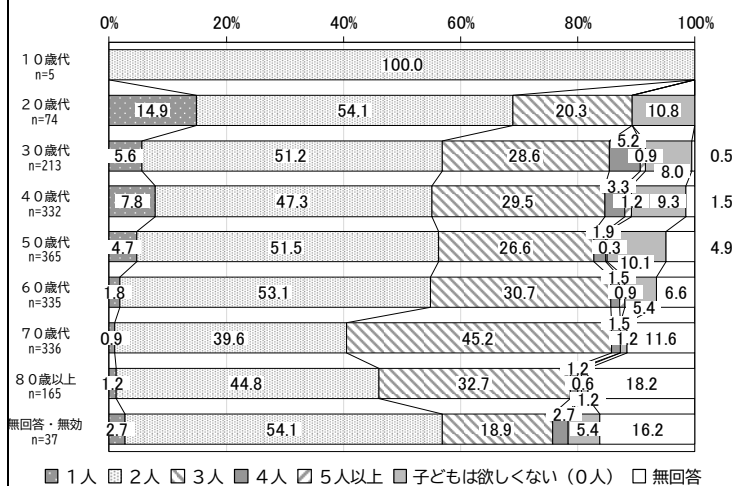
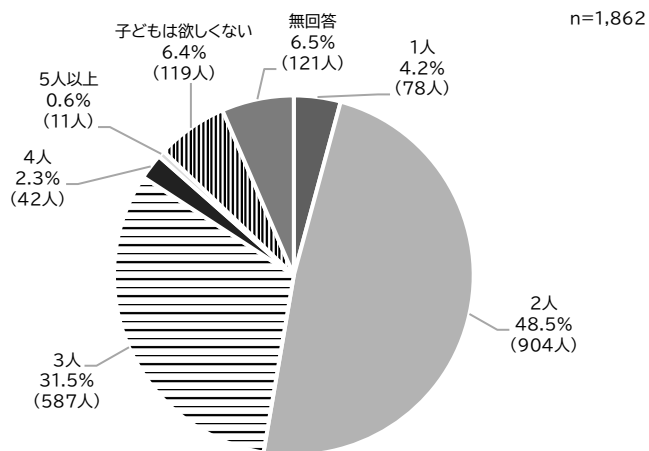


日常生活の中で、健康のためによい生活習慣（食事や運動など）に取り組んでいるかを年代別にみると、10歳代、20歳代、70歳代、80歳以上では約7～8割となった。

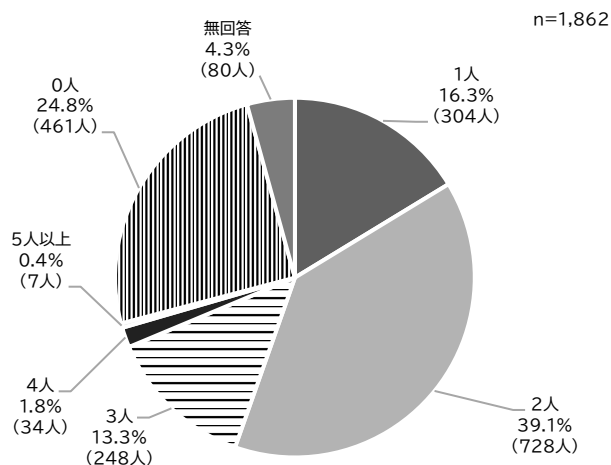


前回と比較して大きな変化は見られなかった。

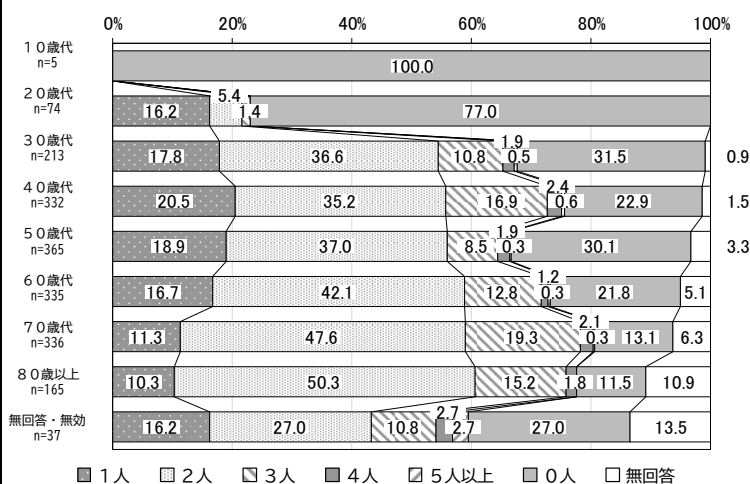
④-1 あなたの理想の子どもは何人ですか？



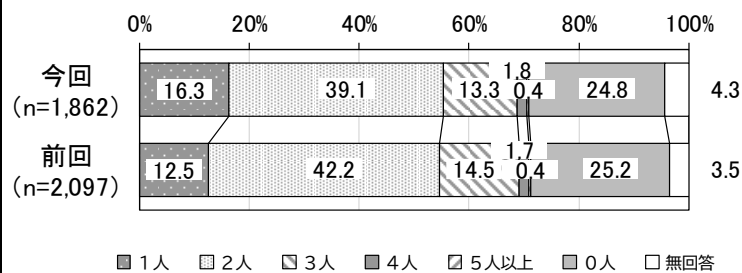
④-2 現在、子どもは何人いますか？



「2人」が最も多く39.1%、次に「0人」が24.8%、「1人」が16.3%であった。



現在、子どもは何人いるかを年代別にみると、30歳代、40歳代は「2人」が約4割だった。

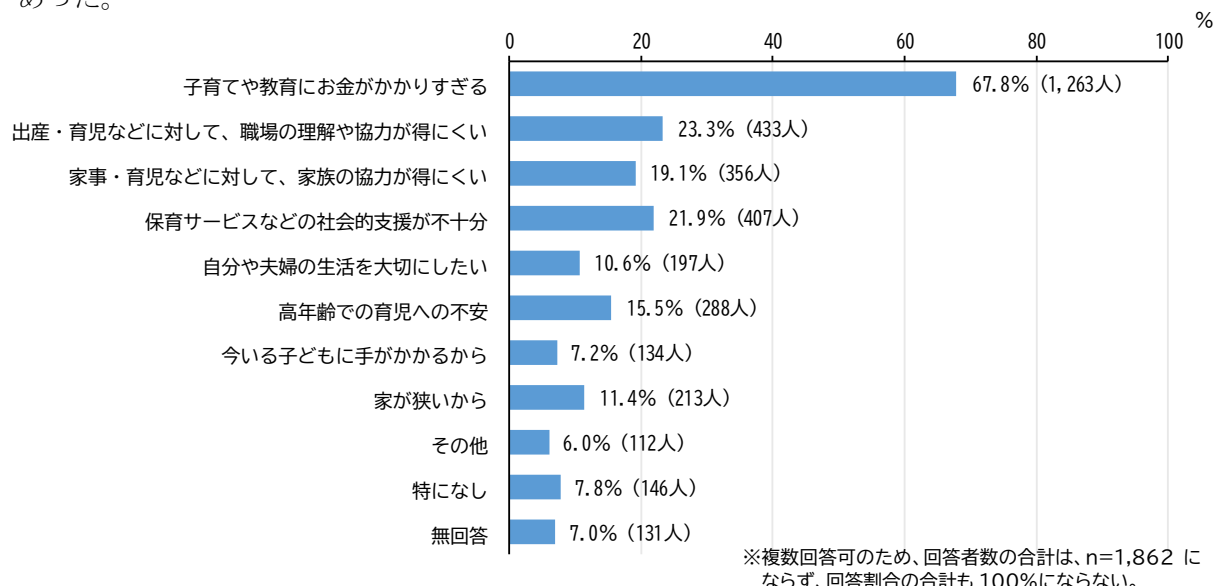


前回と比較して「1人」の割合が3.8ポイント高くなった。

⑤ 理想の子ども数、結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか？（※3つまで○）

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も多く 67.8%、次に「出産・育児などに対して、職場の理解や協力が得にくい」が 23.3%、「保育サービスなどの社会的支援が不十分」が 21.9%であった。

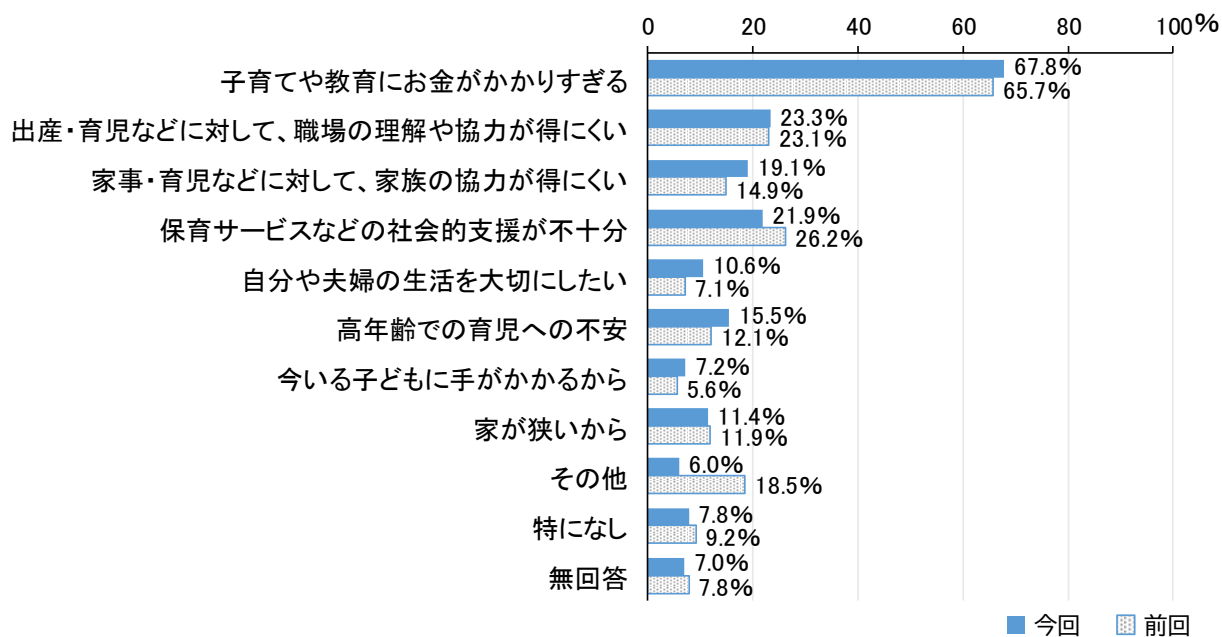
その他の内訳は、「経済的な事情」、「身体健康上の事情」、「独身、未婚のため」などであった。



理想の子ども数、結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高かを年代別に見ると全年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」の割合が5割を超えていた。

区分	回答者数（件）	子育てや教育にお金がかかりすぎる	出産・育児などに対して、職場の理解や協力が得にくい	家事・育児などに対して、家族の協力が得にくい	保育サービスなどの社会的支援が不十分	自分や夫婦の生活を大切にしたい	高齢での育児への不安	今いる子どもに手がかるから	家が狭いから	その他	特になし	無回答
全 体	1,862	67.8	23.3	19.1	21.9	10.6	15.5	7.2	11.4	6.0	7.8	7.0
10歳代	5	100.0	40.0	—	80.0	—	—	20.0	—	—	—	—
20歳代	74	81.1	24.3	16.2	28.4	13.5	1.4	8.1	9.5	6.8	8.1	—
30歳代	213	73.7	27.7	16.9	28.2	15.0	15.0	16.9	15.0	6.6	6.1	0.9
40歳代	332	69.3	26.8	22.6	18.1	15.4	28.6	11.1	10.5	7.5	3.6	2.4
50歳代	365	68.8	21.4	21.4	19.5	11.5	19.5	5.5	9.3	9.3	7.1	4.9
60歳代	335	69.6	28.4	19.4	26.3	6.3	11.0	3.9	12.5	4.8	9.6	5.7
70歳代	336	65.8	20.2	19.6	19.9	6.5	8.6	3.6	11.9	2.7	7.7	14.3
80歳以上	165	50.9	11.5	12.7	18.8	9.7	12.7	2.4	12.7	4.8	15.8	17.0
無回答・無効	37	59.5	13.5	8.1	13.5	8.1	5.4	13.5	5.4	2.7	13.5	21.6

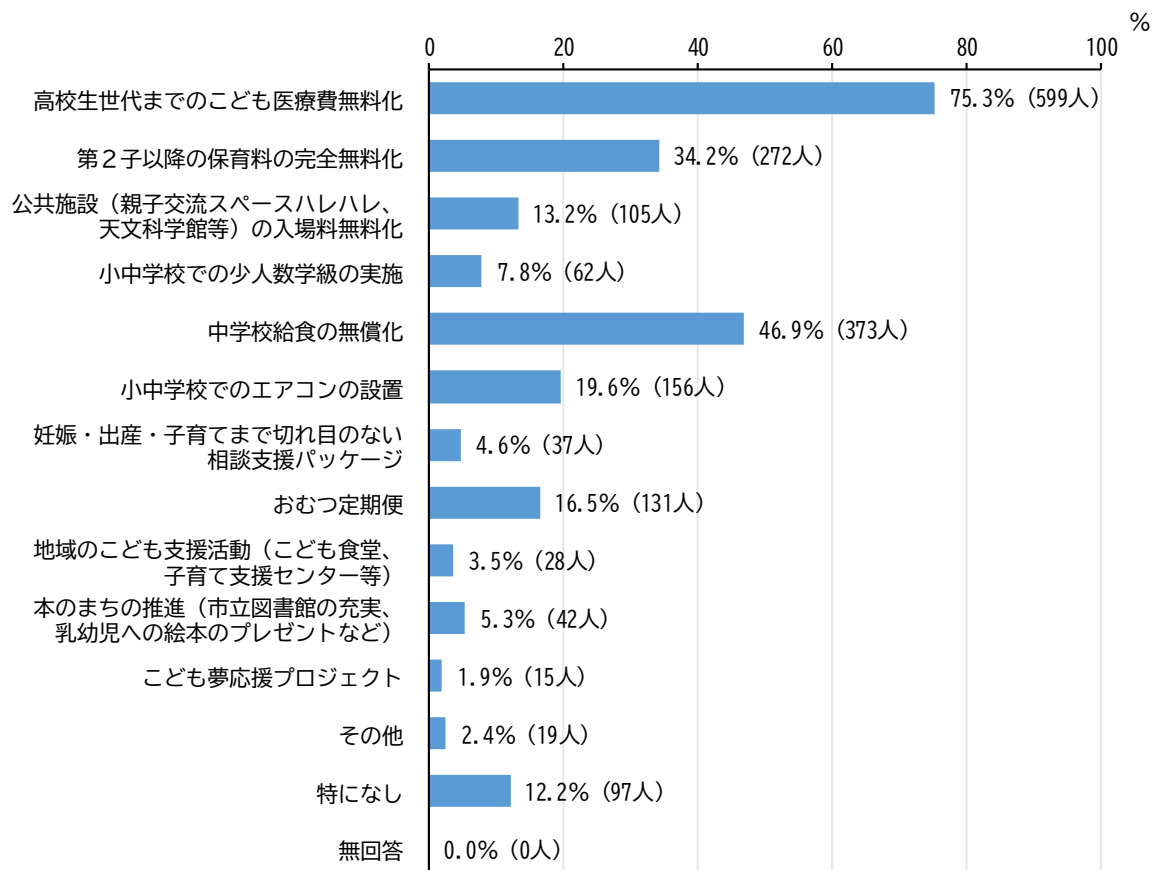
前回と比較して「家事・育児などに対して、家族の協力が得にくい」が 4.2 ポイント、「自分や夫婦の生活を大切にしたい」が 3.5 ポイント高くなった一方で、「保育サービスなどの社会的支援が不十分」は 4.3 ポイント低くなった。



⑥ 明石市で子育てをして、良かったと思う施策は何ですか。（※3つまで○）

※18歳以下の子どもを持つ保護者のみ回答

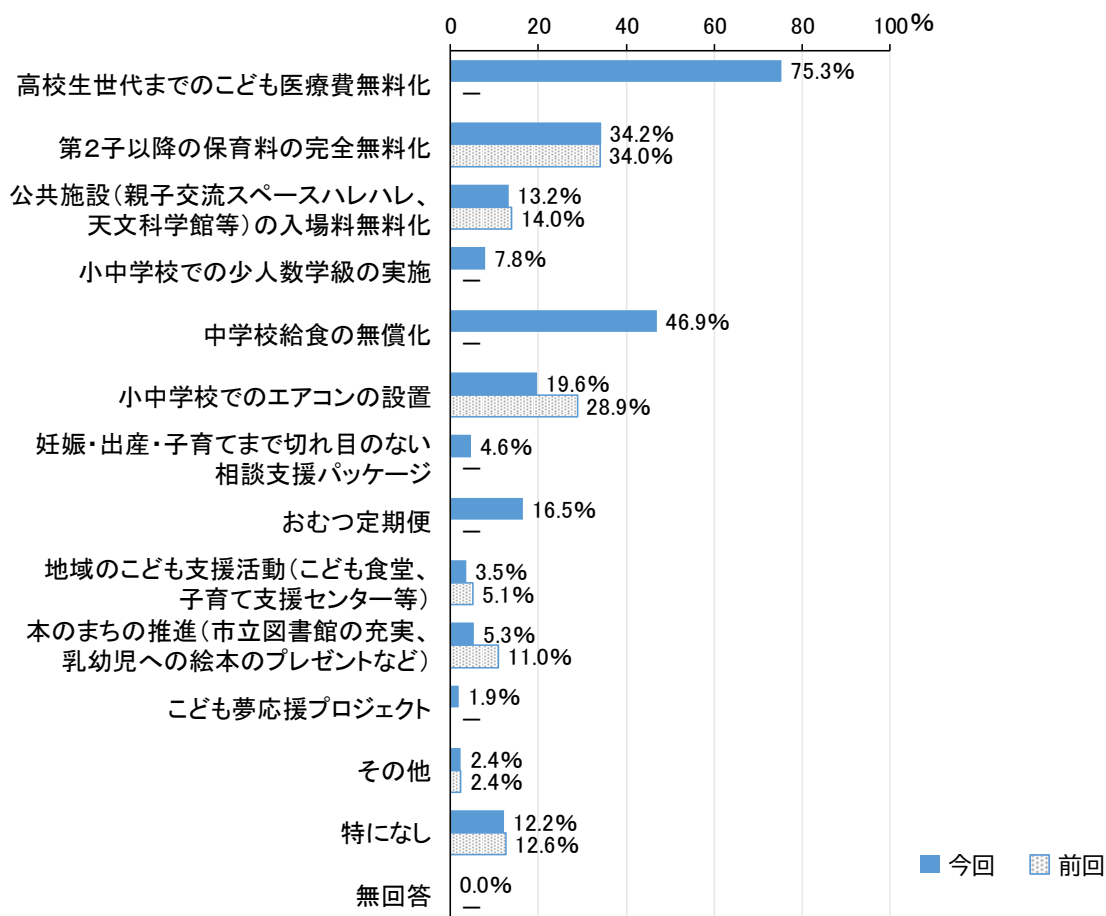
「高校生世代までのこども医療費無料化」が最も多く75.3%、次に「中学校給食の無償化」が46.9%、「第2子以降の保育料の完全無料化」が34.2%であった。



明石市で子育てをして、良かったと思う施策は何かを年代別に見ると、「高校生世代までのこども医療費無料化」は80歳以上を除くすべての年代で5割を超えていた。また、30歳代では「第2子以降の保育料の完全無料化」が5割を超え、40歳代、50歳代では「中学校給食の無償化」が5割を超えていた。

区分	回答者数（件）	高校生世代までのこども医療費無料化	第2子以降の保育料の完全無料化	公共施設（親子交流スペースハレハレ、天文科学館等）の入場料無料化	小中学校での少人数学級の実施	中学校給食の無償化	小中学校でのエアコンの設置	切れ目のない相談支援パッケージ	妊娠・出産・子育てまで切れ目のない相談支援パッケージ	おむつ定期便	地域のこども支援活動（こども食堂、子育て支援センター等）	本のまちの推進（市立図書館の充実、乳幼児への絵本のプレゼントなど）	こども夢応援プロジェクト	その他	特になし	無回答
全 体	796	75.3	34.2	13.2	7.8	46.9	19.6	4.6	16.5	3.5	5.3	1.9	2.4	12.2	—	—
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	29	69.0	34.5	17.2	3.4	20.7	6.9	10.3	44.8	3.4	—	—	—	—	17.2	—
30歳代	156	84.0	55.1	19.9	7.1	35.9	10.9	6.4	34.0	2.6	3.2	—	1.3	5.1	—	—
40歳代	257	87.5	37.0	12.8	9.3	58.4	25.3	2.7	10.5	4.7	7.0	0.8	1.2	5.4	—	—
50歳代	165	73.9	20.6	13.3	6.1	51.5	25.5	6.1	7.3	4.2	6.1	2.4	2.4	14.5	—	—
60歳代	72	56.9	29.2	11.1	8.3	36.1	13.9	1.4	19.4	—	1.4	2.8	2.8	27.8	—	—
70歳代	71	56.3	18.3	7.0	12.7	43.7	16.9	7.0	8.5	4.2	8.5	7.0	8.5	16.9	—	—
80歳以上	37	45.9	29.7	2.7	2.7	45.9	18.9	—	10.8	2.7	5.4	5.4	5.4	27.0	—	—
無回答・無効	8	37.5	25.0	—	—	25.0	12.5	12.5	12.5	—	—	—	—	—	50.0	—

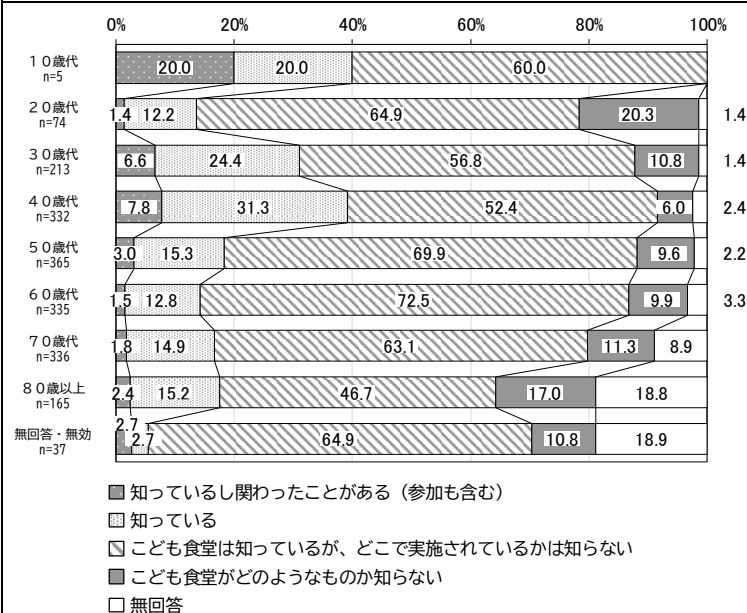
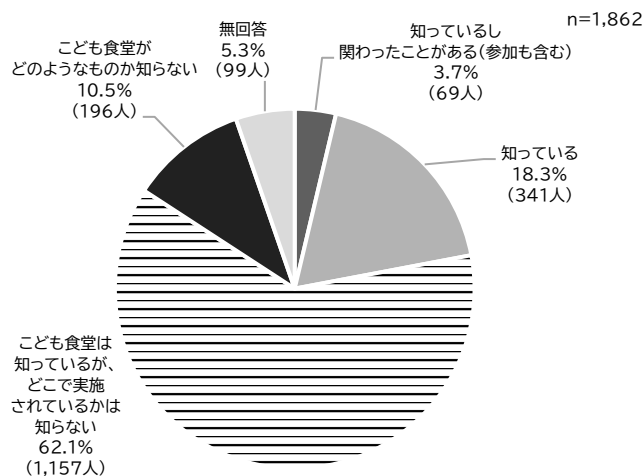
前回と比較して「小中学校でのエアコンの設置」は9.3ポイント低くなった。
また、「本のまちの推進（市立図書館の充実、乳幼児への絵本のプレゼントなど）」も5.7ポイント低くなった。



※前回調査では、「高校生世代までのこども医療費無料化」「小中学校での少人数学級の実施」「中学校給食の無償化」「妊娠・出産・子育てまで切れ目のない相談支援パッケージ」「おむつ定期便」「こども夢応援プロジェクト」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「無回答」の記載はありませんでした。

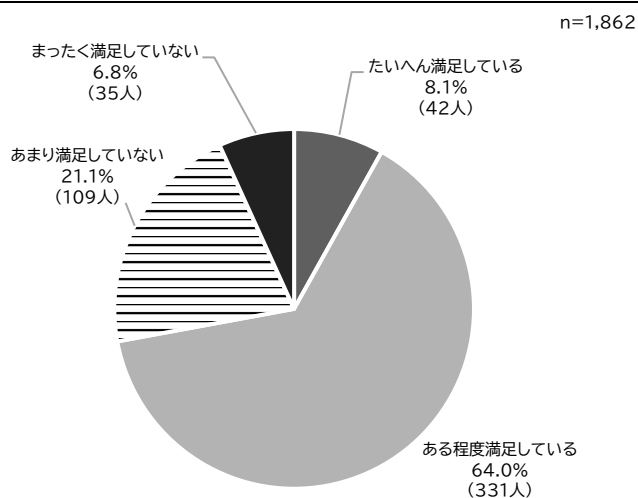
⑦ あなたの地域でこども食堂がどこで実施されているか知っていますか？



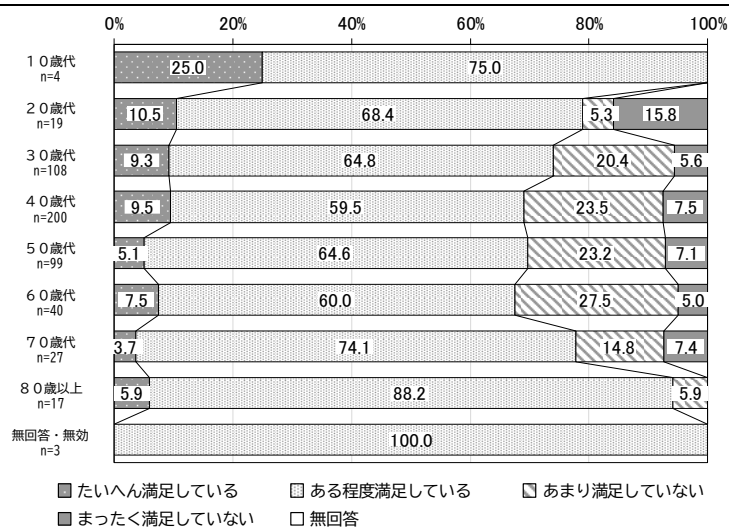
【教育・文化分野】

⑧ 市立学校における学習指導に対して満足していますか

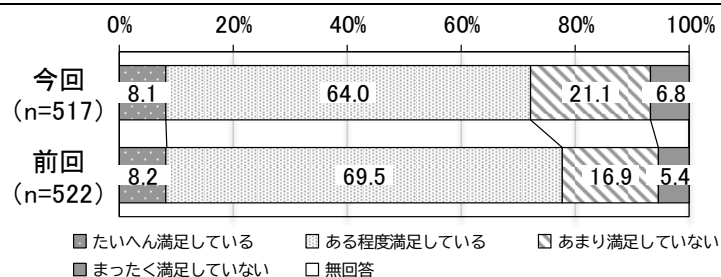
※市立小・中学校、明石商業高校に通学する児童、生徒がいる保護者のみ回答



「たいへん満足している」と「ある程度満足している」の合計が約7割であった。



市立学校における学習指導に対して満足しているかを年代別にみると、「たいへん満足している」と「ある程度満足している」の合計が、全年代で約7割となった。

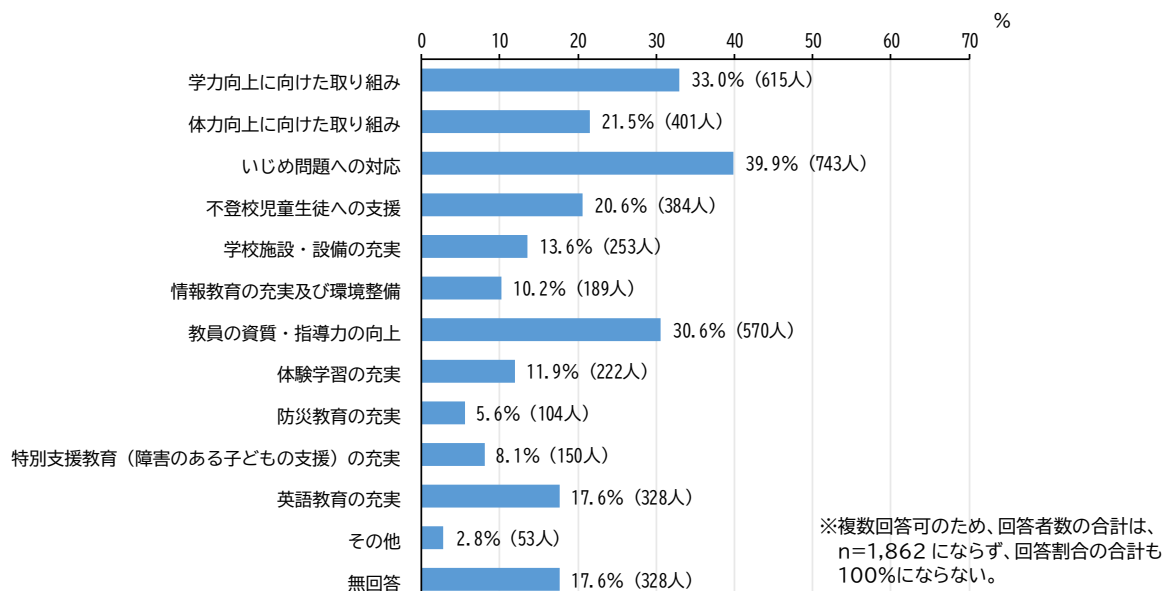


前回と比較して「あまり満足していない」と「まったく満足していない」の合計が5.6ポイント高くなった。

⑨ 市立学校における学校教育の一層の充実に向けて、特に力を入れる必要があると思うことは何ですか？（※3つまで○）

「いじめ問題への対応」が最も多く39.9%、次に「学力向上に向けた取り組み」が33.0%、「教員の資質・指導力の向上」が30.6%であった。

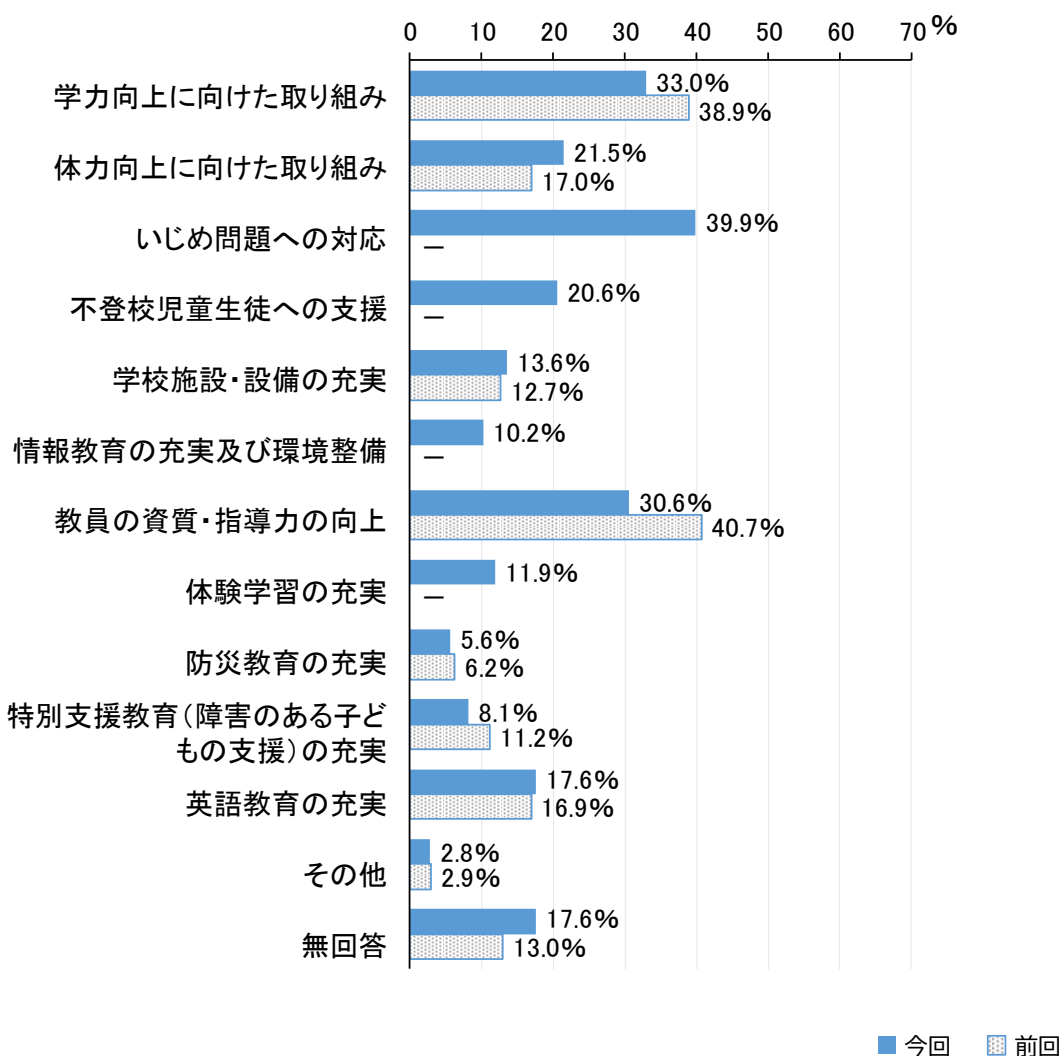
その他の内訳は、「教員の増員、負担軽減等環境向上」、「学校環境の改善」、「教育内容の充実」などであった。



市立学校における学校教育の一層の充実に向けて、特に力を入れる必要があると思うことは何かを年代別に見ると、上位3位までに大きな違いはないが、10歳代、20歳代、60歳代では「いじめ問題への対応」が5割を超えている。

区分	回答者数（件）	学力向上に向けた取り組み	体力向上に向けた取り組み	いじめ問題への対応	不登校児童生徒への支援	学校施設・設備の充実	情報教育の充実及び環境整備	教員の資質・指導力の向上	体験学習の充実	防災教育の充実	特別支援教育（障害のある子どもの支援）の充実	英語教育の充実	その他	無回答
全 体	1,862	33.0	21.5	39.9	20.6	13.6	10.2	30.6	11.9	5.6	8.1	17.6	2.8	17.6
10歳代	5	60.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	—	—	—	—	60.0	—	—
20歳代	74	32.4	16.2	54.1	20.3	25.7	16.2	28.4	13.5	5.4	6.8	20.3	2.7	4.1
30歳代	213	40.8	28.6	45.1	20.2	21.6	11.7	29.6	14.1	5.6	5.2	11.7	3.8	11.7
40歳代	332	44.3	25.0	31.3	19.9	15.7	12.7	29.5	14.5	7.2	10.2	24.7	4.8	8.4
50歳代	365	32.1	22.7	39.7	20.8	15.1	11.5	32.1	11.8	5.5	6.6	16.4	3.3	15.9
60歳代	335	30.1	20.3	50.1	22.1	12.2	8.4	34.3	11.3	5.4	11.0	15.5	2.4	14.3
70歳代	336	24.7	17.3	38.7	22.9	7.7	7.4	33.6	10.7	4.8	7.4	18.5	1.8	25.6
80歳以上	165	24.8	15.2	30.3	17.0	6.7	7.3	21.2	9.1	4.8	7.3	15.2	0.6	38.2
無回答・無効	37	32.4	27.0	18.9	10.8	2.7	5.4	21.6	5.4	5.4	5.4	10.8	—	45.9

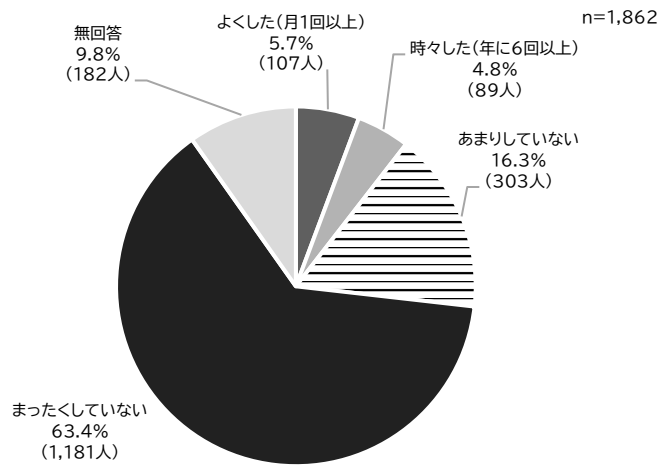
前回と比較して体力向上に向けた取り組み」は 4.5 ポイント高くなり、「学力向上に向けた取り組み」は 5.9 ポイント、「教員の資質・指導力の向上」は 10.1 ポイント低くなった。



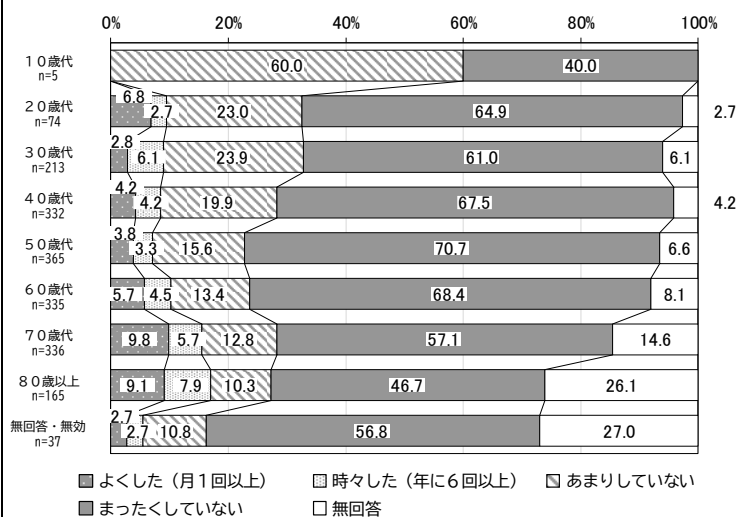
※前回調査では、「いじめ問題への対応」の選択肢は「いじめ・不登校への対応」、「不登校児童生徒への支援」の選択肢は「いじめ・不登校への対応」となっていました。

※前回調査では、「情報教育の充実及び環境整備」「体験学習の充実」の選択肢はありませんでした。

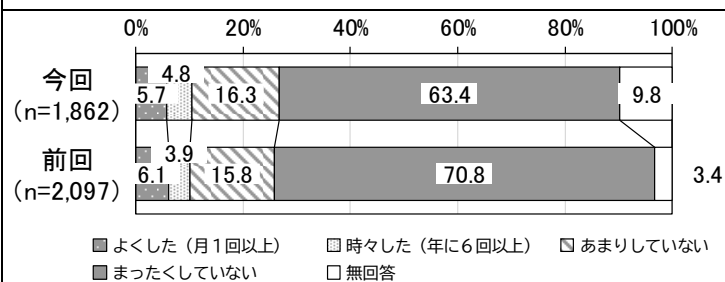
⑩ この1年程度の間、生涯学習活動をしましたか？



「まったくしていない」と「あまりしていない」の合計が約8割であった。

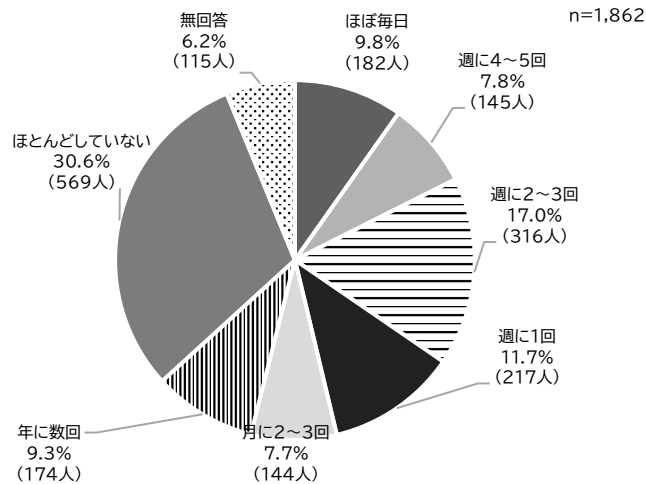


この1年程度の間、生涯学習活動をしたかを年代別にみると、全年代で「まったくしていない」と「あまりしていない」の合計が5割を超えていた。

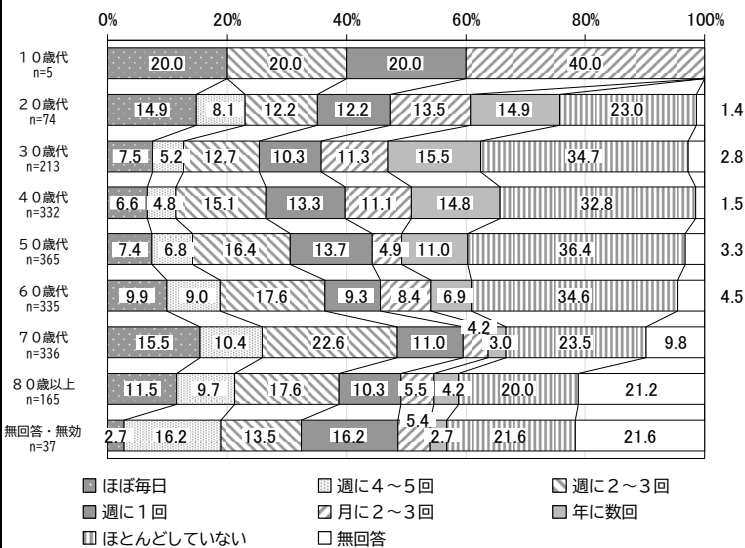


前回と比較して「まったくしていない」の割合が7.4ポイント低くなった。

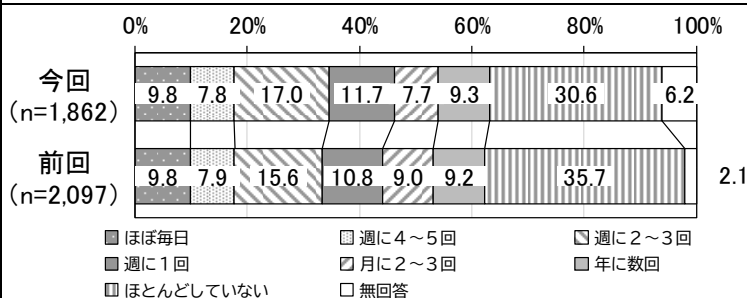
⑪ この1年程度の間、スポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をしましたか？



「ほとんどしていない」が最も多く 30.6%、次に「週に2～3回」が 17.0%、「週に1回」が 11.7%であった。

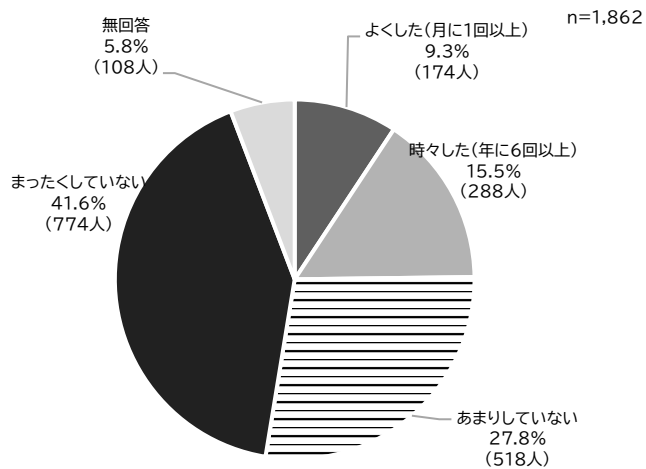


この1年程度の間、スポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をしたかを年代別にみると、10歳代、70歳代で週に1回以上の割合が5割を超えていた。

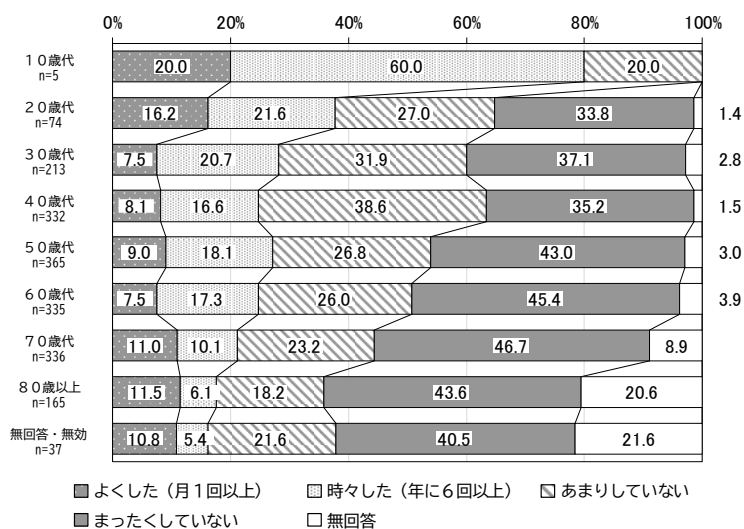


前回と比較して「ほとんどしていない」の割合が 5.1 ポイント低くなった。

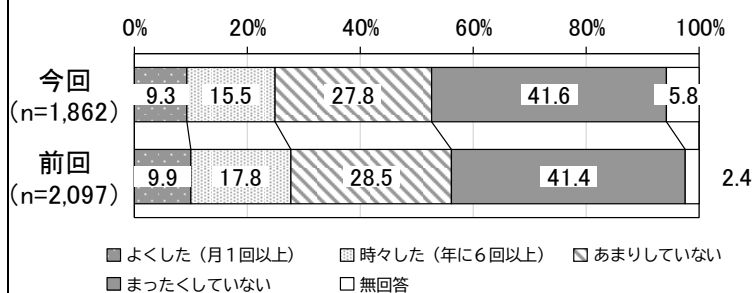
⑫ この1年程度の間、文化芸術活動をしましたか？



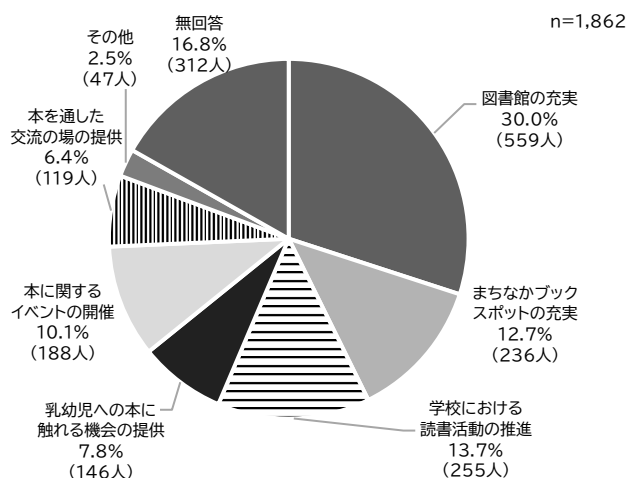
「まったくしていない」と「あまりしていない」の合計が約7割であった。



この1年程度の間、文化芸術活動をしたかを年代別に見ると、「よくした(月に1回以上)」と「時々した(年に6回以上)」の合計が10歳代で8割となり、20歳代で約4割、30歳代で約3割、40歳代～80歳代以上で約2割となった。

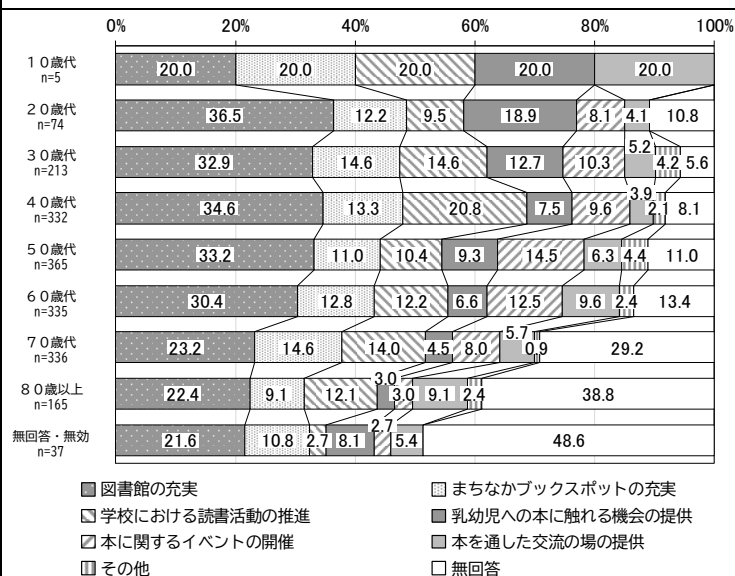


⑬ 本のまちの推進に向けて、特に力を入れる必要がある取組は何ですか

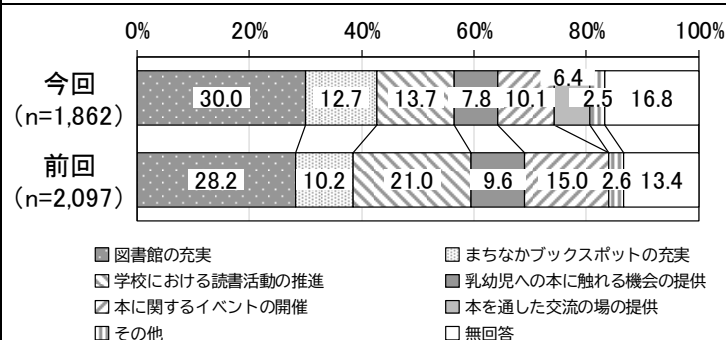


「図書館の充実」が最も多く30.0%、次に「学校における読書活動の推進」が13.7%、「まちなかブックスポットの充実」が12.7%であった。

その他の内訳は、「図書館の整備」、「地域への働きかけ」などであった。



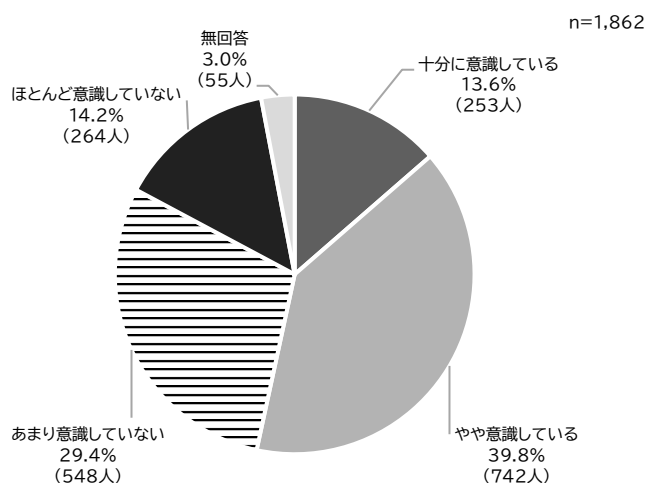
本のまちの推進に向けて、特に力を入れる必要がある取組は何かを年代別に見ると、全年代で「図書館の充実」が1位となり、20歳代で「乳幼児への本に触れる機会の提供」、40歳代で「学校における読書活動の推進」が約2割となった。



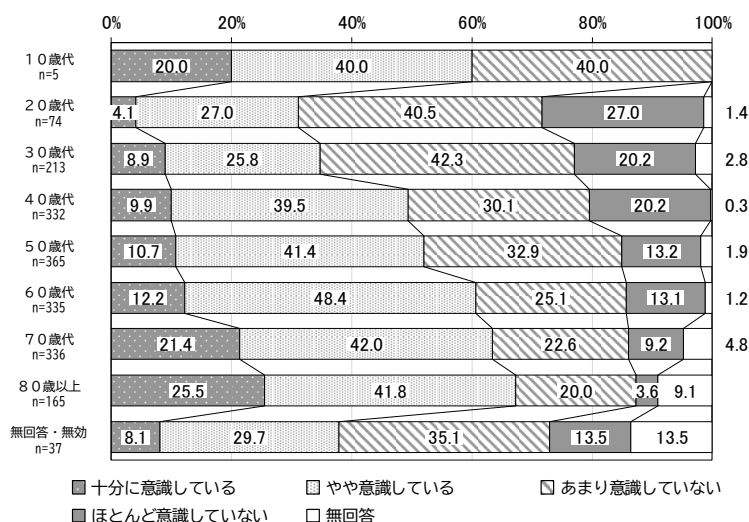
前回と比較して、「学校における読書活動の推進」の割合が7.3ポイント、「本に関するイベントの開催」の割合が4.9ポイント低くなった。

【観光・産業分野】

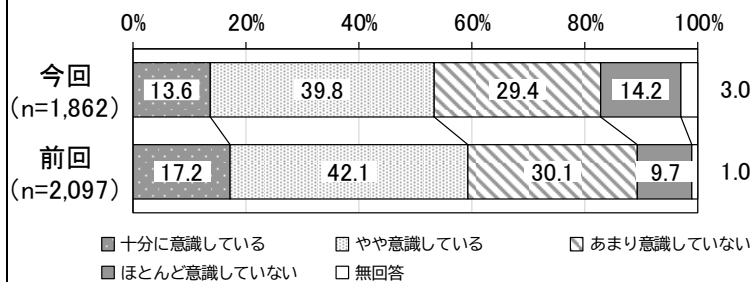
⑭ 農水産物を購入する際に、明石産であることを意識していますか？



「十分に意識している」と「やや意識している」の合計が5割を超えた。



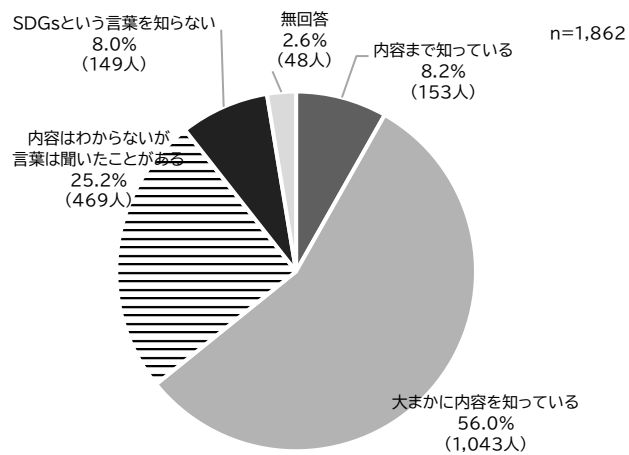
農水産物を購入する際に、明石産であることを意識しているかを年代別に見ると、10歳代、50歳代～80歳以上で「十分に意識している」と「やや意識している」の合計が5割を超え高くなった。



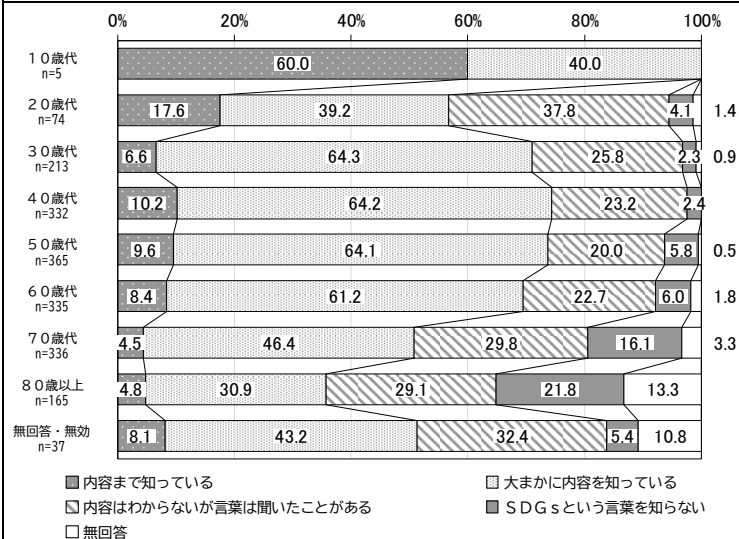
前回と比較して、意識している割合が5.9ポイント低くなった。

【生活・環境分野】

⑮ S D G s（持続可能な開発目標）についてどのくらい知っていますか？

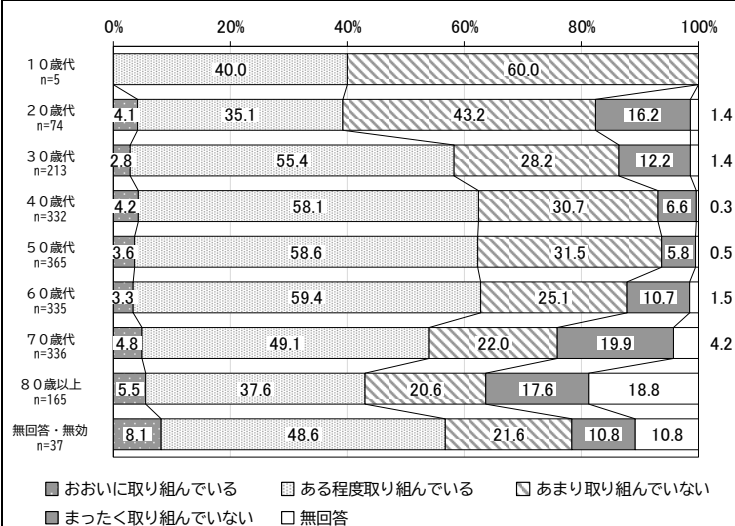
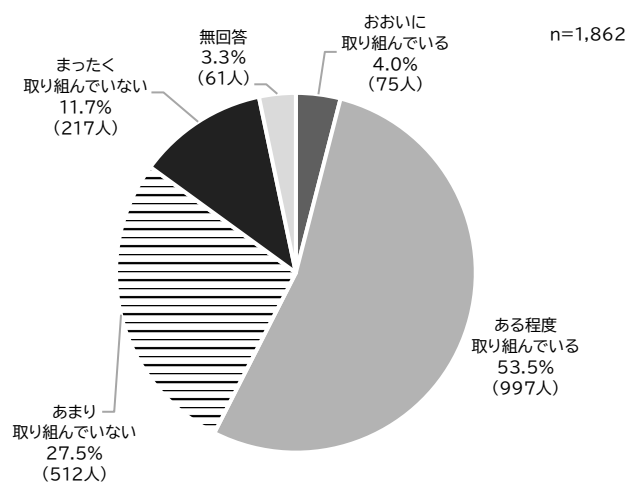


「内容まで知っている」と「大まかに内容を知っている」の合計が64.2%であった。

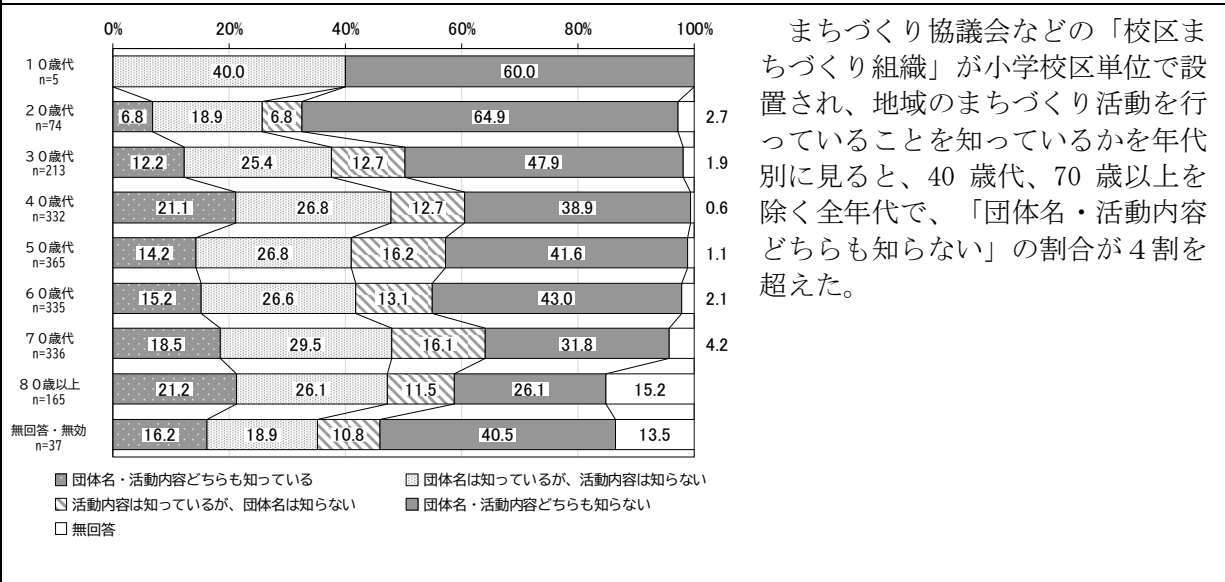
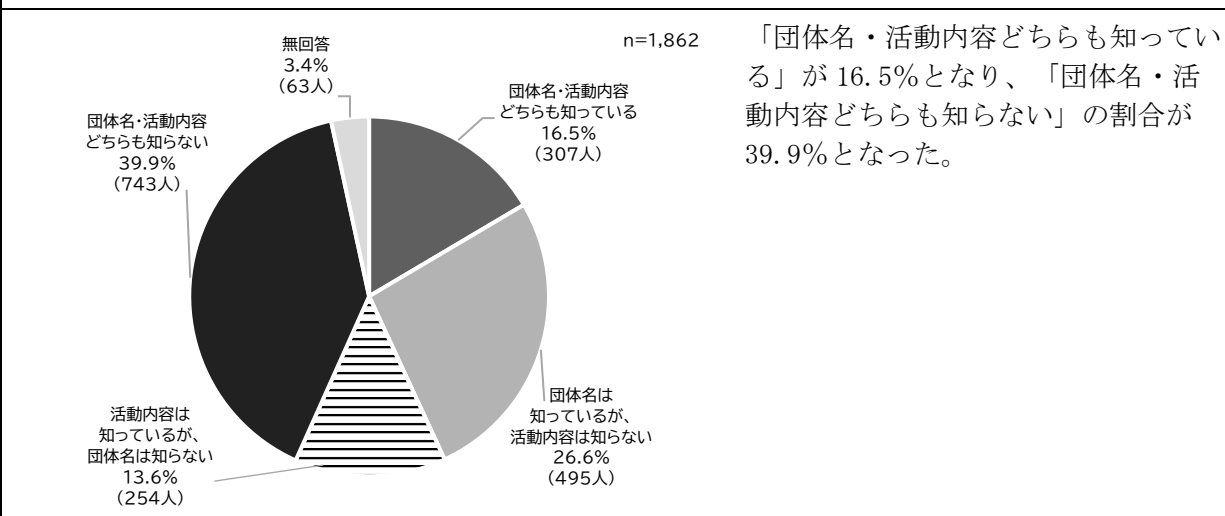


S D G s（持続可能な開発目標）についてどのくらい知っているかを年代別に見ると、30歳代～60歳代で「大まかに内容を知っている」の割合が6割を超え高くなった。

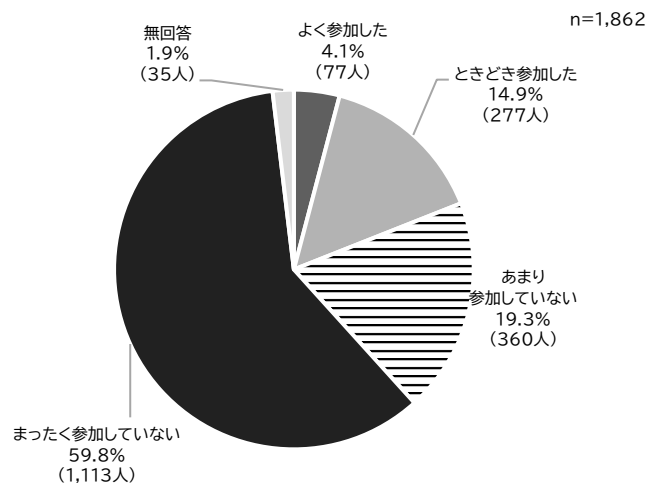
⑩ SDGsに貢献できるような取組をしていますか？



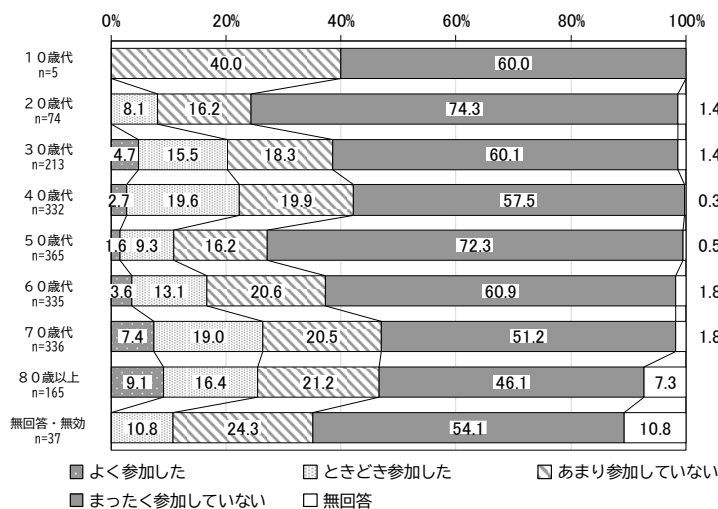
⑰ まちづくり協議会などの「校区まちづくり組織」が小学校区単位で設置され、地域のまちづくり活動を行っていることを知っていますか？



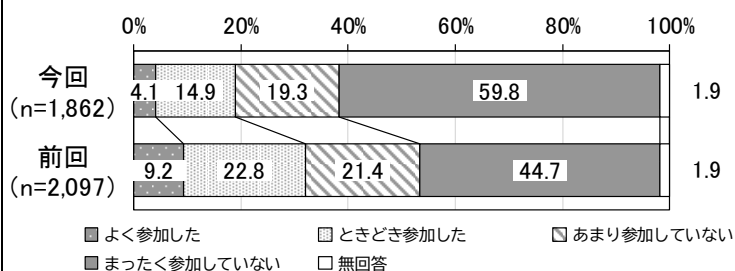
⑮ この1年程度の間に、地域のまちづくり活動（自治会活動やボランティア活動など）に参加しましたか？



「よく参加した」「ときどき参加した」の合計が 19.0% となり、「まったく参加していない」と「あまり参加していない」の合計が 79.1% であった。

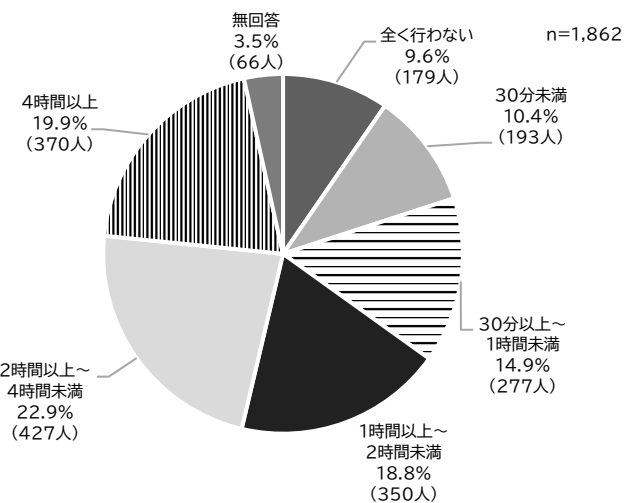


この1年程度の間に、地域のまちづくり活動（自治会活動やボランティア活動など）に参加したかを年代別に見ると、10歳代、20歳代で「まったく参加していない」と「あまり参加していない」の合計割合が高く、9割を超えていた。



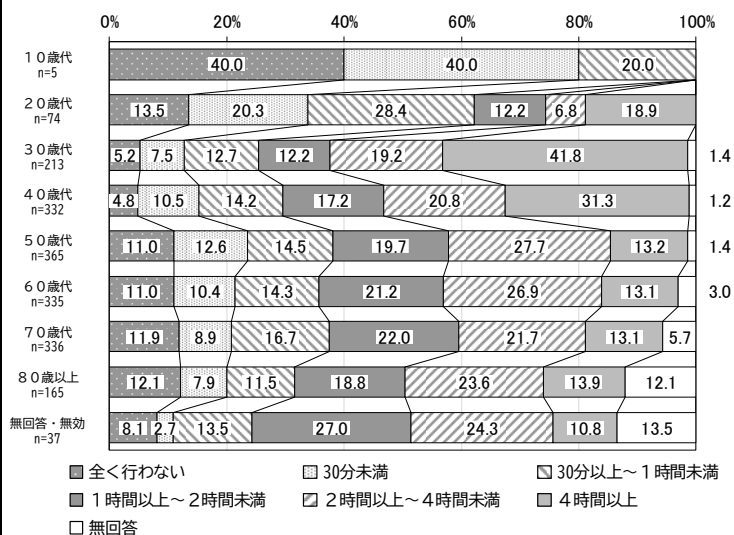
前回と比較して、参加している人が 13.0 ポイント低くなった。

⑨ あなたは家庭で家事・育児・介護を1日あたりどの程度行っていますか？

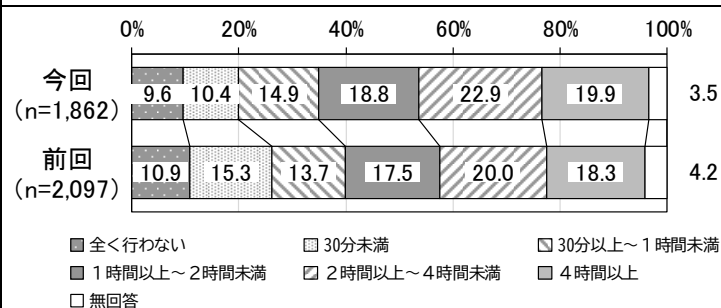


「2時間以上～4時間未満」が最も多く 22.9%、次に「4時間以上」が 19.9%、「1時間以上～2時間未満」が 18.8%であった。

男女別で見ると、男性は1時間未満の割合が約6割に対し、女性は2時間以上の割合が約6割となった。

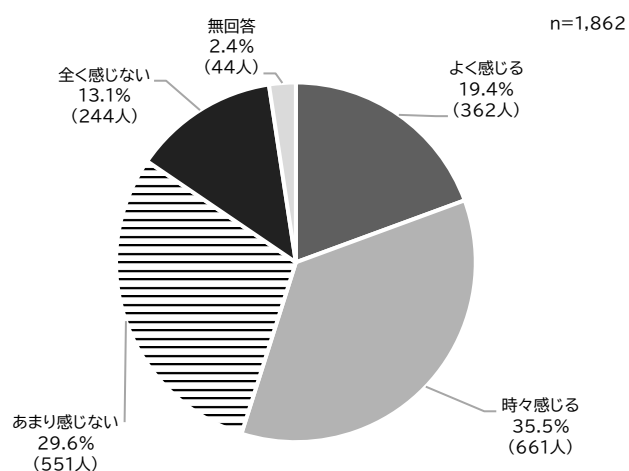


あなたは家庭で家事・育児・介護を1日あたりどの程度行っているかを年代別に見ると、20歳代以下で、「全く行わない」と「30分未満」の合計が3割を超えた。

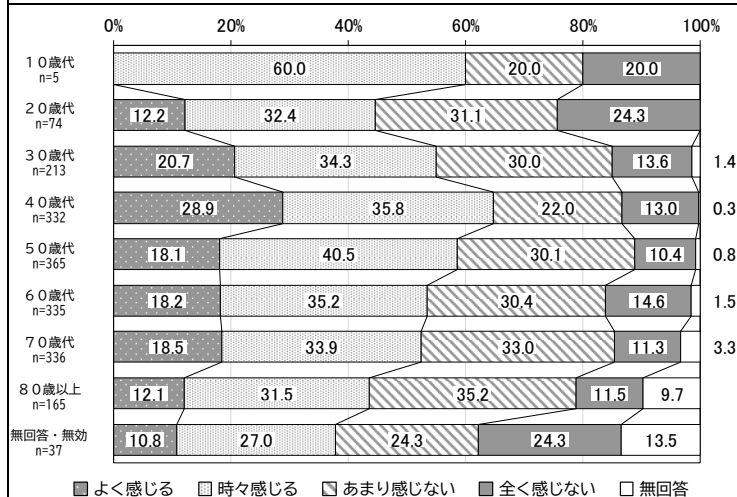


前回と比較して、「30分未満」の割合が4.9ポイント低くなった。

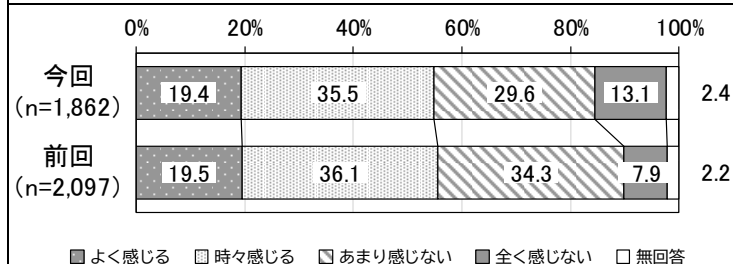
② 日常生活の中で、男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」という考えなど）を感じることはありますか？



「よく感じる」と「時々感じる」の合計が約5割であった。



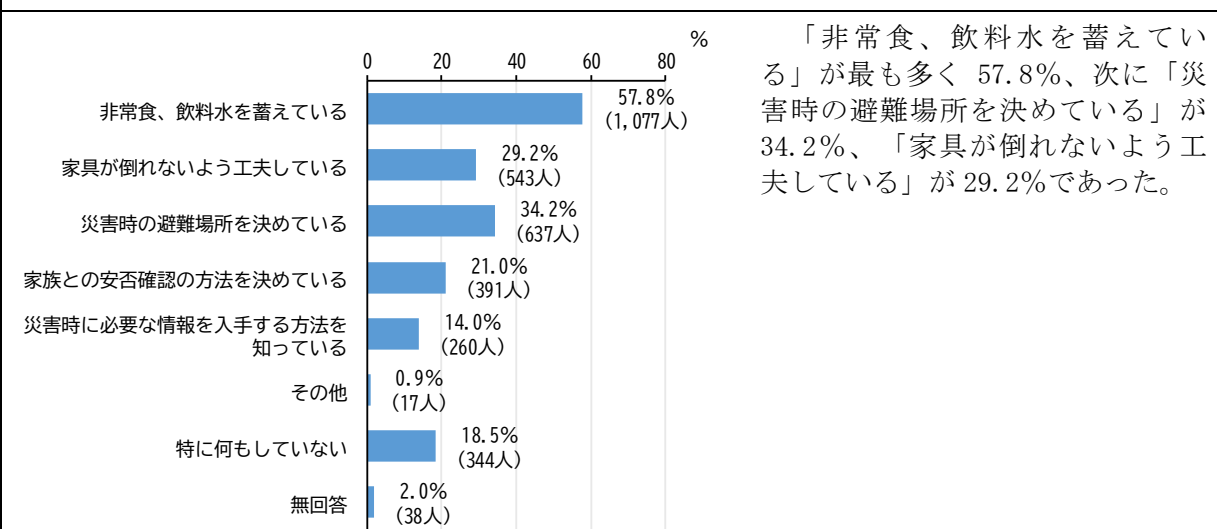
日常生活の中で、男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」という考えなど）を感じることはあるかを年代別に見ると、30歳代、40歳代で「よく感じる」の割合が2割を超えていた。



前回と比較して、「全く感じない」の割合が5.2ポイント高くなった。

② 地震や風水害などの災害に備えて、行っている対策はありますか？

(※あてはまるものすべてに○)

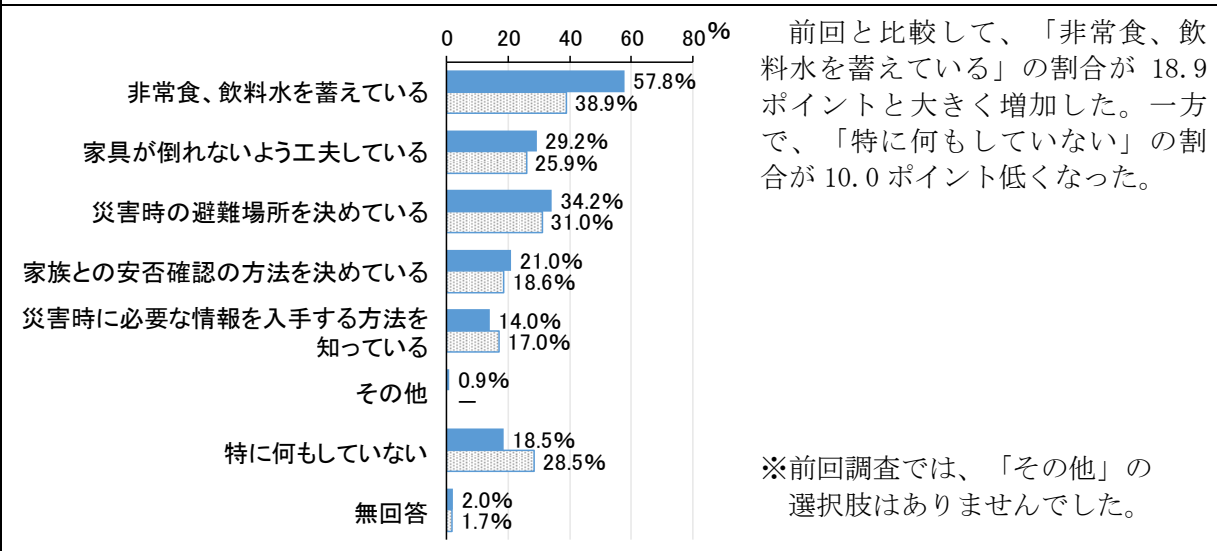


「非常食、飲料水を蓄えている」が最も多く 57.8%、次に「災害時の避難場所を決めている」が 34.2%、「家具が倒れないよう工夫している」が 29.2%であった。

※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=1,862 にならず、回答割合の合計も 100%にならない。

地震や風水害などの災害に備えて、行っている対策はあるかを年代別に見ると、10 歳代を除くすべての年代で「非常食、飲料水を蓄えている」の割合が高い。

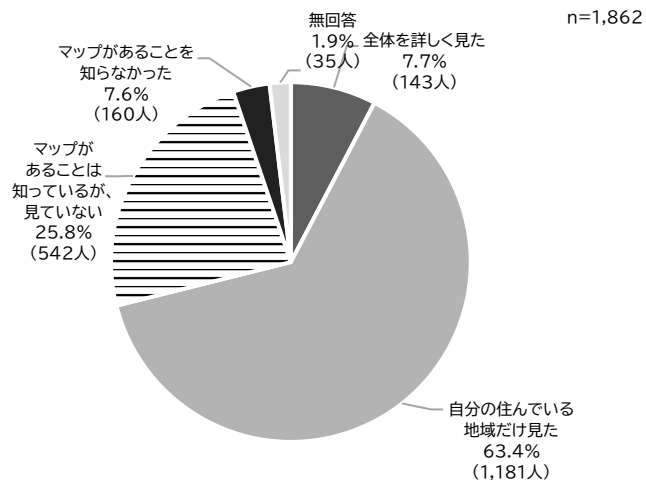
区分	回答者数 (件)	非常食、飲料水を蓄えている	家具が倒れないよう工夫している	災害時の避難場所を決めている	家族との安否確認の方法を決めている	災害時に必要な情報を入手する方法を知っている	その他	特に何もしていない	無回答
全 体	1,862	57.8	29.2	34.2	21.0	14.0	0.9	18.5	2.0
10歳代	5	40.0	60.0	20.0	40.0	40.0	—	20.0	—
20歳代	74	51.4	29.7	25.7	27.0	10.8	1.4	24.3	1.4
30歳代	213	58.7	24.9	39.0	21.1	12.7	0.9	17.4	1.4
40歳代	332	62.0	28.9	41.3	23.2	11.4	1.8	13.0	0.3
50歳代	365	60.8	27.7	31.5	21.9	14.8	1.1	17.5	1.4
60歳代	335	63.0	30.1	31.3	20.0	17.6	0.9	16.1	1.5
70歳代	336	50.6	28.6	33.9	17.6	13.4	0.3	26.5	1.8
80歳以上	165	52.1	34.5	32.1	21.2	15.2	—	19.4	7.3
無回答・無効	37	45.9	37.8	27.0	16.2	5.4	—	16.2	13.5



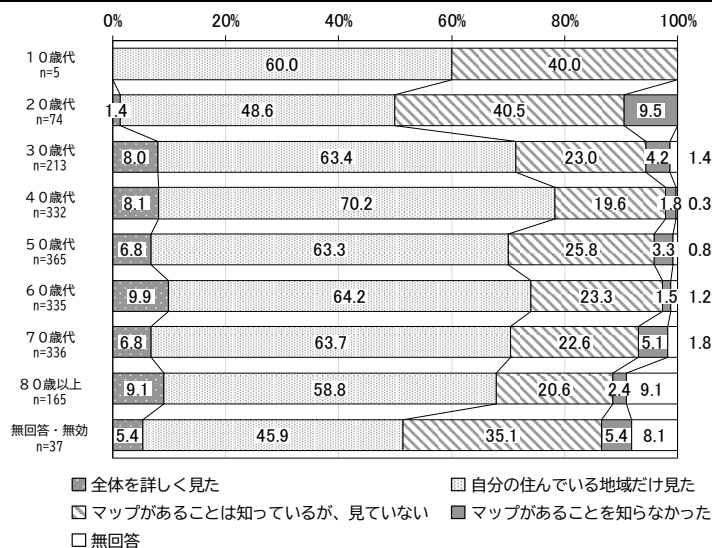
前回と比較して、「非常食、飲料水を蓄えている」の割合が 18.9 ポイントと大きく増加した。一方で、「特に何もしていない」の割合が 10.0 ポイント低くなった。

※前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

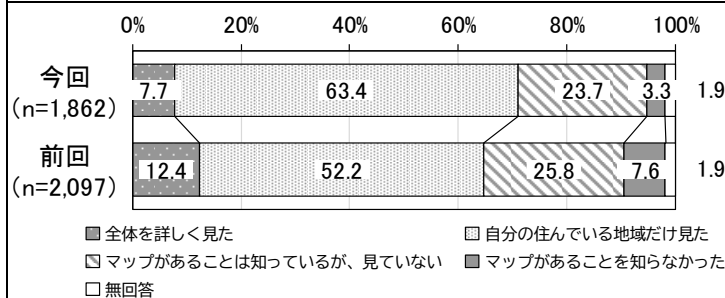
② 市では「ハザードマップ」を作成していますが、どの程度見ていますか？



「全体を詳しく見た」と「自分が住んでいる地域だけを見た」の合計が約7割であった。

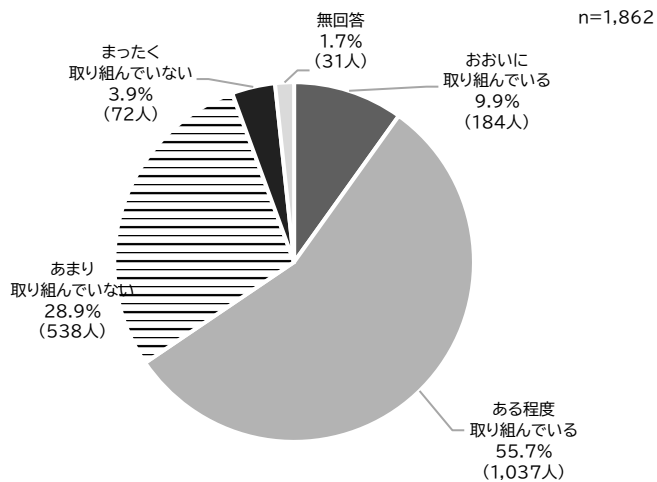


市では「ハザードマップ」を作成していますが、どの程度見ているかを年代別に見ると、「全体を詳しく見た」と「自分が住んでいる地域だけを見た」の合計が、20歳代で5割と低くなった。

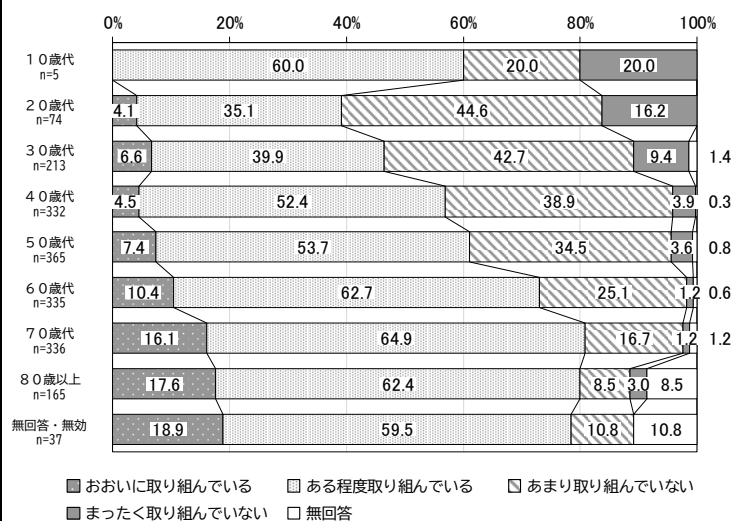


前回と比較して、「全体を詳しく見た」と「自分の住んでいる地域だけ見た」の合計が、6.5ポイント高くなった。

②③ ごみの減量のために、普段から意識して取り組んでいますか？

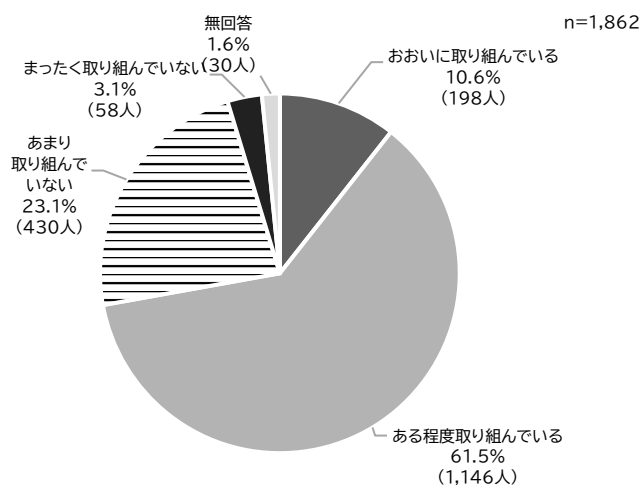


「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計が65.6%であった。

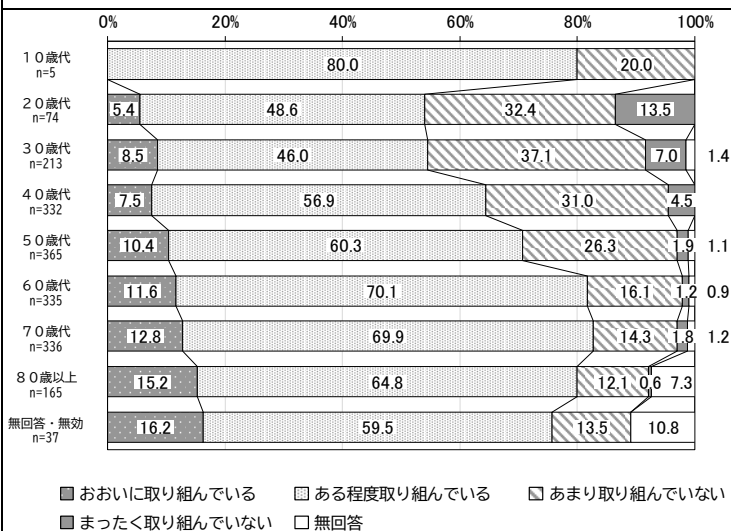


ごみの減量のために、普段から意識して取り組んでいるかを年代別に見ると、「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計が、20歳代から70歳代までは年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向にあった。

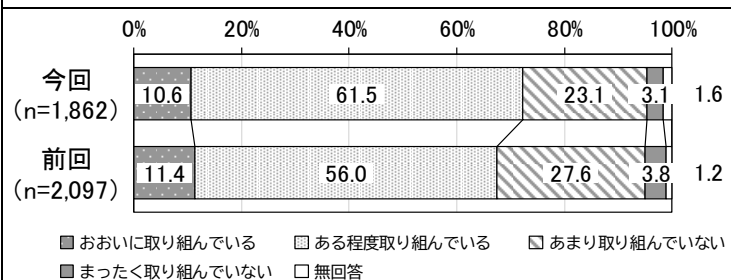
②④ 電気、ガス、ガソリンの使用量を減らすなど、普段から省エネ活動に取り組んでいますか？



「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計が約7割であった。

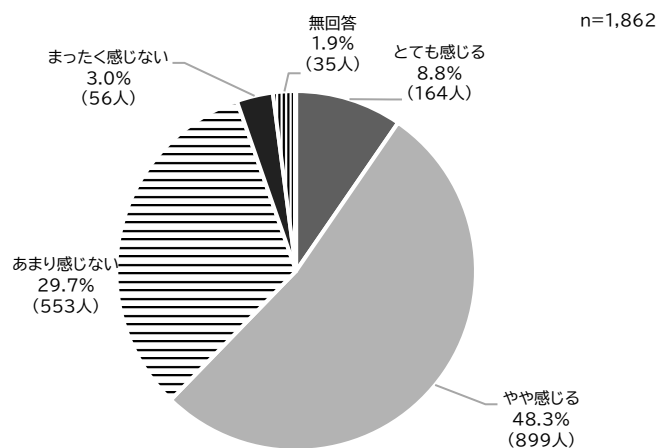


電気、ガス、ガソリンの使用量を減らすなど、普段から省エネ活動に取り組んでいるかを年代別に見ると、20歳代から70歳代までは年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向にあり、60歳代と70歳代で8割を超えていた。

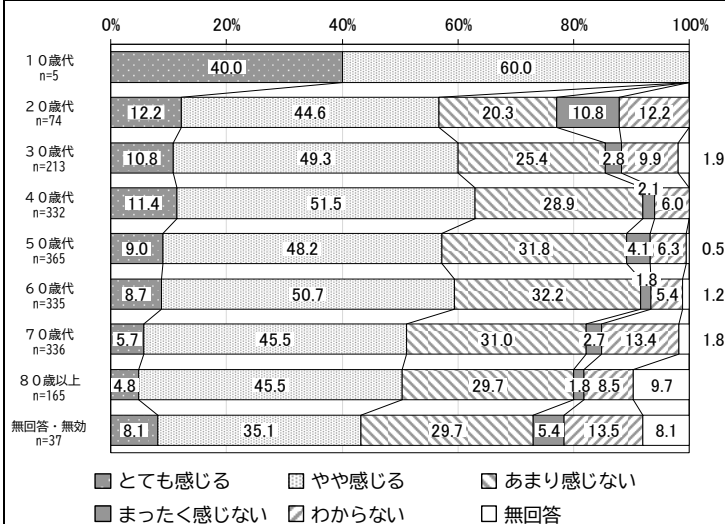


前回と比較して、「ある程度取り組んでいる」の割合が5.5ポイント高くなった。

⑤ 多様性を認め合える社会になってきていると感じますか？（障害者、外国人、LGBTQ+ など）



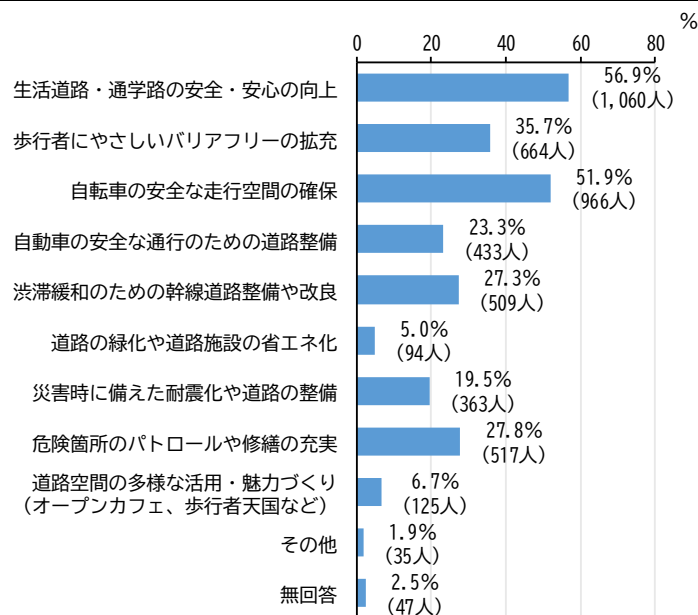
「とても感じる」と「やや感じる」の合計が約6割であった。



年代別に見ると、「とても感じる」と「やや感じる」の合計が、全年代で50%を超えた。

【都市基盤整備分野】

②⑥ 市内の道路環境の充実に向けて、何が重要とお考えですか？（※3つまで○）



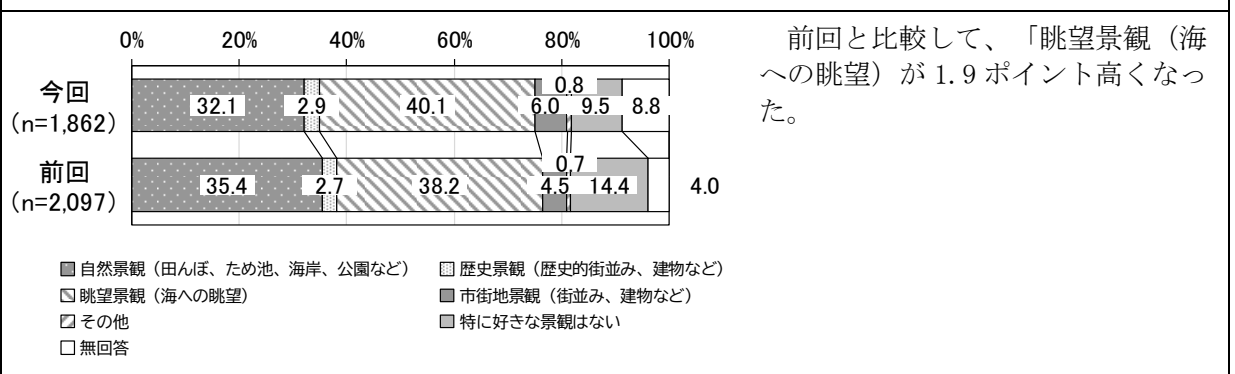
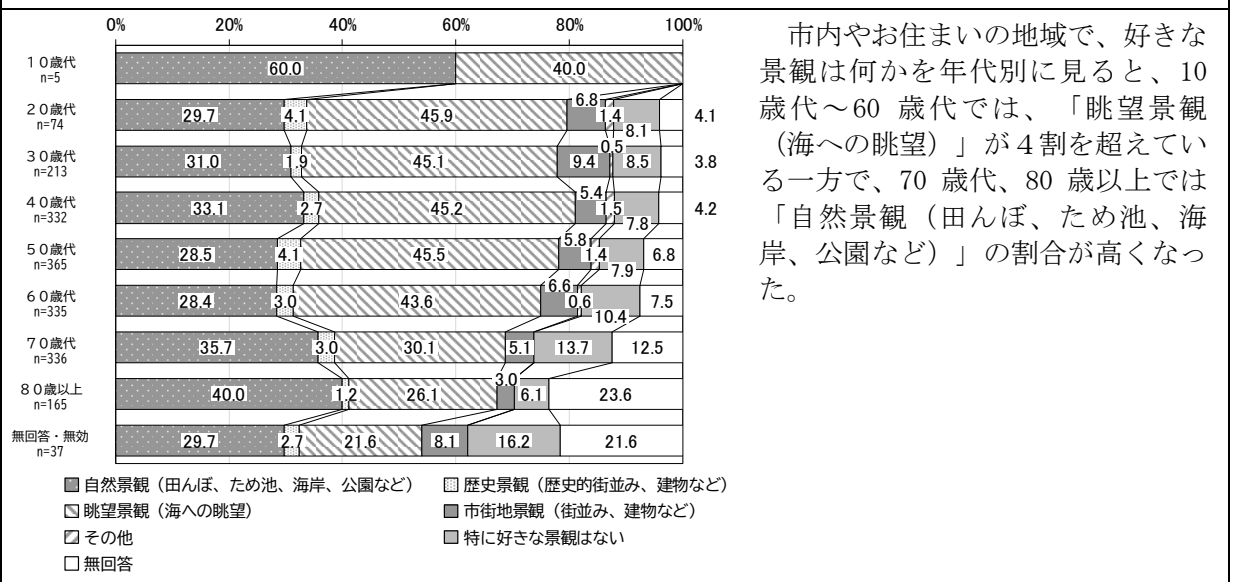
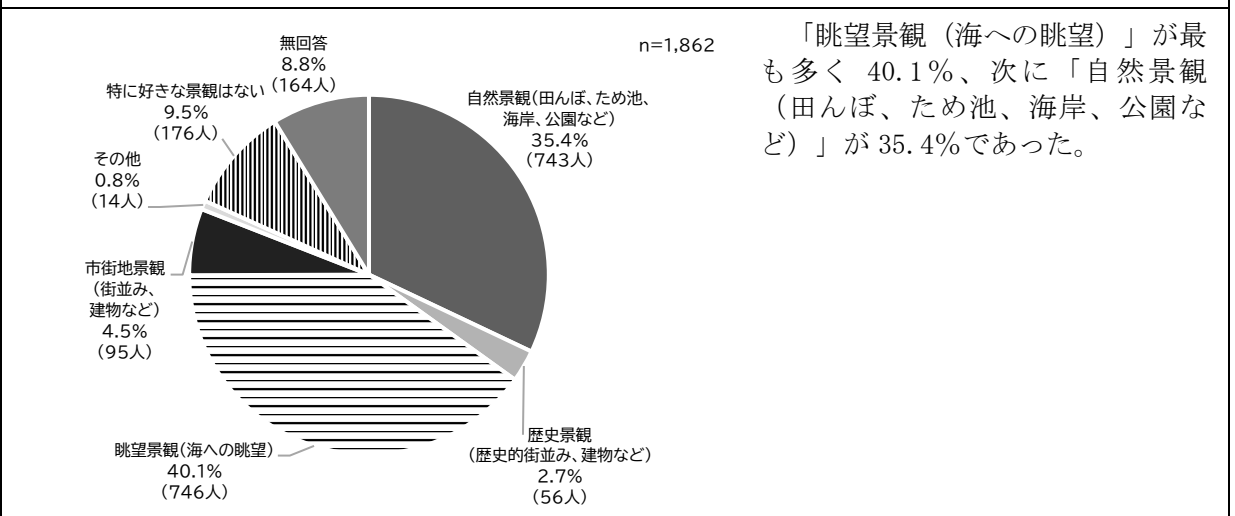
「生活道路・通学路の安全・安心の向上」が最も多く 56.9%、次に「自転車の安全な走行空間の確保」が 51.9%、「歩行者にやさしいバリアフリーの拡充」が 35.7%であった。

※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=1,862 にならず、回答割合の合計も 100%にならない。

市内の道路環境の充実に向けて、何が重要と考えているかを年代別に見ると、10歳代、30歳代～70歳代で「生活道路・通学路の安全・安心の向上」の割合が高く、20歳代、80歳以上では「自転車の安全な走行空間の確保」が高くなった。また、「歩行者にやさしいバリアフリーの拡充」の割合は、80歳以上が他の年代より高くなった。

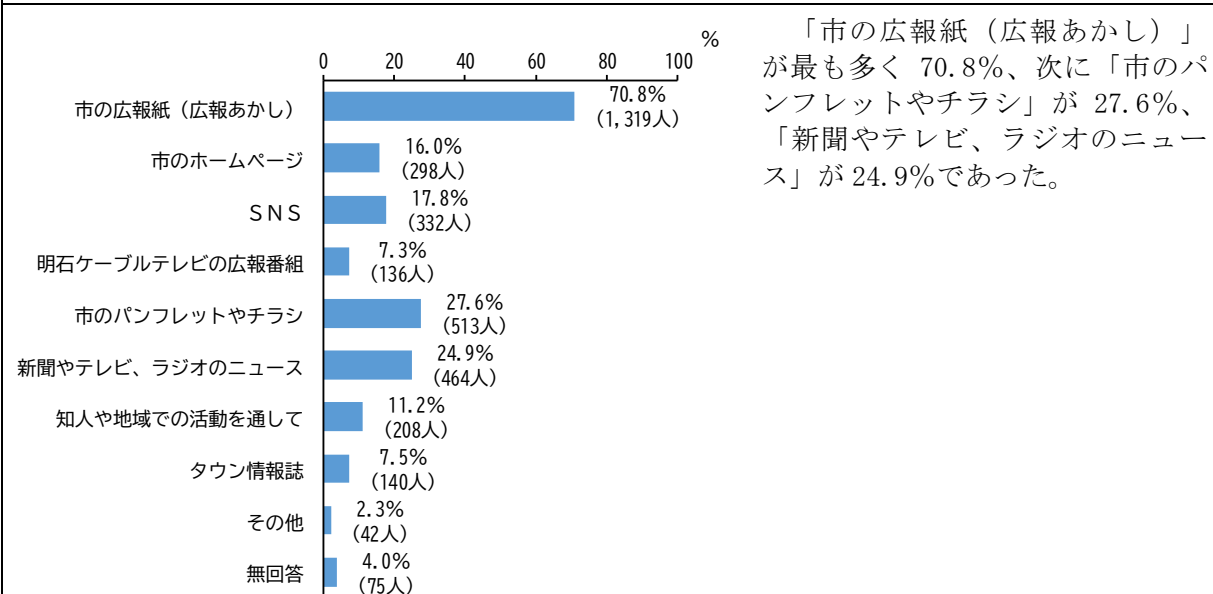
区分	回答者数（件）	生活道路・通学路の安全・安心の向上	歩行者にやさしいバリアフリーの拡充	自転車の安全な走行空間の確保	自動車の安全な通行のための道路整備	渋滞緩和のための幹線道路整備や改良	道路の緑化や道路施設の省エネ化	災害時に備えた耐震化や道路の整備	危険箇所のパトロールや修繕の充実	道路空間の多様な活用・魅力づくり (オープンカフェ、歩行者天国など)	その他	無回答
全 体	1,862	56.9	35.7	51.9	23.3	27.3	5.0	19.5	27.8	6.7	1.9	2.5
10歳代	5	80.0	40.0	60.0	40.0	—	—	40.0	—	20.0	—	—
20歳代	74	44.6	32.4	50.0	35.1	39.2	4.1	14.9	14.9	13.5	1.4	—
30歳代	213	64.3	22.1	51.6	21.1	39.9	3.3	22.5	24.9	8.0	0.5	2.3
40歳代	332	63.9	25.3	52.4	23.2	37.3	5.1	17.5	25.6	6.0	3.6	1.5
50歳代	365	54.8	34.2	50.1	24.4	35.3	6.3	25.5	24.9	7.4	1.9	0.8
60歳代	335	54.3	43.6	53.7	24.2	22.7	4.2	20.3	32.5	5.1	1.8	1.8
70歳代	336	60.4	43.5	53.0	23.5	13.4	4.2	15.8	33.6	7.4	1.5	2.4
80歳以上	165	44.8	49.1	51.5	17.0	7.9	6.1	14.5	25.5	3.6	1.2	10.3
無回答・無効	37	40.5	24.3	43.2	16.2	21.6	16.2	16.2	35.1	5.4	2.7	8.1

② 市内やお住まいの地域で、好きな景観は何ですか？



【行政経営分野】

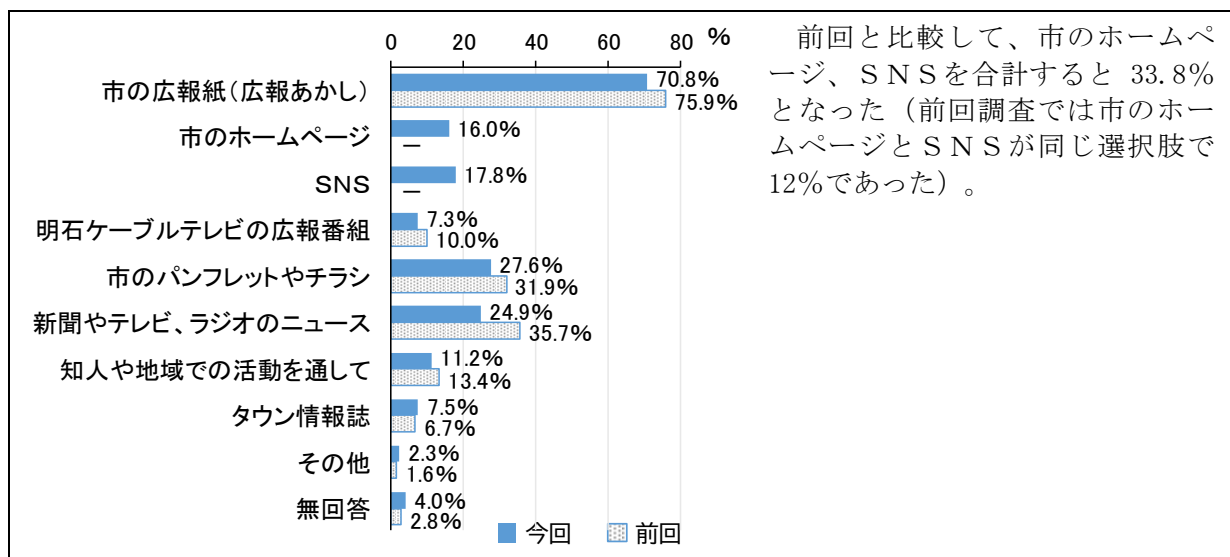
⑳ 市の取組や計画に関する情報を主に何から得ていますか？（3つまで選択）



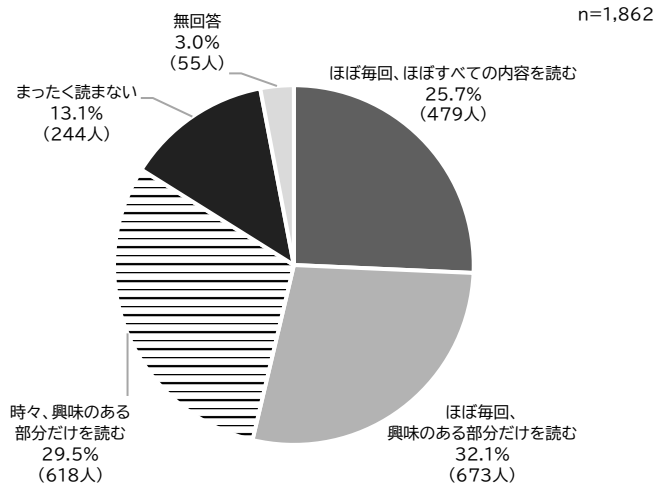
※複数回答可のため、回答者数の合計は、n=1,862 にならず、回答割合の合計も 100%にならない。

市の取組や計画に関する情報を主に何から得ているかを年代別に見ると、10 歳代、20 歳代では「SNS」の割合が4～5割であった。30 歳～80 歳以上では「市の広報紙（広報あかし）」の割合が高く、5割以上であった。

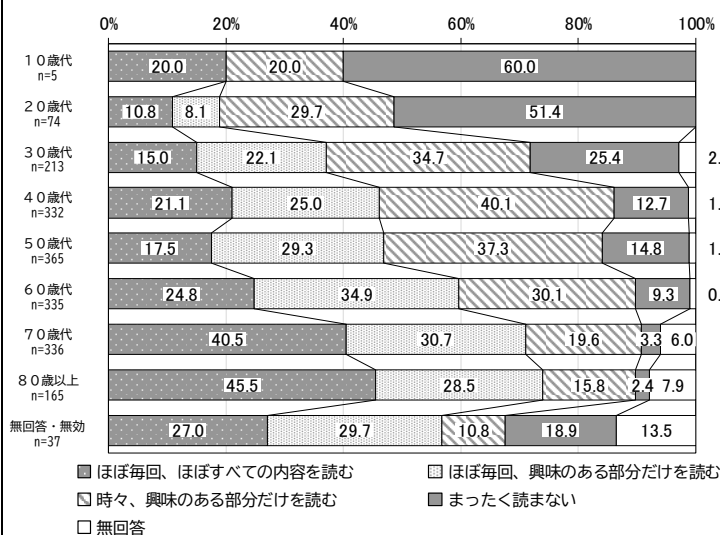
区分	回答者数（件）	市の広報紙（広報あかし）	市のホームページ	SNS	明石ケーブルテレビの広報番組	市のパンフレットやチラシ	新聞やテレビ、ラジオのニュース	知人や地域での活動を通して	タウン情報誌	その他	無回答
全 体	1,862	70.8	16.0	17.8	7.3	27.6	24.9	11.2	7.5	2.3	4.0
10歳代	5	40.0	—	40.0	—	20.0	20.0	20.0	20.0	—	—
20歳代	74	29.7	14.9	51.4	8.1	16.2	23.0	10.8	1.4	5.4	2.7
30歳代	213	52.1	17.8	39.0	5.6	20.2	11.3	14.1	4.2	3.3	4.7
40歳代	332	69.9	18.7	24.7	5.1	22.3	16.9	14.5	11.4	3.3	1.2
50歳代	365	67.4	21.1	20.8	7.7	22.7	16.7	7.7	7.7	3.6	2.5
60歳代	335	78.2	18.8	9.9	7.5	31.9	27.2	7.2	9.3	0.9	1.8
70歳代	336	83.0	8.3	3.0	7.4	38.7	37.2	13.7	6.0	0.3	7.4
80歳以上	165	86.7	10.3	3.0	12.1	32.1	46.1	12.1	5.5	0.6	7.3
無回答・無効	37	59.5	5.4	8.1	8.1	27.0	35.1	8.1	8.1	5.4	18.9



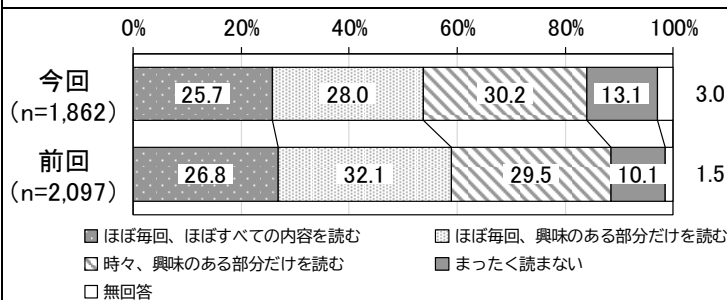
②9 市が月に2回発行している広報紙「広報あかし」をどの程度ご覧になりますか？



「ほぼ毎回、ほぼすべての内容を読む」と「ほぼ毎回、興味のある部分だけを読む」の合計が約6割であった。

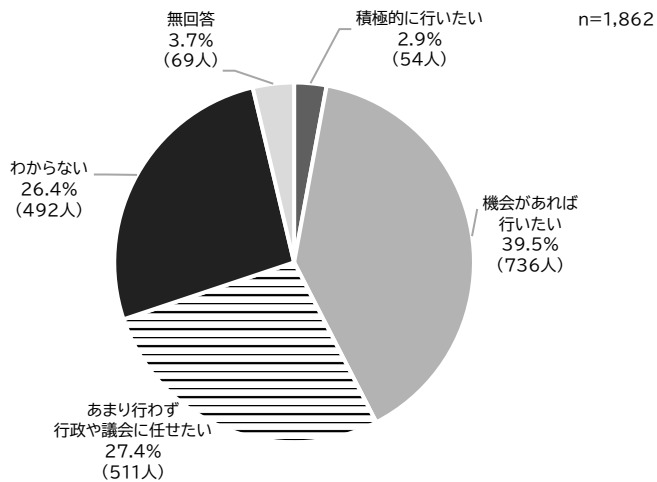


市が月に2回発行している広報紙「広報あかし」をどの程度ご覧になるかを年代別に見ると、「ほぼ毎回、ほぼすべての内容を読む」と「ほぼ毎回、興味のある部分だけを読む」の合計は10歳代を除いて、年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向があった。

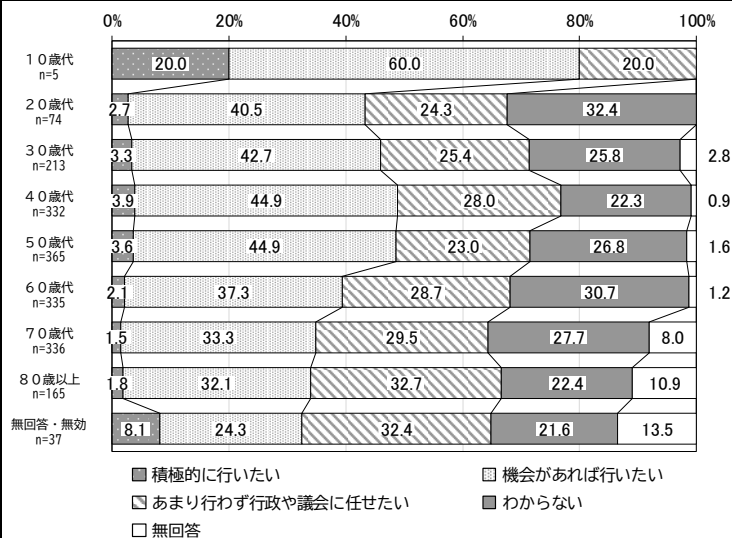


前回と比較して、「ほぼ毎回、ほぼすべての内容を読む」と「ほぼ毎回、興味のある部分だけを読む」の合計が5.2ポイント低くなった。

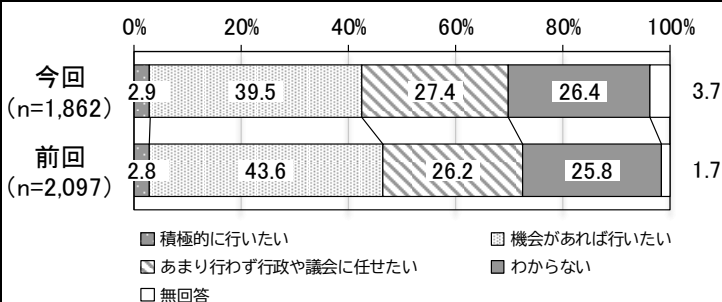
③〇 市の計画に意見を出したり、市の取組に参加して活動することについてどう思いますか？



「積極的に行いたい」と「機会があれば行いたい」の合計が約4割であった。

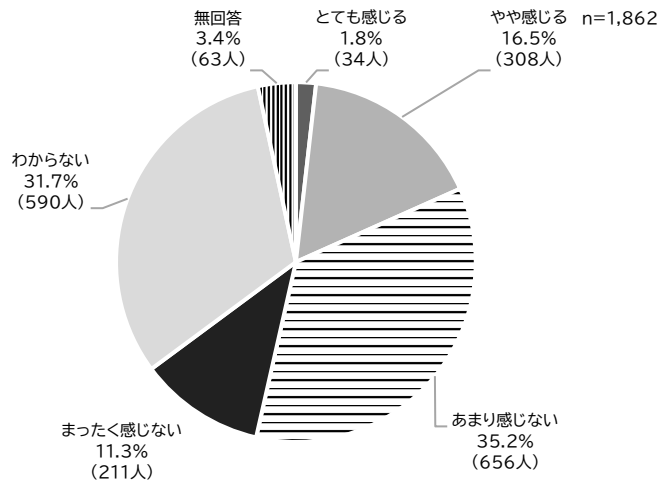


市の計画に意見を出したり、市の取組に参加して活動することについてどう思うかを年代別に見ると、「積極的に行いたい」と「機会があれば行いたい」の合計が、20歳代～50歳代では4割を超えていた。

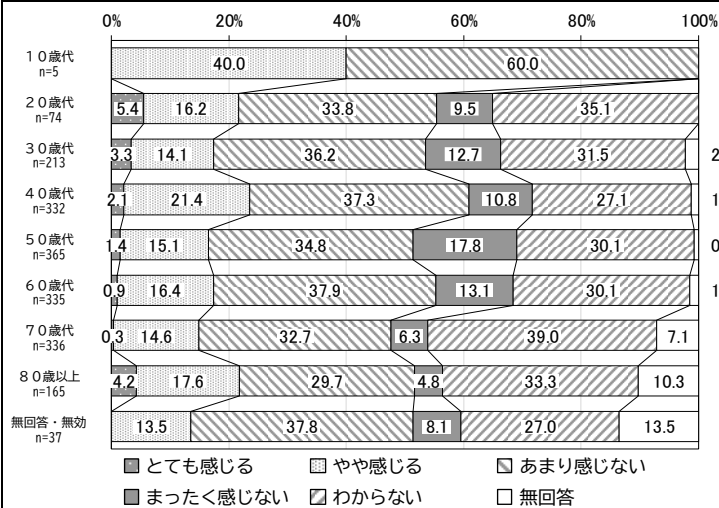


前回と比較して、「機会があれば行いたい」が4.1ポイント低くなった。

③ あなたの声は、市に届けやすくなったと感じますか？

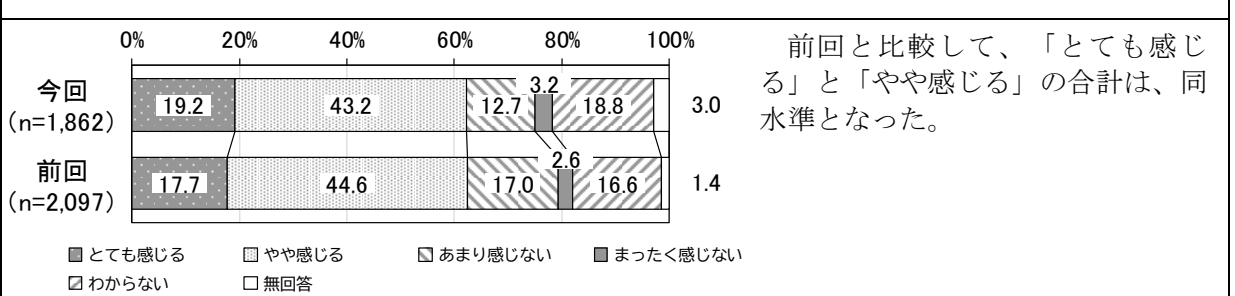
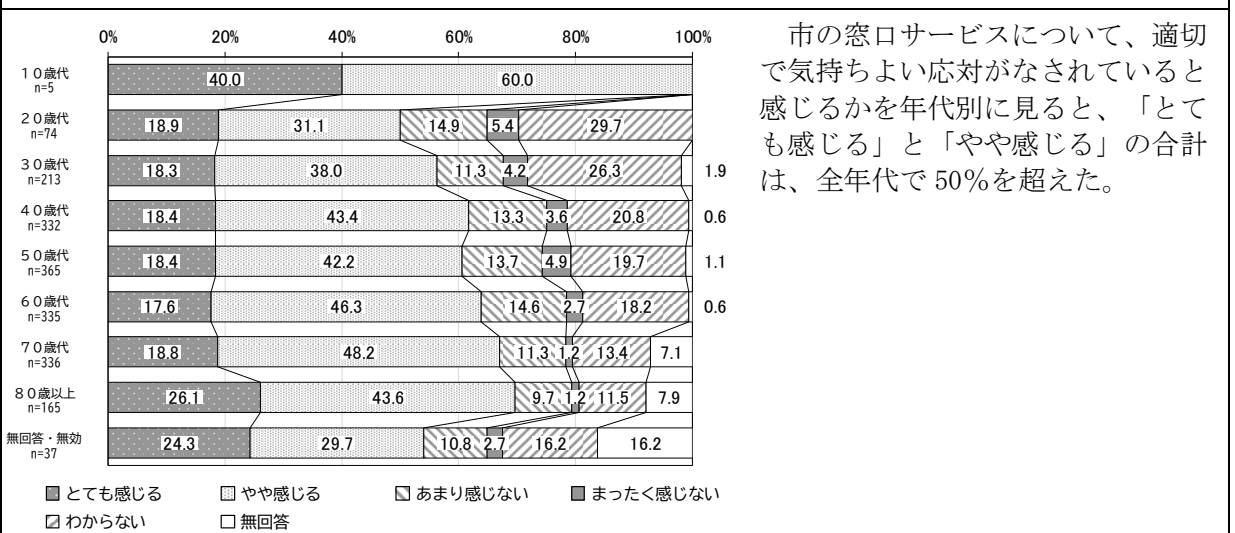
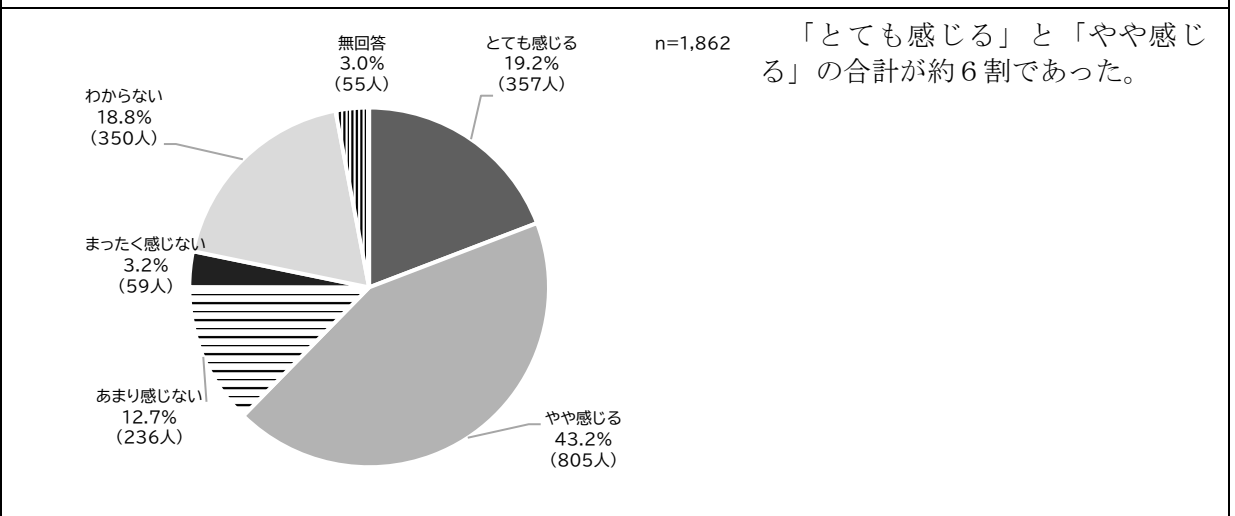


「とても感じる」と「やや感じる」の合計が 18.3%となった。一方で「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計が 46.5%となり、「わからない」と回答したのは 31.7%となった。



あなたの声は、市に届けやすくなったと感じるかを年代別に見ると、「とても感じる」「やや感じる」の合計は、10歳代、20歳代、40歳代で2割を超え、「あまり感じない」「まったく感じない」の合計は50歳代、60歳代で5割を超えていた。

② 市の窓口サービスについて、適切で気持ちよい対応がなされていると感じますか？



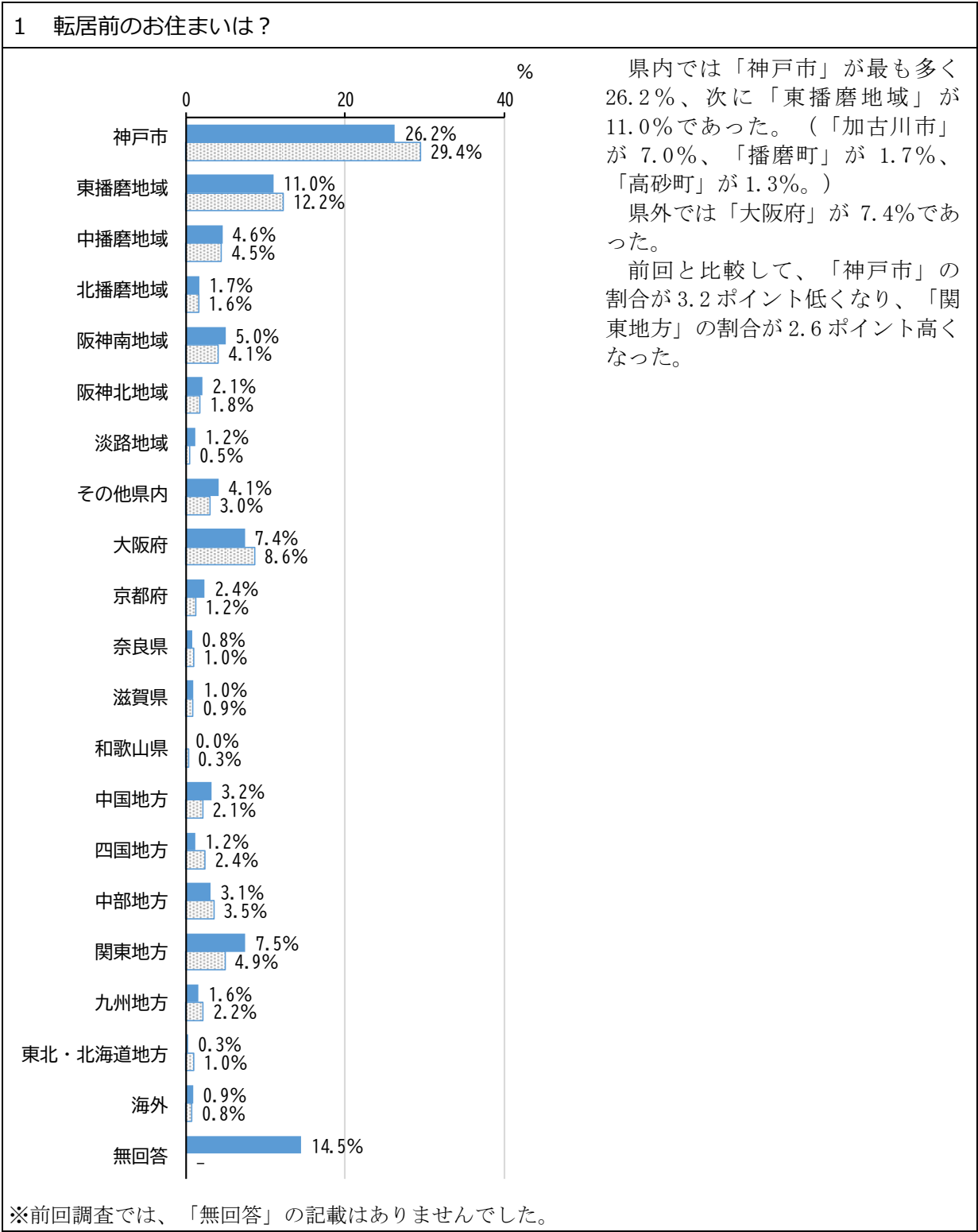
Ⅲ 調査の結果

4) 転入のきっかけや考慮した住宅環境について (問4)

1. 調査目的

市外からの転入者がどういったきっかけや理由で、どこから転居しているかを把握し、今後の施策展開に活かすため、5年以内の転入者を対象に調査を行った。

2. 各設問の集計結果

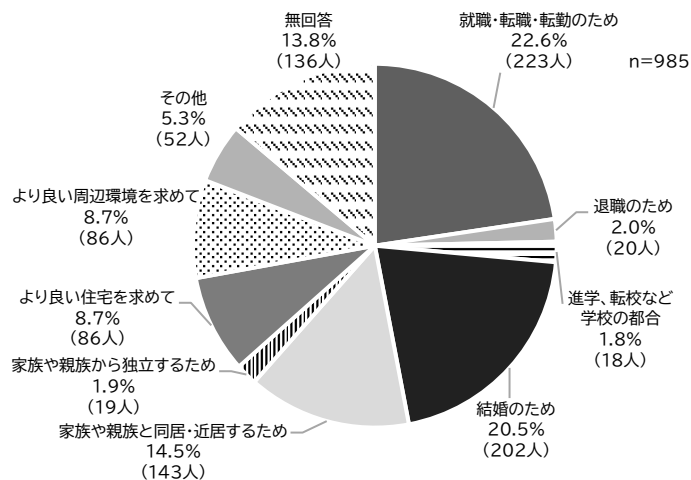


転居前のお住まいを年代別に見ると、20歳代～70歳代で「神戸市」が2割を超えていた。

区分	回答者数 (件)	神戸市	東播磨地域	中播磨地域	北播磨地域	阪神南地域	阪神北地域	淡路地域	その他県内	大阪府	京都府
全 体	985	26.2	11.0	4.6	1.7	5.0	2.1	1.2	4.1	7.4	2.4
10歳代	2	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	231	22.5	11.3	6.1	1.7	2.6	2.6	1.7	5.2	6.5	3.0
30歳代	376	29.8	10.4	3.7	1.1	8.8	1.9	0.5	3.5	10.1	2.4
40歳代	139	29.5	12.2	4.3	2.9	3.6	3.6	1.4	2.9	6.5	1.4
50歳代	94	23.4	11.7	3.2	2.1	2.1	1.1	2.1	—	5.3	3.2
60歳代	68	20.6	7.4	5.9	1.5	1.5	1.5	—	10.3	2.9	1.5
70歳代	47	27.7	14.9	4.3	4.3	—	2.1	4.3	6.4	6.4	4.3
80歳以上	15	13.3	6.7	6.7	—	—	—	—	6.7	6.7	—
無回答・無効	13	15.4	7.7	—	—	15.4	—	—	—	—	—

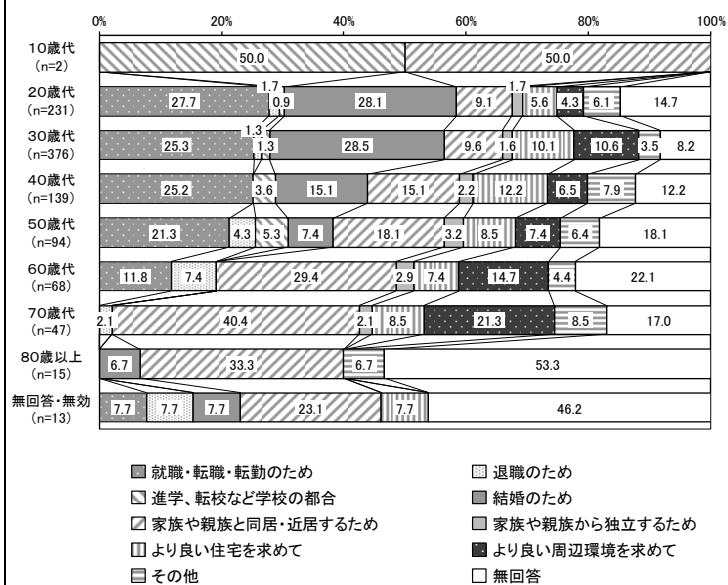
区分	奈良県	滋賀県	和歌山県	中国地方	四国地方	中部地方	関東地方	九州地方	東北・北海道地方	海外	無回答
全 体	0.8	1.0	—	3.2	1.2	3.1	7.5	1.6	0.3	0.9	14.5
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	0.4	1.7	—	1.7	2.6	5.2	4.8	2.2	0.4	0.4	17.3
30歳代	1.1	0.5	—	3.2	0.8	2.9	7.2	0.8	0.3	1.3	9.8
40歳代	—	1.4	—	4.3	2.2	0.7	8.6	0.7	—	2.2	11.5
50歳代	2.1	1.1	—	5.3	—	5.3	9.6	4.3	—	—	18.1
60歳代	1.5	1.5	—	4.4	—	1.5	16.2	4.4	—	—	17.6
70歳代	—	—	—	4.3	—	—	6.4	—	—	—	14.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	—	53.3
無回答・無効	—	—	—	—	—	7.7	7.7	—	—	—	46.2

2 転居する最も大きなきっかけは何ですか？（※ 1つだけ選んでください）

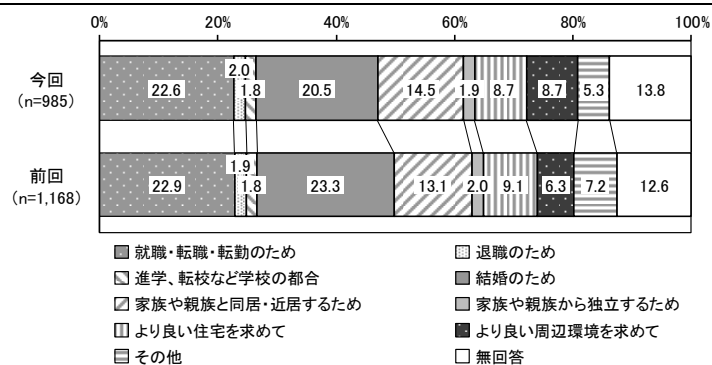


「就職・転職・転勤のため」が最も多く 22.6%、次に「結婚のため」が 20.5%、「家族や親族と同居・近居するため」が 14.5%であった。

その他の内訳は、「物件の都合」、「子育てのため」、「離婚、離別」などであった。

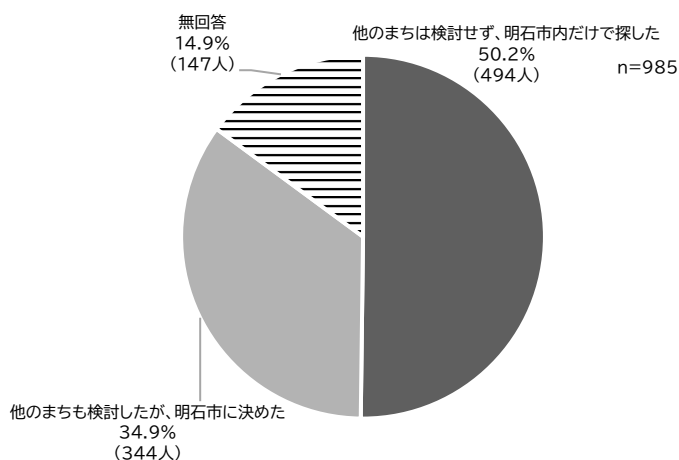


転居する最も大きなきっかけを年代別に見ると、20歳代、30歳代では「結婚のため」の回答が最も多く、2割を超えた。



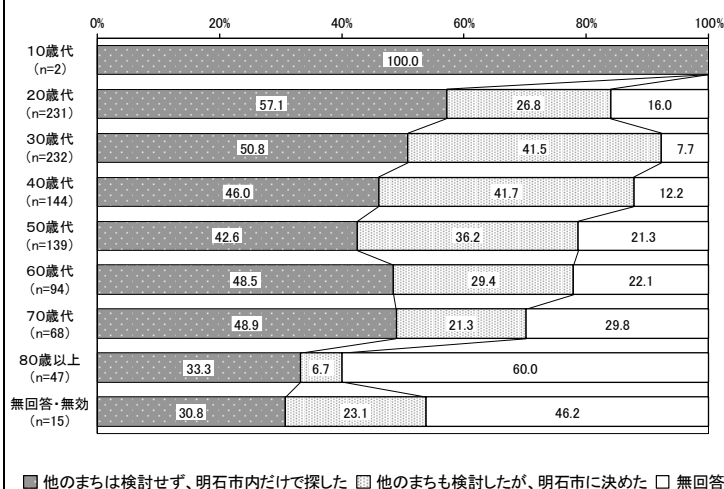
前回と比較して、「より良い周辺環境を求めて」が 2.4 ポイント高くなった。

3 転居先として、明石市以外のまちを検討しましたか？（※ 1つだけ選んでください）

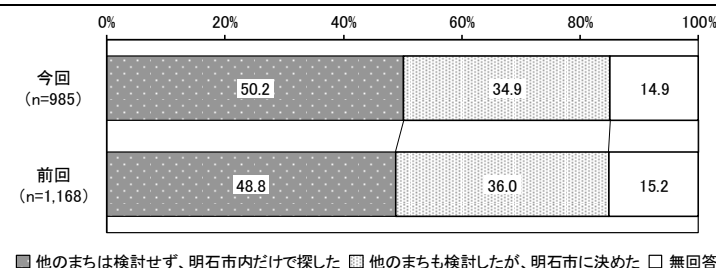


「他のまちは検討せず、明石市内だけで探した」が最も多く50.2%、「他のまちも検討したが、明石市に決めた」が34.9%であった。

「他のまちも検討したが、明石市に決めた」のうち、明石市以外の具体的な場所は「神戸市」が62.5%、加古川市が20.6%であった。



転居先として、明石市以外のまちを検討したかについて年代別に見ると、10歳代～30歳代で「他のまちは検討せず、明石市内だけで探した」の割合が5割を超え高くなっている。



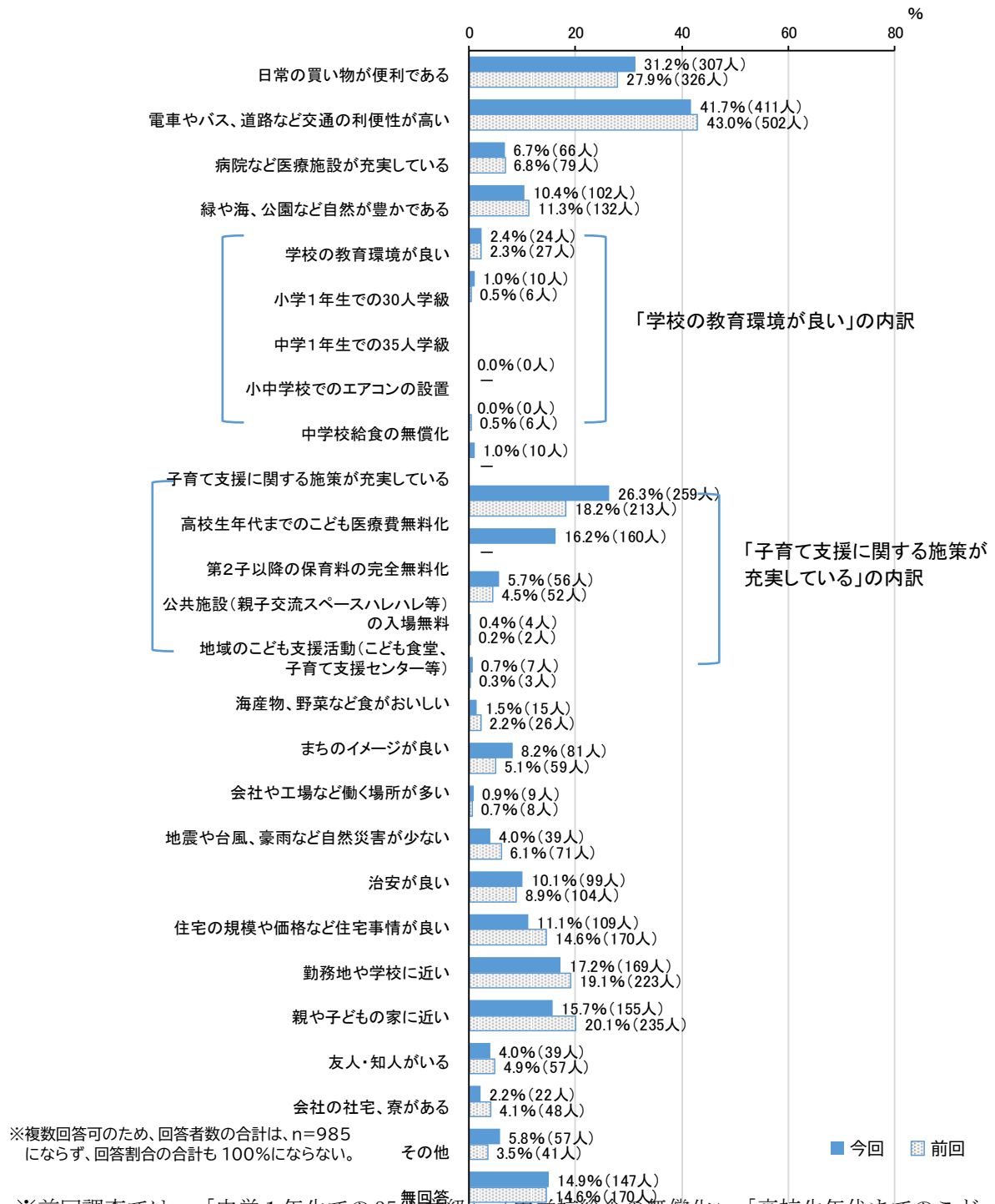
前回と比較して、大きな変化は見られなかった。

4 転居先を決める際に考慮した住宅環境として、大きなものは次のどれですか？（※3つまで選んでください。）

「電車やバス、道路など交通の利便性が高い」が最も多く41.7%、次に「日常の買い物が便利である」が31.2%、「子育て支援に関する施策が充実している」が26.3%、「勤務地や学校に近い」17.2%であった。

その他の内訳は、「周りの環境が良かった」、「実家がある、実家に近い場所」などであった。

前回と比較して、「子育て支援に関する施策が充実している」が8.1ポイント高くなった。



※前回調査では、「中学1年生での35人学級」「中学校給食の無償化」「高校生年代までのこども医療費無料化」の選択肢はありませんでした。

転居先を決める際に考慮した住宅環境として、大きなものについて年代別に見ると、10 歳代～60 歳代で「電車やバス、道路など交通の利便性が高い」、70 歳代では「日常の買い物が便利である」、80 歳以上で「親や子どもの家に近い」の割合が高くなった。

区分	回答者数 (件)	利日常 である 買い物 が便利	が高 い交 通の 利便 性	が病 院な ど医 療施 設	自緑 然や 海、 公 園な ど	良学 い校 の教 育環 境が	いる 子 施育 策が 支 援に 関 す	食海 が産 物、 し野 菜な ど	良ま いの イメ ー ジが	く会 場社 や工 場な ど働
全 体	985	31.2	41.7	6.7	10.4	2.4	26.3	1.5	8.2	0.9
10歳代	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—
20歳代	231	32.9	44.6	4.3	7.4	1.3	26.0	0.9	13.0	—
30歳代	376	32.7	46.0	4.3	11.2	3.5	39.9	2.1	8.0	1.9
40歳代	139	28.1	38.1	10.8	12.9	3.6	25.2	0.7	9.4	0.7
50歳代	94	25.5	36.2	6.4	11.7	2.1	6.4	1.1	2.1	1.1
60歳代	68	33.8	39.7	11.8	8.8	1.5	8.8	—	1.5	—
70歳代	47	38.3	31.9	19.1	12.8	—	2.1	6.4	6.4	—
80歳以上	15	13.3	13.3	13.3	13.3	—	—	—	—	—
無回答・無効	13	7.7	23.1	—	—	—	7.7	—	7.7	—

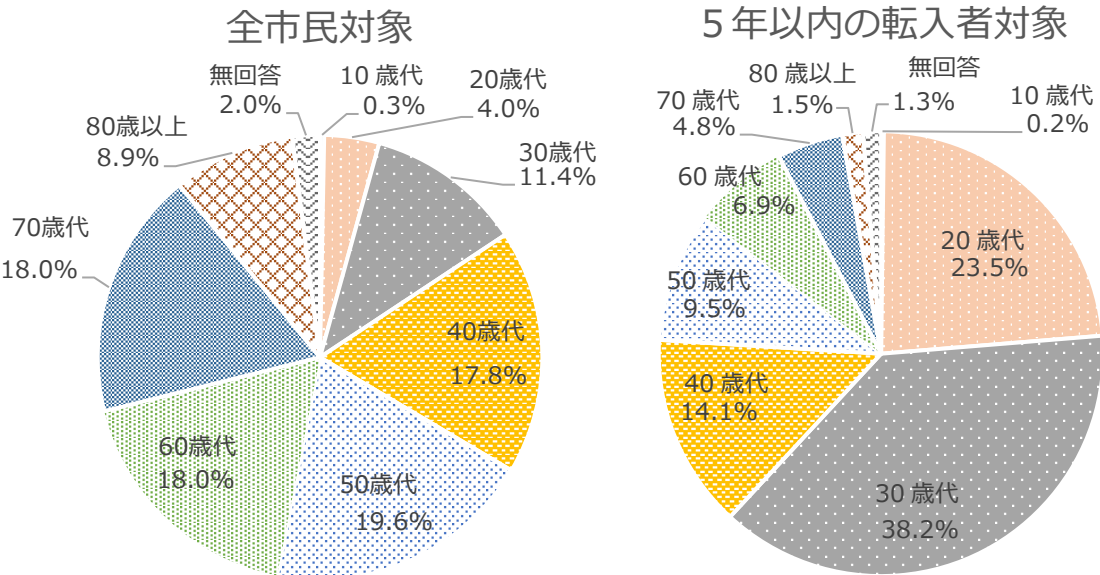
区分	な地震 自然 災害 が豪 少雨	治安 が良 い	い住宅 の住 宅規 模や が価 良格	い勤務 地や 学校 に近	近親 いや 子ど もの 家に	友人 ・知 人が いる	ある 社の 社宅 、寮 が	その他	無 回 答
全 体	4.0	10.1	11.1	17.2	15.7	4.0	2.2	5.8	14.9
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—
20歳代	0.9	13.9	10.4	22.5	12.6	6.1	3.5	2.6	16.0
30歳代	3.7	10.1	13.8	18.4	17.3	2.4	1.6	5.1	8.5
40歳代	3.6	10.8	12.2	18.0	13.7	3.6	1.4	8.6	11.5
50歳代	6.4	5.3	8.5	17.0	16.0	4.3	5.3	10.6	19.1
60歳代	10.3	4.4	8.8	7.4	17.6	5.9	1.5	7.4	23.5
70歳代	8.5	12.8	2.1	2.1	19.1	4.3	—	4.3	29.8
80歳以上	—	—	—	—	26.7	6.7	—	6.7	46.7
無回答・無効	7.7	—	7.7	7.7	15.4	—	—	7.7	53.8

Ⅲ 調査の結果

5) 全市民対象と直近5年以内の転入者対象の比較について

1. 年齢構成

回答者に占める割合としては、全市民対象では50歳代以上が約65%、5年以内の転入者では20歳代、30歳代が約60%となった。



年代	全市民対象 (3,000人)		5年以内の転入者対象 (2,000人)		住基上の 年齢構成
10歳代	5	0.3%	2	0.2%	2.1%
20歳代	74	4.0%	231	23.5%	11.4%
30歳代	213	11.4%	376	38.2%	14.6%
40歳代	332	17.8%	139	14.1%	15.9%
50歳代	365	19.6%	94	9.5%	17.6%
60歳代	335	18.0%	68	6.9%	13.0%
70歳代	336	18.0%	47	4.8%	14.2%
80歳以上	165	8.9%	15	1.5%	11.1%
無回答	37	2.0%	13	1.3%	—
合計	1,862	100%	985	100%	100%

2. (問2) 今後の明石のまちづくりについて

◆ ここ数年、良くなった分野（施策に対する満足度）

子育て環境の充実が、全市民対象、5年以内の転入者対象のいずれも2位とのポイントを大きく引き離れた1位となった。

また、順位は異なるが「本のまちの推進」「地域福祉の推進」「公園の整備・緑化の推進」は良くなった分野として共通している。

順位	全市民対象（3,000人）	5年以内の転入者対象（2,000人）
1位	子育て環境の充実（62.5%）	子育て環境の充実（69.8%）
2位	本のまちの推進（17.4%）	公園の整備・緑化の推進（13.3%）
3位	地域福祉の推進（12.8%）	本のまちの推進（12.6%）
4位	高齢者支援の充実（12.0%）	地域福祉の推進（11.3%）
5位	公園の整備・緑化の推進（10.6%）	交通体系の構築（8.8%）

◆ 今後、強く推進すべき分野（施策の重要度）

順位は異なるが1位～5位まで同じ結果となった。

全市民対象では、「高齢者支援の充実」が、5年以内の転入者対象では「子育て環境の充実」が1位となった。いずれも、今後さらに強く推進すべき分野と考えられる。

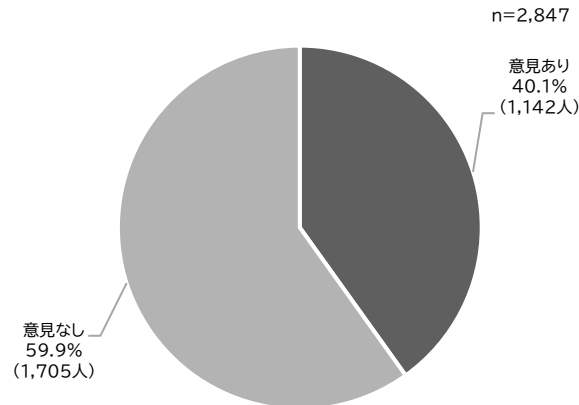
順位	全市民対象（3,000人）	5年以内の転入者対象（2,000人）
1位	高齢者支援の充実（26.6%）	子育て環境の充実（32.6%）
2位	安全安心な水の安定供給（21.4%）	学校教育の充実（23.4%）
3位	地域医療の充実（19.8%）	交通体系の構築（18.1%）
4位	交通体系の構築（16.6%）	地域医療の充実（18.0%）
5位	学校教育の充実（14.6%）	高齢者支援の充実/安全安心な水の安定供給（14.2%）

Ⅲ 調査の結果

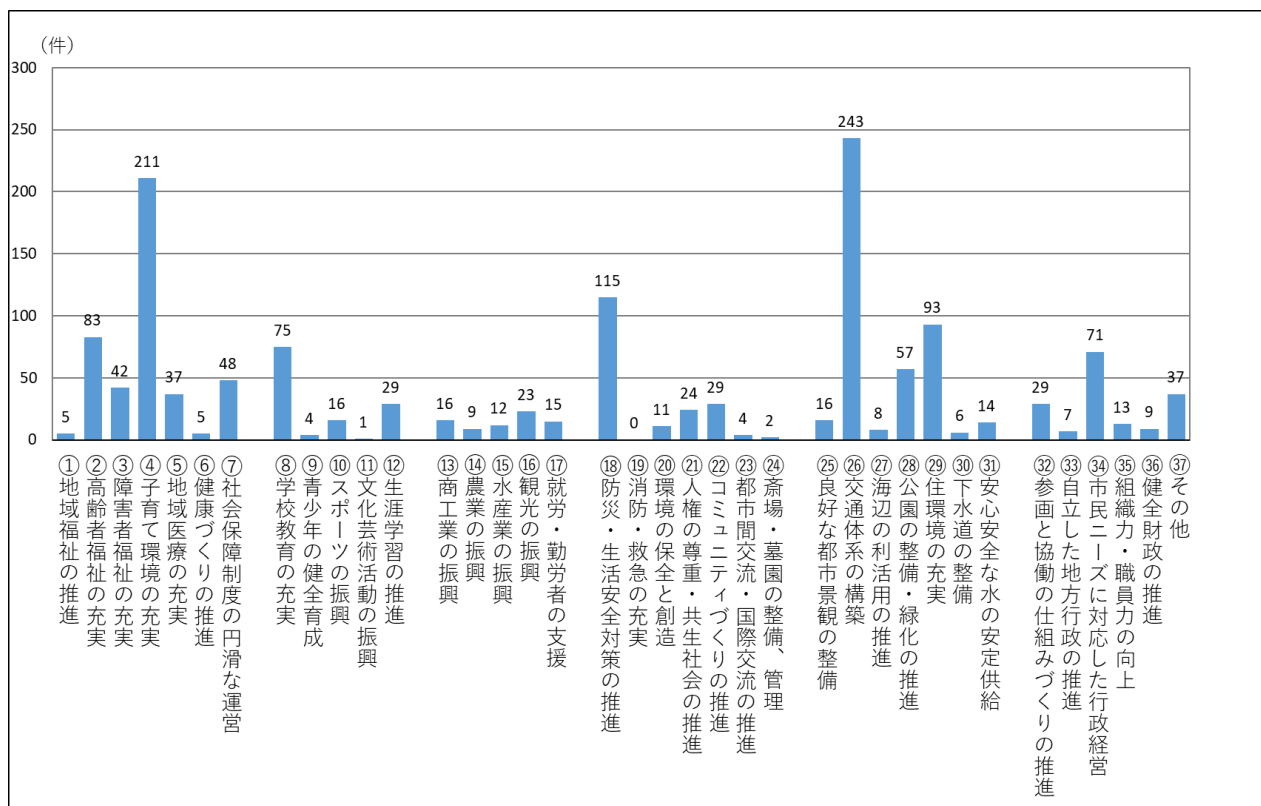
6) 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について（問5）

1. 結果概要

これからの明石のまちづくりについて自由記述でご意見・ご提案を求めたところ、約4割の1,142名から、のべ1,419件の意見をいただいた。



施策ごとに分類すると、下図のとおりである
（複数の分野に関する意見は、それぞれの件数に計上している。）。



意見の多かった施策分野ごとにその内容を見ると、以下のとおりである。

(1) 交通体系の構築（243 件）

国道 2 号線の渋滞の渋滞緩和と、バスとたこバスの運行本数の増加を求める意見が多かった。ほかにも、道路幅が狭すぎることや自転車道の整備、歩道を歩くときに狭くて危険を感じるという意見も見られた。

(2) 子育て環境の充実（211 件）

補助金などの支援の充実を評価する一方、力を入れすぎではないかという意見も見られた。ほかにも、保育園の待機児童の解消や、第一子からの保育料の無償化、小児科が近くになく、予約が取れないという意見も多く見られた。

(3) 防災・生活安全対策の推進（115 件）

南海トラフに備えた避難場所の整備や備えを求める意見が多く見られたほか、治安維持を求める意見も多く見られた。また、夜の道路が暗いことから街灯の設置、防犯カメラの設置を求める意見も見られた。

(4) 住環境の充実（93 件）

歩道や通学路の安全性や不動産の活用に関する要望が多く見られたほか、住宅地や空き地などの不動産活用に関する意見も多かった。また、小児科をはじめとした病院不足に関する意見も散見された。

(5) 高齢者福祉の充実（83 件）

子育て支援の充実と同じように、高齢者支援の充実も求める意見が多かった。また、遠くにある商業施設への移動のためのたこバスの拡大運行、介護施設の増設や充実を求める意見も見られた。

(6) 学校教育の充実（75 件）

教師の資質向上や人手不足、生徒数が増加したことによる個々の生徒への対応不足の意見が多かった。また、学校給食の無償化や内容の充実を求める意見も見られた。

(7) 市民ニーズに対応した行政経営（71 件）

行政施策は子育て世代に手厚い一方で、働き盛り世代や高齢者、子どもがいない住民にも配慮した支援の拡充を求める意見が多かった。

(8) 公園の整備・緑化の推進（57 件）

公園の増設や広さを求める意見が多く見られたほか、緑化をも求める意見も多かった。また、子供が遊んだり騒いだりするような公園づくりについての意見も見られた。

(9) 社会保障制度の円滑な運営（48 件）

子育て支援は充実しているが、独身者や働く世代、高齢者にも目を向けた支援を求める意見が多かった。また、高校無償化、働きやすい環境、不妊治療支援など多岐に渡る施策が望む意見も見られた。

(10) 障害者福祉の充実（42 件）

障害者や特別な支援を必要とする方々の福祉充実を求める意見が多く見られたほか、教育環境やバリアフリー化、収入制限の見直し、移動手段の整備など、多様なニーズに応じた支援の拡大についての意見も見られた。